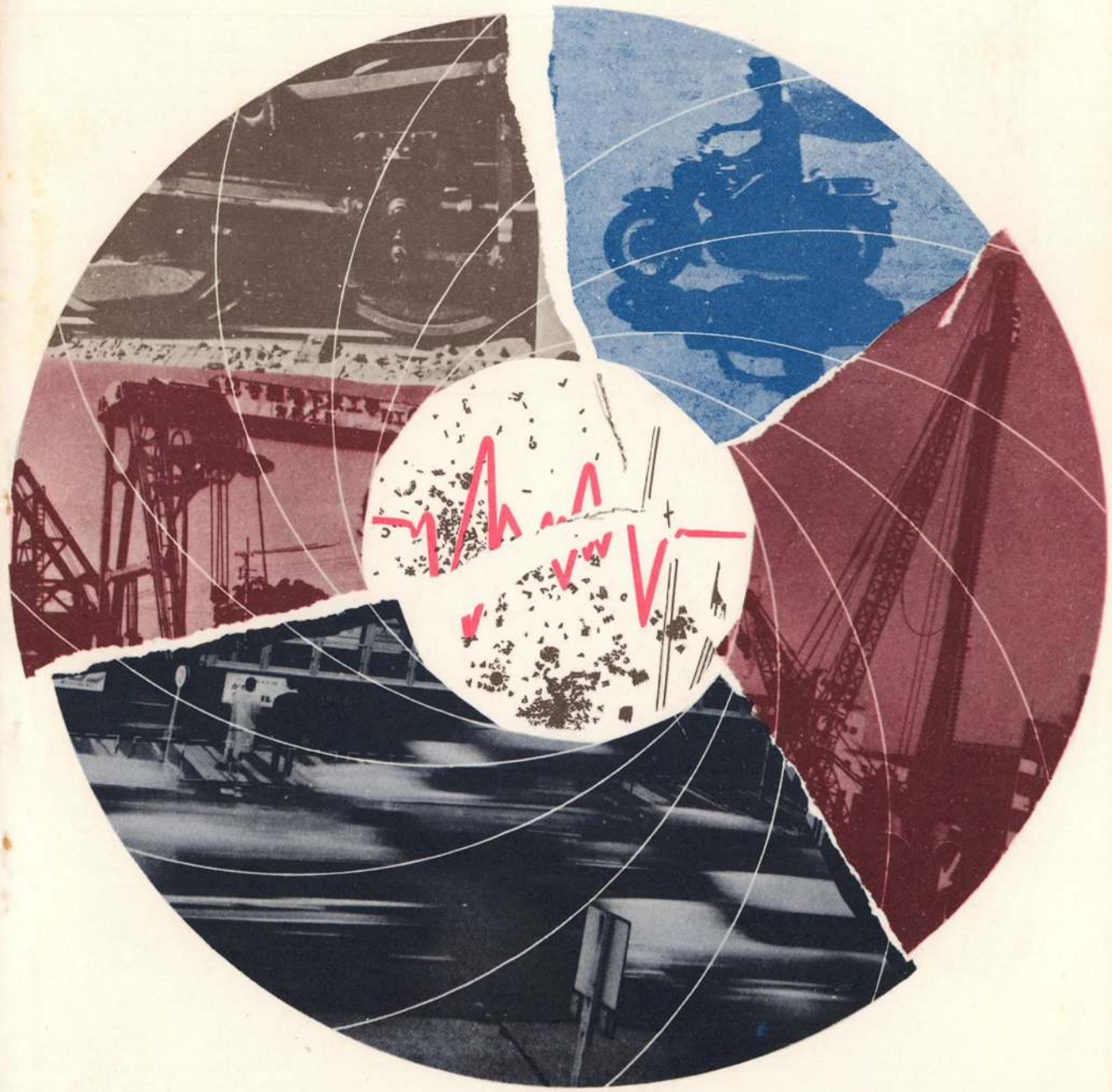
昭和24年3月19日　第3種郵便物認可　昭和41年8月20日印刷　昭和41年8月25日発行　第47輯第8号（毎月1回25日発行）

建築と社会

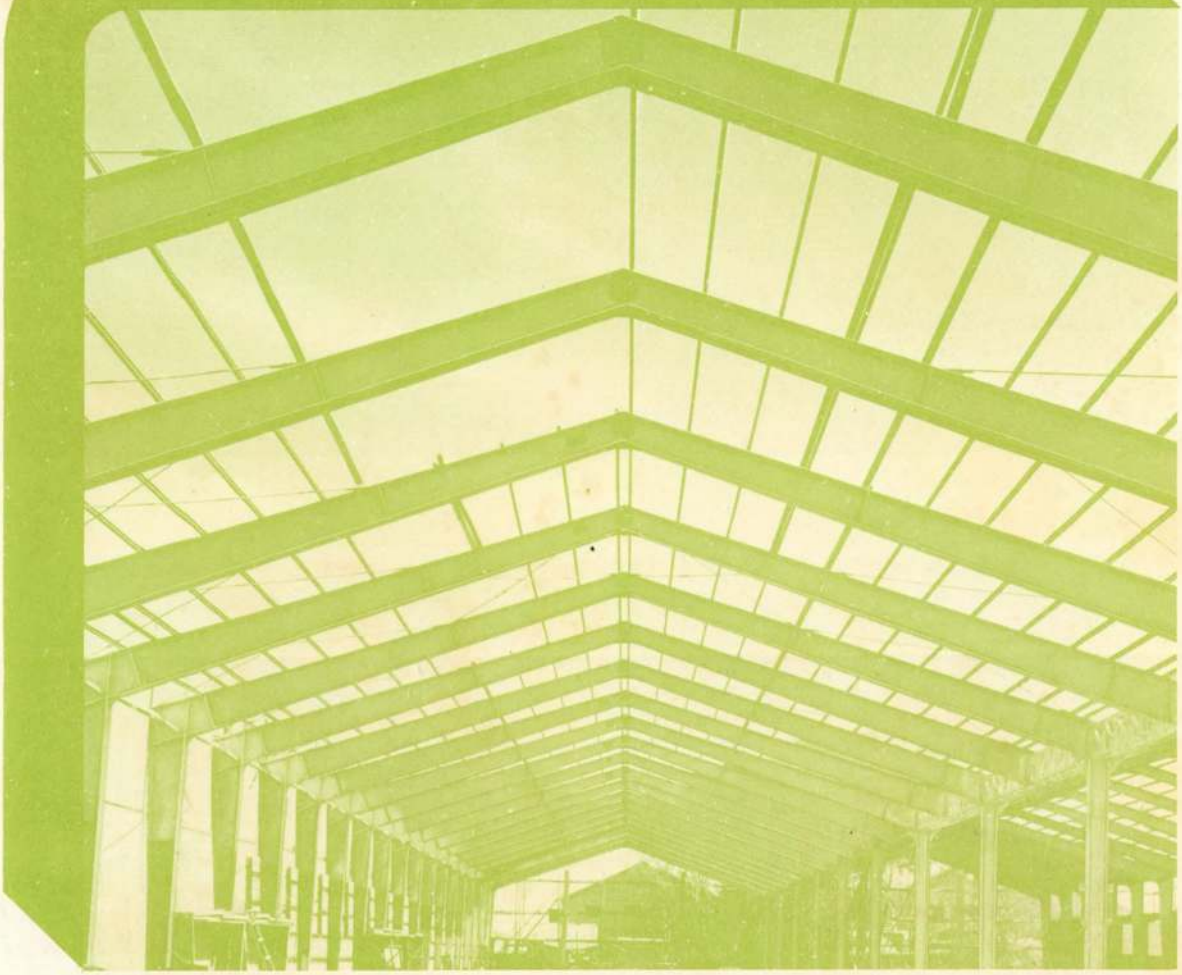
'66 8

EXPO'70
万国博会場計画



日本建築協会

"鉄をつくり 未来をつくる"住友金属



Vを生かした
新しいプレハブ骨組み

住友のスミフレームVは、高性能ジュニアV形鋼を主体に、規格量産されています。部材断面の剛性が高いワイドフランジなのでボルト結合も容易。あなたの目的にピッタリの工場・倉庫・事務所体育館などの標準設計も完備しています。ご相談くださると、お望みの建物が、半ば完成。数段も手間がはぶける経済的なプレハブ骨組みです。札幌から福岡まで各地に販売サービス体制を確立。ご利用をお待ちしています。

カタログ請求券
スミフレーム
V

スミフレームV
住友金属

住友金属工業株式会社
本社/大阪市東区北浜5の15(新住友ビル) 電話(203)2201
支社/東京都千代田区丸の内1の8(新住友ビル) 電話(211)2211
営業所/福岡・広島・岡山・高松・名古屋・静岡・新潟・仙台・札幌

床材のハイファッション マチコカラー…

●美しいファッションの色
米国連邦規格合格の丈夫さ

美しい色でがぜん注目されたマチコカラー！きびしい規格にも余裕の合格をした丈夫さアメリカはもちろんドイツやイタリヤでも定評のあるマチコタイルは国立京都国際会館や東京新八重洲ビルなど有名ビルに続々採用されています。

美しい色が26種　まねのできない国際的なフロアタイルの色です。オートメ工場で量産していますからいついかなるご注文にもOKです。

■床材のハイファッション
マチコV®
ビニールアスベストタイル

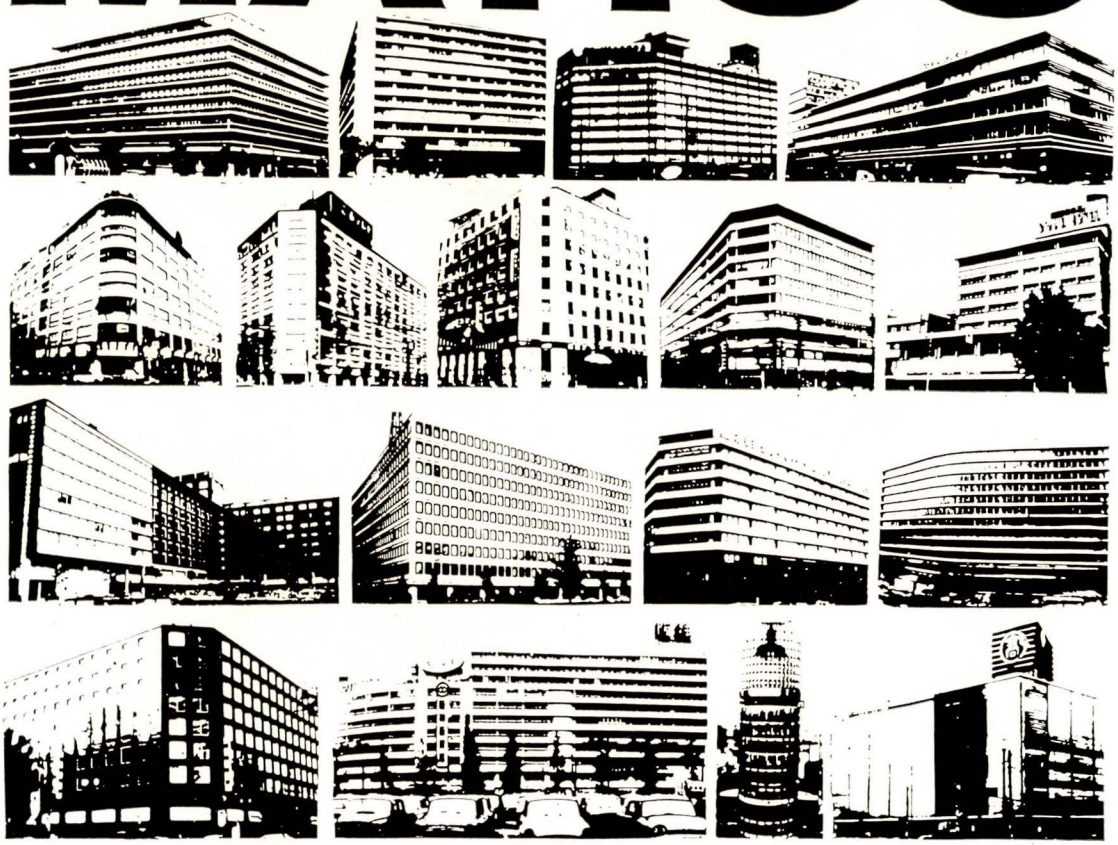
リノリューム・リノタイル・ビニラートタイル・マチコタイル・ナイアンリノタイル特約売元

東洋リノリユーム株式会社

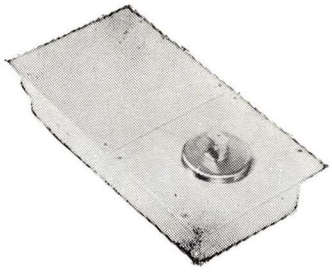
床材の総合メーカー

大阪市南区順慶町通り4の25三和ビル　■TEL 大　阪(252)2921
東京都中央区銀座4丁目三和ビル　■TEL 東　京(567)8341
名古屋市中区栄2丁目2-13名古屋センタービル　■TEL 名古屋(231)5380
福岡市天神町4丁目126の2　■TEL 福　岡(75)0425
広島市東観音町7番4号　■TEL 広　島(31)6139

MATICO



NHN



ニッカナ フロアヒンジ

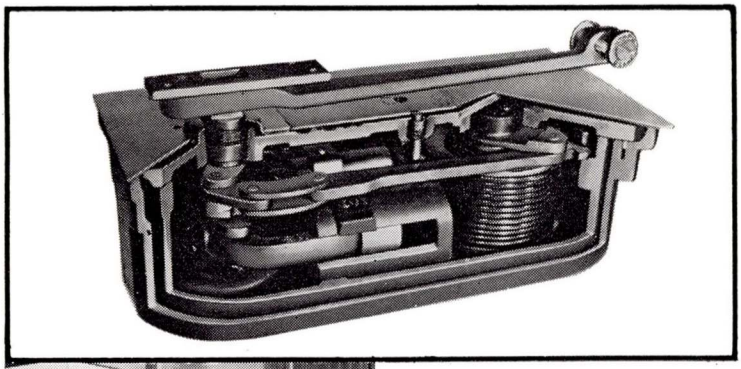
発売元 株式会社 ニッカナ
東京都中央区日本橋本町2～7(信和ビル)
TEL (241) 1301 代表
大阪営業所
大阪市西区新町通4－39
TEL (531) 4776 代表
製造元 ダイハツディーゼル株式會社

新発売の
遅れた理由が
わかった！



フロアヒンジの限界を越えた超薄型……市場に出揃ったこのタイプ・両開用ダブルシリンダー型では最も薄い。業界随一の超薄型に、驚くべき耐久力をそなえ、画期的な性能と機能をもっている。埋込み作業、据付作業も簡単に出来た！ニッカナ製品を見て、使って見て新発売の遅れた理由がわかった。

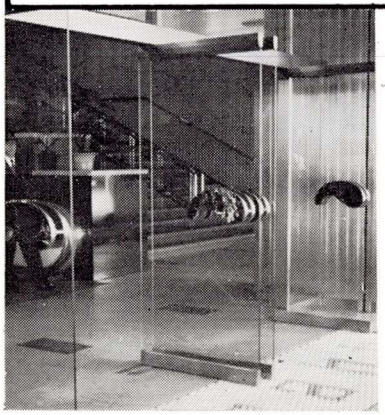
この優れた製品に要した研究期間の成果が、新発売の遅れを取り戻すことであろう。待っていた超薄型！フロアヒンジも矢張りニッカナである。



ユートピア印

S.K

フロアヒンジ
ピボットヒンジ



専門家が推奨する

金属製扉、木製扉、強化硝子扉
合成樹脂扉、何れの扉にも使用出来ます。

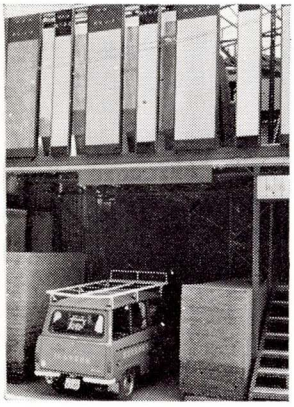
諸官庁御指定品 旭硝子御採用品

製造元
敷島金物株式会社
大阪府布施市横沼町1の46
電話 布施(721)7713～4
東京都千代田区神田三崎町2の26
電話 東京(262)5310・0403

世界特許

①打抜模様は美しく超軽い
②模様の抜穴は均等で強い
③どんな角度もビスで組める

シェブロンアングル



⇧物干台、ガレージ、物置
家族で組める







⇦どんな棚でも手軽に組める



大阪・四ツ橋
株式会社 山東建材社
電・(541)1861−5・2131 2233・7060 7170

カタログ進呈

コーキングパテ

ウヅラED

柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東2ノ5　電話大阪(471)1494～4
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西3ノ99　電話大阪(471)0426

パテタイル

使って安心 近代建築材

40年の歴史と最新技術の産物

特許● 耐酸・耐アルカリひふく鉄板

オリエンタルメタル

ガスにも
熱にも
酸・薬品にも
大丈夫です

法定不燃焼

●永久建材の超ひふく鉄板

スーパーオリエンタルメタル (SPM)

カラースーパーオリエンタルメタル (CSPM)

新時代にマッチした
各種のカラー製品があります

責任施工・型録送呈

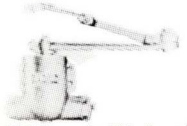
オリエンタルメタル製造株式会社

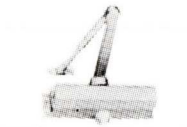
本社・大阪支店及尼崎工場
兵庫県尼崎市長洲字稲川新田44 電話 大阪 (481) 代表 8085～9

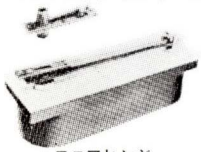
東京支店並工場 埼玉県蕨市大字塚越1620 電話 蕨 (32) 3115～7
支店・出張所 郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・教賀・三原・徳島・徳山

NEW★STAR


ドアチェック 60シリーズ


ドアチェック 70シリーズ


ドアチェック 80シリーズ


フロアヒンジ

その他
ラバトリヒンジ
ピボットヒンジ
ドアハンドル

NEW☆STAR



新発売 品質・性能共に定評ある

ニユースター ドアオペレータ

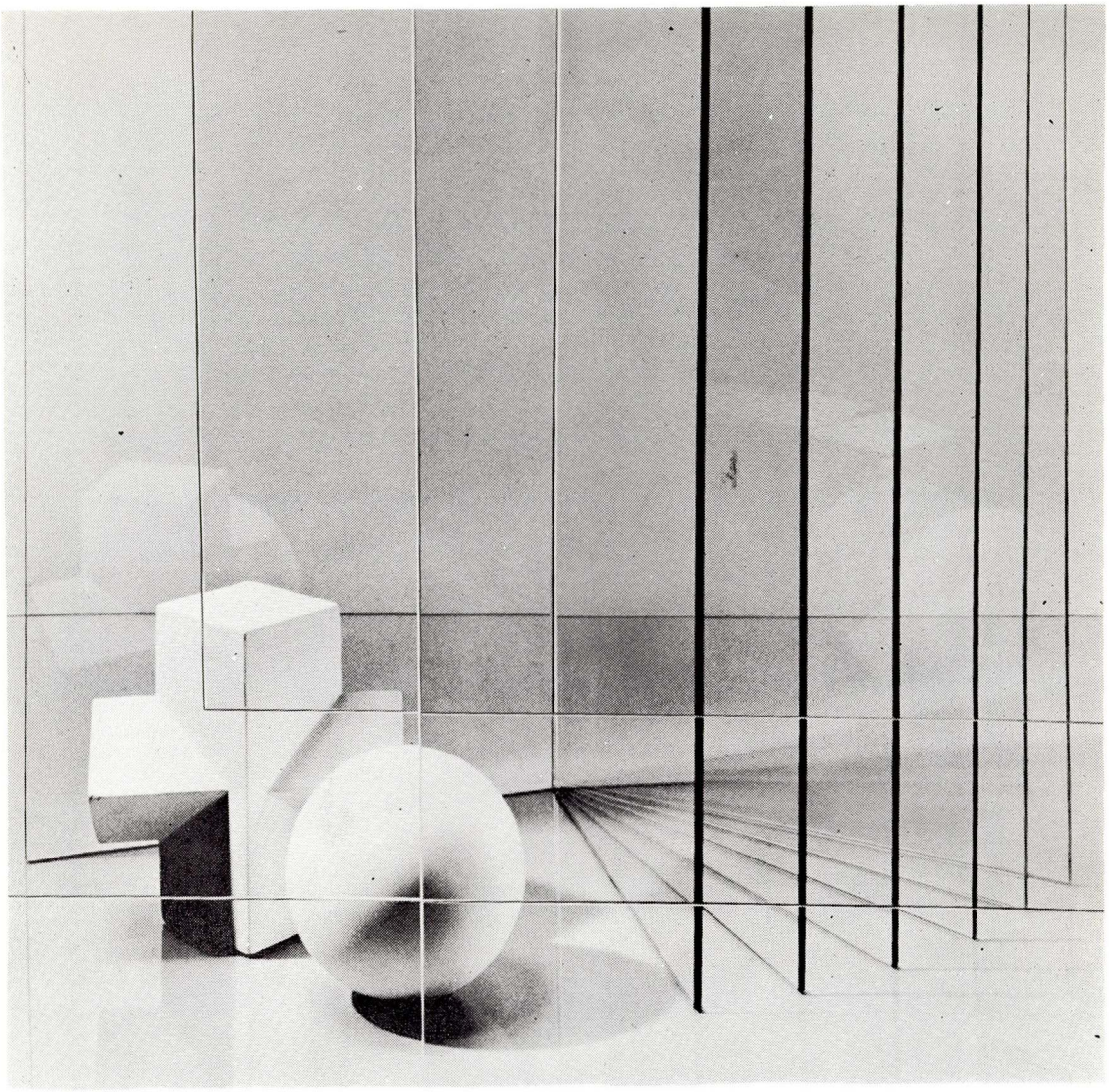
(スイング式・スライド式)



生産高日本一

日本ドアーチエック製造株式會社

本社工場 大阪市生野区巽矢柄町222 電話(758) 1251(代)
東京支店 東京都千代田区神田小川町2－12(信愛ビル) 電話(293) 4831～5
札幌出張所 札幌市月寒中央通り月寒314－1 電話(86) 8255～6
名古屋出張所 名古屋市東区高岳町1－11 電話(961) 5771～3
広島出張所 広島県安佐郡佐東町緑井205 電話(広島八木局)106
福岡出張所 福岡市天神4丁目4番24 電話(74) 2372・3312



建築の美しさをきわめる〈完ぺきなガラス誕生〉

〈新発売〉
正しい視界・美しい光沢
フロートガラス

厚さ３ミリ・５ミリ・６ミリ

旭硝子

本　社　東京都千代田区丸の内２－１４
（千代田ビル）　電話(211)0411大代表
大阪支店　大阪市北区堂島船大工町５３
（毎日大阪会館）電話(363)1121大代表

今まで考えられなかったほんとうの純粋さをもつ透明ガラス。完全な平行平面が少しのゆがみもつくらず、すべてを正しく透視して建物に美しさを生み出します。旭硝子が60年のすぐれた技術を結集、ついに完成した理想のガラスです。

■豪華な雰囲気を演出してくれます

火づくりのよさを生かしたつややかな光沢、いつまでも鮮明で、明るい輝きが豪華さをよびます。

■現代建築界で注目

大きく使ってビル・店舗・住宅などに、また鏡に使った場合のすばらしさをご想像ください。





ブラインドを内蔵した　住友の回転式アルミ二重窓

エルミン窓

建築家の夢を実現した理想的なアルミ窓！

◆**エルミン窓**は、欧米各国で、すでに多くの建物に採用され、その優秀性が実証されています。建物の設計・施工上に要求される条件を、ことごとく満足させる性能をもち、建築家や需要家のご要望にこたえた理想的なアルミ窓です。

◆**エルミン窓**が、世界各国で使用され好評を博しているのは、優秀な性能のほかにデザインがすぐれているからです。現代の建築工業部品としての新しい感覚は、カーテンウォール、パネルウォール、連窓、単窓プレキャストコンクリート、木造など、どのような形式の建築にも調和します。


標準換気位置（約15度回転）

◆**エルミン窓**は、わが国の気候・風土に適応するように設計・製作してあり、事務所、病院、ホテル、アパート、学校、図書館などの建物に、もっとも適しています。

◆**エルミン窓**には8つの特徴があります

①二重ガラスにより熱損失が少ない
②遮音性能がすぐれています
③アルミ形材に挿入された断熱材により熱伝導が少ない
④水密・気密が完全です
⑤ガラスにも枠にも結露を生じません
⑥ブラインドが内蔵されているので冷房負荷をへらします
⑦横軸180度回転し内部から外部ガラスの清掃が可能です
⑧大窓にも適します

エルミン窓は住友軽金属のすぐれたアルミ形材を使用しています

製造・販売・施工

日本エルミンサッシ株式会社

本　社 東京都中央区日本橋江戸橋3―7（第2三木ビル）電(272)1841代表
営業所 大阪市西区京町堀1―12―5（東洋ビル）電(441)1979直通

住友軽金属工業株式会社

◀会 員 受 賞

第18回建設祭にあたって下記会員諸氏は，建設界における多年の功績によって建設大臣より表彰を受けられました。ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

記

（順不同）

水 野 金 市氏（愛知県建築士会）
早 良 俊 夫氏（大阪不燃都市建設促進協議会代表幹事）
伴 潔氏（日本建築学会副会長）
岡 橋 作太郎氏（日本建築協会理事）
高 原 一 秀氏（岡山県建築士会会長）
三 好 悦 治氏（清水建設専務取締役）
守 谷 茂氏（竹中工務店常務取締役）
阿 倍 八 郎氏（東洋土建代表取締役）
佐村木 実氏（佐村木商店代表社員）
山 上 正 夫氏（星屋電気商会代表取締役社長）
南 長 吉氏（斉久工業代表取締役）

◀キリンビール尼崎工場見学会

日 時 8月27日（土）午後2時（集合）—4時（解散）
集合所 国電尼崎駅南側正面出口前広場・目標会旗
申 込 20日までに電話で願います。定員50名で先着締切ります。
＊見学会は株式会社田中小西建築事務所殿のご斡旋をいただきました。

◀「建築と社会」誌専用〝合本ファイル〟実費頒布について

〝合本ファイル〟希望者を募っております

日本建築協会編集部では「建築と社会」読者のみなさんにご利用いただくために，「建築と社会」専用の〝合本ファイル〟を作り，実費でお頒けいたしたく，希望者を募っております。下記要領にて，お申込みください。

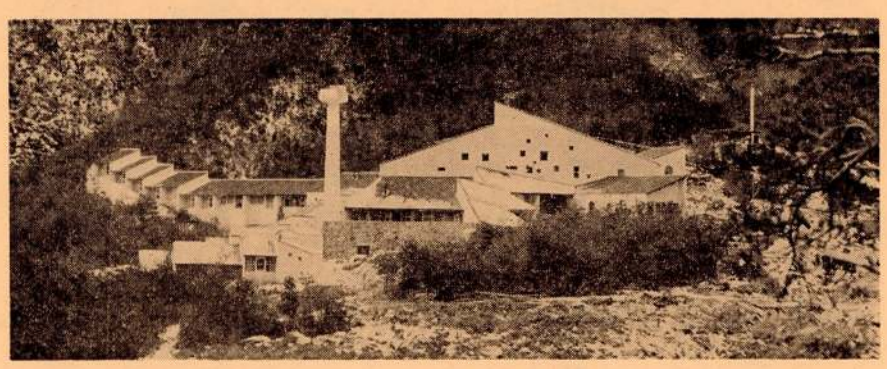
記

1. **合本ファイル体裁**・「建築と社会」1年分（12冊）合本用
1. **頒 布 価 格**・**1部150円＋送料**（送料は6月号会告参照）
なお，送料はまとまってお申込みになれば割り安になります。直接，事務局にお越しになってもけっこうです。
1. **お申込み方法**・片ハガキで願います。
・**記入事項** 1.「合本ファイル申込み」と明記のこと 2.個数 3.送付の要，不要（事務局までとりにいく） 4.送り先および電話番号 5.氏名
1. **お申込み先**・大阪市東区北浜3—37 社団法人 日本建築協会編集部（231-9649）

追記：合本ファイルをお渡しできるのは9月の予定です。料金は前払，後払どちらでも可。

◀ 第2回若い会員の集い・

大阪府総合青少年野外活動センターを見る会――見学と懇親会――



若い会員の集いの8月の催しとして，北摂能勢の高原に冷を求めて会員の懇親を計るとともに，青少年野外活動センターの施設の見学と意見の交換を行なうことによって，ともに一夜を意義あるものにしたいと思います。酷暑の季節ですが，避暑に行くつもりでこぞってご参加下さい。

日　時　8月27日（土），28日（日）（1泊2日）

集合場所　大阪中之島中央公会堂西裏に駐車の京阪観光バス・目標会旗

申　込　往復はがきで20日までに願います。参加証をお送りします。　　**定員**　30名

行　程

27日　12.30集合，1.00出発――（バス）――現地到着3.30　施設見学――5.00入浴，食事――7.00ミーティング――9.00就寝10.00

28日　6.00起床，7.00食事――8.30ＷＯＬＫ――10.00リクリエーション――12.00食事――1.00現地出発――**全日空・格納庫見学**（設計・日建設計，施工・大林組）
4.30大阪到着，解散

ミーティングのテーマ

1. 使用者，企画者，設計者，施工者等の相互の意志の疎通について。
2. 設計上の問題点，施工上の問題点，使用上の問題。(全体のプロセスを通しての反省)

ゲスト　大阪府営繕課，大阪府企画部青少年対策課，大阪青少年活動振興協会，（設計）坂倉準三建築研究所，（施工）松村組，以上各1名または2名。

会　費　700円（宿泊料，三食代ほか）

〔第3回若い会員の集い・予告〕

「住宅を見る会」　9月29日（木）午後1時30分―5時
ゲスト　彦谷邦一氏（彦谷建築設計事務所長）

杭

株式会社　武智工務所
取締役会長　福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階
電話(202)3233・3234

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・
耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工
株式会社　奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町六〇番地
電話北(364)四一三一～四

◀ 建築法規の研究と討論の会 ＜最近の建築法規をめぐって＞

建築実務者と建築行政担当者とで，建築法規の種々の問題点について，研究と討論により，より一層理解を深めるためのつどいを催します。多数ご出席下さるようお願いいたします。

日　時　8月26日（金）午前10時→午後5時

会　場　大阪科学技術センター（冷房完備）　大阪市西区靱 1—118，市バス靱公園前

会　費　研修会　100円　　討論会　150円　　研修会と討論会　200円

配布資料　（当日受付でお渡しします・無料）

(1) 建築基準法の手引き（大阪市提供）
(2) 基準法早解り（大阪府提供）
(3) 建築と社会5月号「法規特集号」抜刷り
(4) 追加認定材料一覧表

□研修会□　（午前10時→12時）会場　401号室　（定員　160名）

建築基準法のチェックポイントについて
竹　口　信　夫氏（大阪市建築局指導課指導係長）

構造設計のチェックポイントについて
西　川　幸之輔氏（大阪市建築局審査課構造強度係長）

建築設備のチェックポイント—（設備基準）について
種　田　高　己（大阪市建築局審査課設備係長）

●参加者と講師との自由討論をおこないます。

□討論会□　（午後1時30分→5時）（会場・8階大ホール）　（定員　380名）

・意見発表

建築基準法に対しての注文（設計および建設の立場から）
佐　野　正　一氏（日本建築協会法規委員長・安井建築設計事務所長）

建築行政に与えられた課題
椚　座　正　信氏（大阪府建築部指導課長）

建築基準法の現状と改正意見
越　田　正　勝氏（大阪市建築局指導課長）

・討　論

司会　佐　野　正　一氏（前掲）
質問者　学校・設計事務所・建設業・設備・建材の関係者
解答者　大阪府　椚座課長，河野　靖氏（地域係長）
吉仲　清氏（構造設備係長）
細川　清治氏（指導第三係長）
大阪市　越田課長，渡辺　甚吉氏（審査課長）
西川幸之輔氏（構造強度係長）　竹口　信夫氏（指導係長）
種田　高己氏（設備係長）　伊原　敬二氏（北方面係長）
恩田　一則氏（大阪市消防局建築係長）

・自由討論（出席者の質問によりおこないます）

申　込　往復ハガキで8月20日までに願います。参加証を送付いたします。当日は参加証に会費を添えて受付まで願います。ハガキには参加希望「研修会」または「討論会」か「研修会と討論会」の別を明記願います。

＝特許＝
氣光式通風器　製造販売
南向式レヂスター
大阪市西区江戸堀下通2-79
田辺工業株式会社
電話土佐堀(44)7437－9
特許第一五一三八号
カタログ進呈

室内装備の設計と施工
大　阪　室　内　工　芸
代表者　朝　来　　司
堺市浅香山町1丁8番10号
電話　0722-(2)7130

◀ 第2回実務に直結した建築工事別説明会「新しい防水工法と実例(2)」

■第3回建築工事別説明会・予告
■9月28日(水)後1時
■於大阪科学技術センター
『新しい外装材と工法』

日　時　8月24日（水）開会・午後1時→閉会・5時
会　場　大阪科学技術センター4階・401号室（冷房完備）（大阪市西区靱1―118，市バス靱公園前）
定　員　200名（申込は不要です。お誘い合せご出席ください）

説明題名・説明者

『軽量構造の防水材』	三星ベルト株式会社研究技術部係長	林　恭一氏
『屋根防水の問題点』	日本瀝青工業株式会社大阪支店	大垣多計士氏
『自己融着性防水シートとその施工法』	日東電工株式会社主任研究員	黒江九州男氏
『新しい防水工法についての錯覚』	田島応用化工株式会社研究開発室長	山本　要氏

□軽量構造の防水材

建築物の軽量化，柔軟構造の建築は今や時代の要求であり，軽量発泡コンクリート等のプレキャスト版の誕生とともにそれに伴なう，軽量化，下地の亀裂に追従する防水材が要求されていますが種々の防水材のなかでこの要求品質に応えるものとして，ネオ・ルーフィングＥＢによるゴムシート防水が採用されるケースが非常に多くなっております。

ネオ・ルーフィングＥＢとは 可塑性の大きい 未加硫ゴム の粘着層を片面に 備えた感圧式加硫 ゴムシート防水材であり，この粘着層は単にシート側への接着材塗布が不必要になり工期が短縮されるだけでなく，大きな可塑性により柔軟構造よりくる下地の亀裂に対し，下地と剥離することなく粘着層で塑性変形による応力緩和をおこし，上層の加硫ゴムシートに無理な応力を伝達しないように考慮したもので，今までのシート防水で心配されていた下地の亀裂，動きによるシートの劣化という欠点をなくした画期的なシートであります。軽量，柔軟構造物に対する施工法も公的機関のご協力を得て確立している次第でありますので，皆様方のご批判，ご指導を受け賜りたく存じます。

□屋根防水の問題点

屋根防水で設計上，施工上，留意すべき点について申し上げてみたいと思います。あわせて，先に発売しました当社の新製品合成樹脂系特殊プライマー，ＮＲＣユーゲンプライマーとアスファルトと合成樹脂とで製造したＨＲＣタイアロンシートについて説明します。

□自己融着性防水シートとその施工法

建築物の高層・軽量化，プレファブ構造等の新様式に適合する防水材料として，合成ゴムシートが開発され，非常な勢いで伸びてきました。事実，従来の防水材料と較べると卓越した性能を持っていますが，その工法には種々のものがあり，未だ確立されていないのが現状です。弊社の自己融着性防水シート（商品名：ゴムプルーフ）は従来の接着剤塗布式工法の欠点を改良するために研究を重ね，きわめて簡単で安全に施工できる新タイプのものです。説明会では「シート防水工法の作業性」に焦点をあて，弊社の特徴を実例をもって，説明させていただき，ご批判，ご教示を仰ぎたいと存じます。

□新しい防水工法についての錯覚

1. わが国におけるアスファルト防水の問題点

技術革新の現代ですから，アスファルト防水よりすぐれた新しい防水工法が考えられてもよいと思います。しかし，私どもはアスファルト防水が一番秀れた防水工法だと信じております。現在まで数十年の歴史をもつこの工法に代わるべき新しい防水工法はないと確信しております。ただいくつかの問題点がありますので，それを下記のとおり6つばかり取りあげてご説明申しあげたいと存じます。

(イ). 熱工法であること。(ロ). 複雑な屋根の施工はどうするか。(ハ). 押えが必要なのかどうか。(ニ). 雨仕舞が簡単でない。(ホ). 下地の亀裂と防水層。(ヘ). 施工業者に格差があること。

2. 外国での防水工法

(イ). アメリカ　(ロ). ヨーロッパ

現代わが国の建設業界では新しい防水工法についての議論がたいへんさかんですが，世界の現状はどうか，紹介申しあげたい。

3. 私たちはこれから次のようなことをやっていきたいと考えています。

(イ). 防水技能員の養成。(ロ). 防水の下地や，押えは私たち自身が施工監理しなくてはならない。(ハ). 雨仕舞のプレハブ化。(ニ). 施工業者の協同組合の発展

Toyotoki

『ポップアップ付洗面器のよいことは
分っているが 値段が高い――』
とおっしゃる方に
お求め易いポップアップ付洗面器をおすゝめします



前丸
洗面器
L1152
534×450
陶器金具セット価格 ¥ 9,740より



前丸
洗面器
L1237
560×460
陶器金具セット価格 ¥10,270より



前丸角形
洗面器
L1153CF
560×460
陶器金具セット価格 ¥12,170より

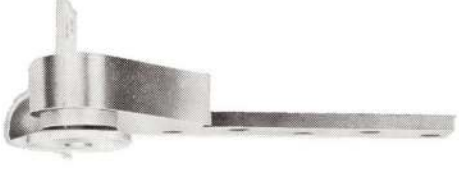


角形
洗面器
L1238CF
550×455
陶器金具セット価格 ¥12,170より

東洋陶器
本社/北九州市小倉区篠崎町
大阪営業所/大阪市東区高麗橋
Tel. 代 (231) 4518

サンエイ ●回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品
立枠付 ピボットヒンジ





■ 本品は特に各部品の材料を吟味し、表面が錆びないようボンデライジング加工を施した上に防錆塗装をしております。
■ 焼付塗装仕上製品の他に、他の持出し吊の腕部（吊込後扉から露出する部分）にSUS27（18.8）ステンレス製ヘアーライン仕上の化粧カバーを付けてあります。
■ 回転部分にナイロンベアリング及びスラストベアリングを嵌入してあります。
■ 別製の設計製作をも歓迎致します。

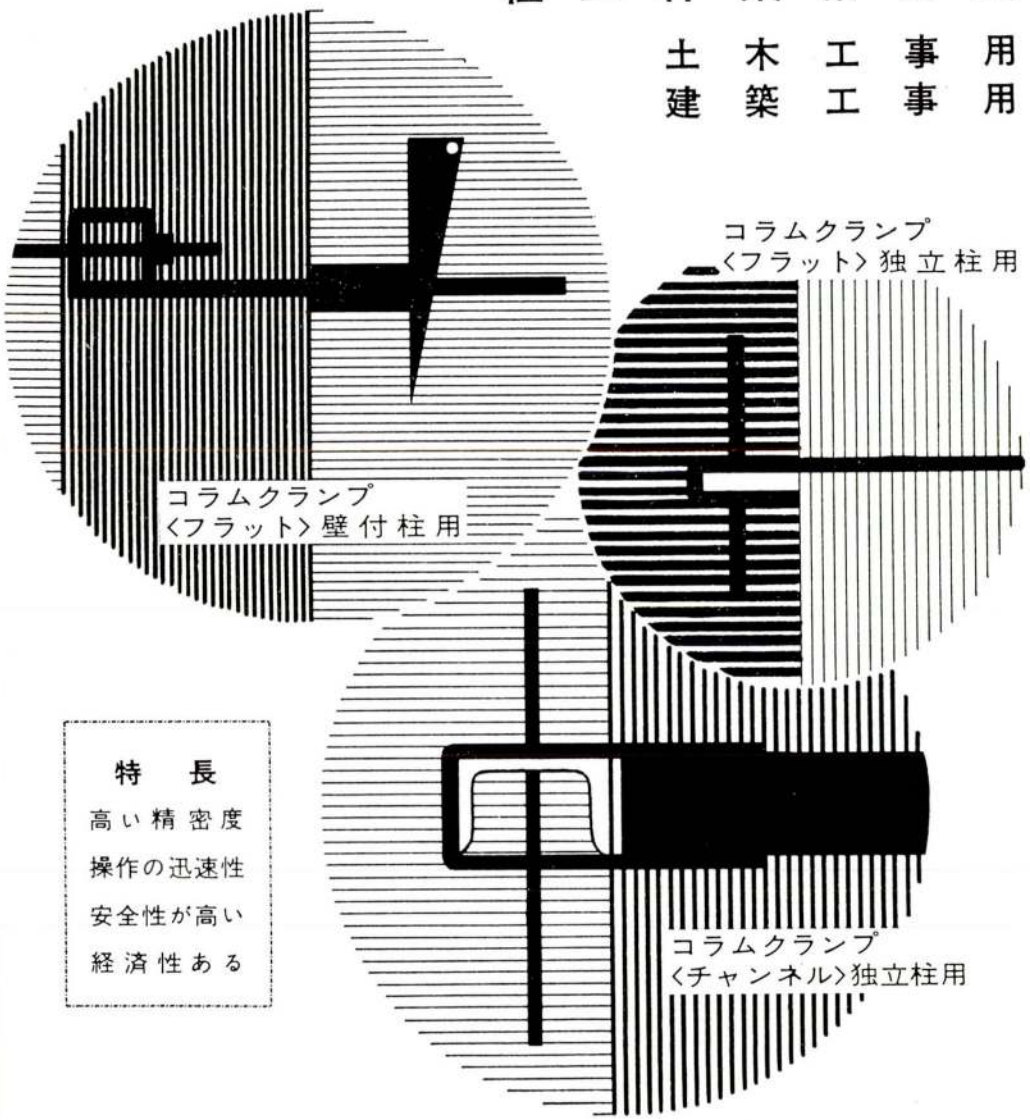
■弊社製立枠付ピボットヒンジは……
実用新案登録第517316号の立枠には何んら抵触致しておりません。

555 三榮建材工業株式会社■
大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大阪（751） 3653～5

コラムクランプ

柱型枠緊結金具

土木工事用
建築工事用



特　長

高い精密度
操作の迅速性
安全性が高い
経済性ある

富国交易株式会社

東京都千代田区内幸町２の２　富国ビル５０２号室
電話　東京（591）６８５４・６８５９・７９７７番

読者の頁

投稿を歓迎します。バガキでお寄せ下さい。けいさいの分には粗品進呈。

□ 明治中期の機織工場 □

埼玉県上尾市下瓦葺（アゲオ市シモカワラブキ）という所に，明治中期の機織工場の建物が残っている。

明治36年に農商務省商工局が出版した有名な「職工事情」にも出ている黒須工場の跡で，明治30年頃から41年まで，最盛期には男女工百余名が働き，近在きっての大工場だった。「職工事情」では，工場4棟，機台80余とあるが，現在は1台だけ機台が納屋の中に記念品のように逆さに吊してあるだけ。その納屋がすなわち工場跡でまた長屋門にもなっている。（外観と間取の図は省略。平屋総坪数約41坪強）

岩槻に小島源造というかなり手広くやっていた桂庵がいて，その世話で東北，北陸から女工を入れていた。小窓にはすべて径1cmの鉄格子が女工の逃亡を防ぐためにビッシリ植えてあり，墓地にはここで死んだ女工を葬ったささやかな墓石があって「職工墓」とのみ刻まれている。

（東京都北区神谷2ノ22ノ13　須藤欣二）

☆　★　☆

□ 祇園の宵山 □

襖戸を開けると，白麻に，青磁色の縦縞の帯がよく似合う，もの腰の，いと柔らかな京女が愛想よく迎えてくれる。巾50センチ，厚さ10センチ程の樫材の飲み台が，長年の耐用に一層の箔を添えて，馬蹄型に据えられている。腰掛は昔なつかしい床机に，紺絣の煎餅敷がチョンと場を得て涼を覚えさせる。冷房装置は，羽根も黒塗りの扇風機が一台，これもひと昔前の上下左右に首を振るやつで，飲み台の円くなった一方の端から，くるりくるりと風を送っている。こんなたたずまいの中で，京焼の徳利片手に魚素麺で，一献傾けるの味はまた格別の風情がある。今年の宵山はいつとはなしに過ぎていった。　（K・H）

☆　★　☆

□「建築もののはじめ考」発刊 □

大阪建設業協会では，会報に〝もののはじめ〟欄を設けて，建築に関する〝もの〟の起源を連載してから4カ年を経過したが，このたび，既載のものを，諸先生に再度加筆してもらって「建築もののはじめ考」として1冊にまとめ発行された。内容は，①割栗石，②煉瓦，③タイル，④瓦⑤セメント，⑥左官工事，⑦日本の紙，⑧ガラス製造，⑨鉄，⑩釘，⑪塗料，⑫塗装，⑬障子，⑭紙障子と板戸，⑮床（ゆか）と縁，⑯床の間⑰納戸，⑱たたみ，⑲らんま（欄間），⑳飾金物，㉑格天井・棹縁天井，㉒草葺・板葺・桧皮葺・瓦葺・柿葺，㉓屋根形式の名称，㉔樋，㉕宅地割，㉖神社建築，㉗塔，㉘門，㉙城と天守，㉚かえるまた，㉛仕口㉜茶室，㉝石灯篭・蹲踞・手水鉢・沓脱ぎ石，㉞日本における照明器具㉟風呂，㊱水洗便器，㊲錠前，㊳看板

の38種類のものの起源を集録している。A5版206頁で，頒価400円（送料75円）。希望者は，大阪建設業協会（大阪市東区京橋3—70 電大阪941—3651）に申込みのこと。

□ 大阪府建築家協同組合マーク募集要項 □

○ 内　　容　明快，力強く，誰にもわかりやすく，大阪府建築家協同組合にふさわしいマーク。

○ 応募方法　作品はB5画用紙，またはケント紙に墨書のこと。その下に作品の表現に対する簡単な説明を附し，裏面に住所氏名および何でご覧になったかを明記のこと。

○ 応募資格　制限なし

○ 応募締切　昭和41年10月10日（当日の消印は有効）

○ 審　　査　委員長　（本組合理事長）　伊藤　鉱一
委　員　（本組合理事）　福永　　薫，　伊東　恒治
海上　静一，　森　　忠一，　小河吉之助
佐野　正一，　徳永　正三，　渡辺　道輝
吉村　栄介
で審査採用を決定す。採用分の著作権は本組合に帰属する。

○ 発　　表　昭和41年10月15日

○ 賞　　採　用　　7万円（1点）
佳　作　　5千円（3点）

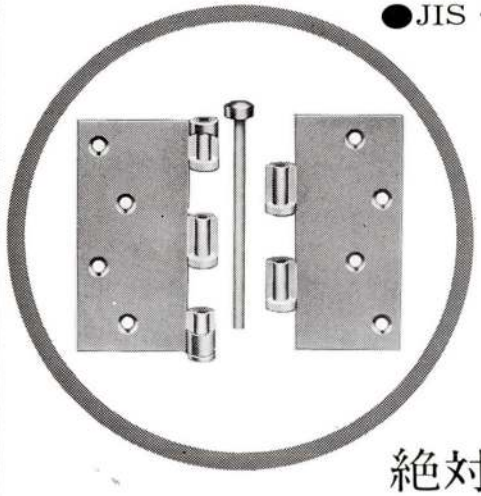
○ 送 附 先　大阪府建築家協同組合　大阪市東区博労町3—3
TEL（251）0640，（271）9382

なお，不採用の場合，作品返送を希望される人は郵券封入のこと。

セリ上がり防止付・湿気の多い場所にも安心して使用出来るヒンジ！

NR-64 パイオニアヒンジ

●JIS・G3307（SPH-1）鋼材を使用した!!



■軸芯のせり上がりが完全防止されています。
■ナックルの断面に同一金属の接触がないので軸芯内の錆びが生じません。
■東レナイロンを鍔付ブッシュにしてナックル内の軸芯の軸受としてはめ合せしていますから摩擦係数が少なく自己潤滑性に優れドアーの開閉が円滑で横振れなくキシム様な音を立てず注油の必要がありません。
■アート独特の防錆塗装仕上により完全防錆と美しい仕上り品質を備えています。
■仕上色彩、パールカラー

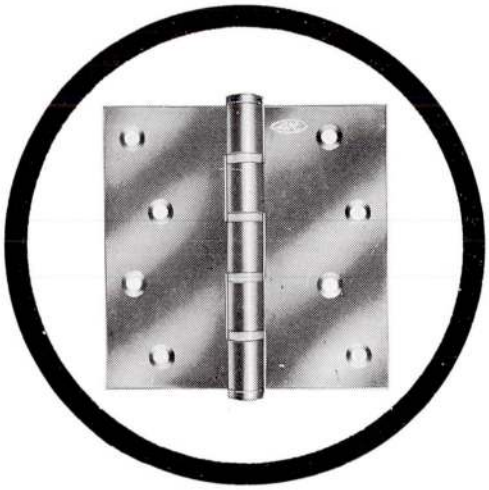
絶対に錆びないヒンジです

●18－8 ステンレス鋼を使用した

ST-64 マリンヒンジ

きしむ様な音が全然しません

●デルリンブッシュ入りですのでドアーの開閉が円滑で横振れなく注油の必要がありません
●温度の急微な変化衝撃にも強いです●耐蝕性，耐錆性，耐熱性，耐摩耗性に優れています
●表面仕上はNo.4仕上です●施工が容易です



●ＪＩＳ規格表示許可工場　日本住宅公団指定メーカー

永和工業株式会社

本　社　大阪市生野区巽矢柄町１２８　TEL 大阪(751)1271～5
工　場　大阪府枚岡市布市町５０　TEL 枚岡(81) ５５６６
東　京　東京都中央区日本橋本町4－4　TEL 東京(663) ６７４８
営業所　（クラウンビル内）

建築と社会

ニュース

■大阪駅前の噴水

交通の錯綜する大阪駅前に，このほど噴水がお目見えした。大阪地下街の排気塔のまわりの土地を緑化して樹を植えると共に，噴水を設置したもので，車でいく人や，陸橋上の歩行者の目をとめている。噴水は水柱を太くして道路に飛散しないように考慮されたということだが，遠くから眺めざるをえない人にとっては，小さすぎて迫力と趣きに乏しいきらいがあるのは惜しまれる。しかし，殺風景な周囲をやわらげ，昼は日光に夜はネオンに映って，道ゆく人の涼感をさそっているのはうれしい



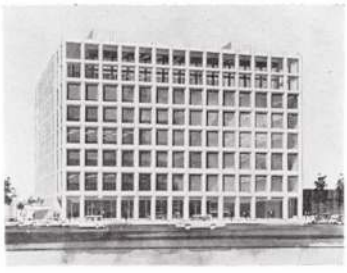
ことである。施主：大阪地下街KK，設計：大阪市公園協会，造園工事：KK三芳園，噴水工事：久保田鉄工KK

■個展〝土と火のインテリア〟

植木未魚子デザインルーム（大阪府豊中市上野8-137電068-52-7496）では，かねて，インテリア・エレメントとしての陶器，ガーデンプランニングにともなう陶器などつくり，これからの建築の内と外に焼物の可能性を試みてきたが，このたび個展〝土と火のインテリア〟と銘うって，東京展（8月8日～12日於日本橋丸善画廊），大阪展（8月17日～21日於難波高島屋）を開く。

■大阪商工会議所新ビル起工式

大阪商工会議所では，新しくビルを建設することになり，去る7月13日，その起工式を，建築地：大阪市東区本町橋詰町58番地で行なった。設計は日建設計工務KK，施工は大林組，銭高組，竹中工務店の共同の由。鉄骨鉄筋コンクリート造，地下2階地上8階，延面積約2万m²で，国際会議可能の会議場はじめ，図書館，商品展示場などの諸施設も備えている。



■二条陣屋・南禅寺・円通寺を見る会

日本建築協会では，去る7日5日，京大建築研究協会の大森健二氏の解説で標記見学会を開催した。出席者：約50名。諧謔を交えた二条陣屋での説明を面白く拝聴後，一行は一路南禅寺へ向い，壷庵での禅料理で小憩。午後は，本坊ならびに金地院を見学，講演をうけて，つぎに洛北円通寺に入った。次第に景観の失なわれつつある京の庭園のなかにあって，



ここでは，叡山の景色をたくみにとり入れて，昔ながらの姿をよく保存されていたのに感歎した。

■盛会のよろず相談住宅展

専門家による住宅よろず相談（無料）と，住宅関係の資料展示会に，夏の暑さにかかわらず，市民が大勢つめかけ，熱心に住宅について質問したり，展示に見入ったりして，関係者をてんてこまいさせた。これは日本建築協会主催の第3回「よろず相談住宅展」で，7月14日から19日まで，大阪・阪神百貨店8階で開かれたものだが，住宅の賃貸，購入，土地の問題，法律，税金問題などで専門的につっこんだ質問をする人もおり，いまさらながら，住宅を求める人たちの関心がいかに高いかをうかがわせた一週間であった。



■ゴライアス（巨人）あらわる

昼は己れの股ぐらに自動車をくぐりぬけさせ，夜になると，その鋭いきりで地中を掘るという「ゴライアス」(巨人）が出現している。といっても，ギリシャ神話のおとぎではない。大阪・堺筋の高速鉄道（地下鉄6号線）の工事に一役買っている大型軌道起重機のことである。施工：鹿島建設。



すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス



広島市営温水プール
設計　日建設計工務K.K
施工　藤田組
使用場所　屋根

軽　　量（比重 0.5コンクリート¼の重量）

断　　熱（コンクリートの１０倍の断熱性）

耐　　火（法　定　耐　火　材　料）

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまで
あらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被
覆に使用されますが次の建物には特に最適です

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

SIPOREX

シポレックス販売株式会社

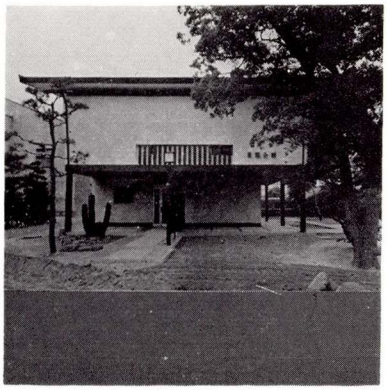
本　　社　東京都千代田区岩本町２ノ１ノ16(森川ビル)
電話　東　京（861）代　表　７　２　４　１
大阪支店　大阪市西区京町堀通１ノ125(東洋ビル)
電話　大　阪（443）代　表　７　７　４　１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３ノ２(大商ビル)
電話　名古屋（581）代　表　７　４　２　１

□写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a.所在地　b.建築面積　c.延面積　d.構造規模　e.工　期



145. 追手門学院大学

設計・施工：大成建設KK
a．茨木市安威
b．1,450.30㎡
c．4,527.63㎡
d．教室棟　RC，B1，4F
　食堂棟　RC，1F
e．昭和40年10月 ～ 昭和41年3月



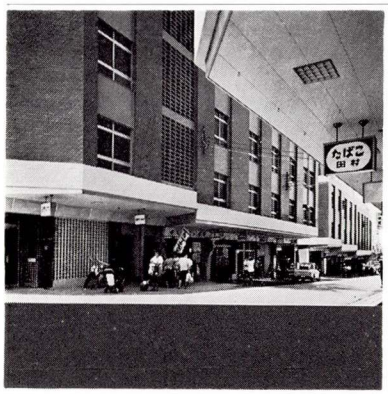
146. 福山葺陽同窓会館

設計：KK京都建築事務所
施工：KK中国土建
a．広島県福山市三之丸町
　福山葦陽高校
b．180.603㎡
c．279.081㎡
d．S，2F
e．昭和39年11月 ～ 昭和40年3月



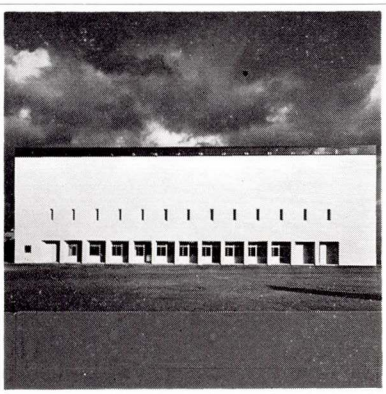
147. 柏原市民会館

設計：KK藤沢建築設計事務所
施工：KK金山工務店
a．大阪府柏原市安堂町1番地50
b．1,026.35㎡
c．2,638.70㎡
d．RC，一部S造，　B1，3F
e．昭和40年9月 ～ 昭和41年6月



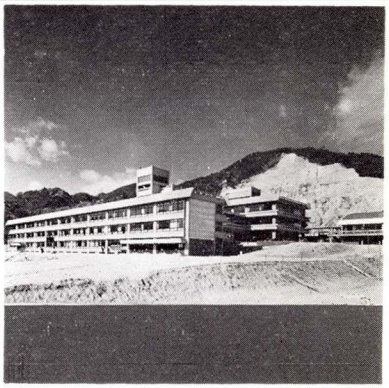
148. 阪神千船駅前防災建築街区

設計：KK小河建築設計事務所
施工：KK藤田組大阪支店
a．大阪市西淀川区佃町3丁目
b．2,742.39㎡
c．9,268.19㎡
d．RC，B1，4F，P1
e．昭和40年6月 ～ 昭和41年6月



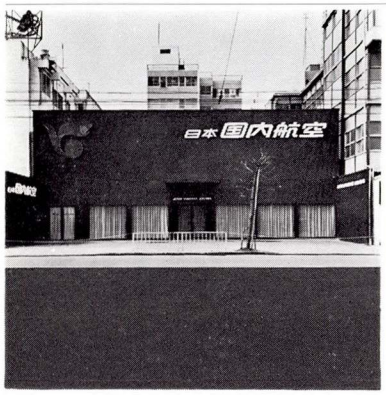
149. 城星学園特別教室講堂

設計・施工：KK竹中工務店
a．大阪市東区岡山町344
b．1,020.25㎡
c．2,375.99㎡
d．RCおよびS，3F
e．昭和40年4月 ～ 昭和40年12月



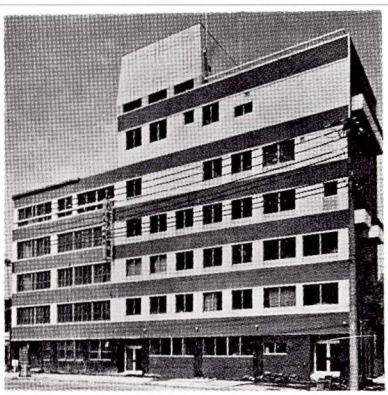
150. 兵庫県立宝塚高校

設計：兵庫県建築部営繕課
施工：KK山田工務店
　　KK村上工務店
a．宝塚市小林字西山14
b．4,985.15㎡
c．11,061.67㎡
d．RC，3F，P付他
e．昭和37年10月 ～ 昭和41年3月



151. 日本国内航空大阪営業所（改造）

設計・施工：KK竹中工務店
a．大阪市北区芝田町
b．411.9㎡
c．539.7㎡
d．S，平家建，1部2F
e．昭和40年11月 ～ 昭和41年3月



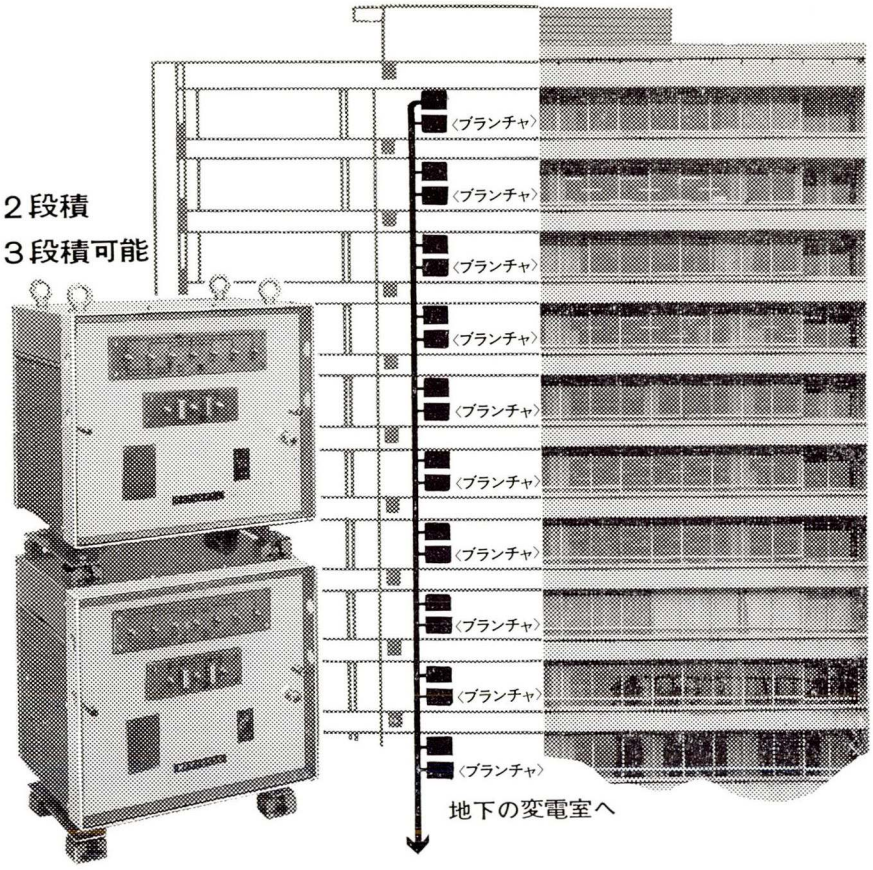
152. 四条外科病院（増築）

設計：KK京都建築事務所
施工：真柄建設KK
a．京都市四条堀川
b．220.000㎡
c．1,315.176㎡
d．RC，7F
e．昭和40年12月 ～ 昭和41年6月



153. 医療法人葵会北病院

設計：KK京都建築事務所
施工：KK浅沼組
a．京都市北区紫野
b．309.955㎡
c．916.055㎡
d．RC，3F（将来5F）
e．昭和40年7月 ～ 昭和41年6月



大形ビルなどの400V級配電方式に…

ナショナルトランス〈ブランチャ〉

電源分岐室用乾式変圧器（実用新案・意匠・商標）申請中

〈ブランチャ〉は400V級配電を100V級200V級に円滑に降圧。三相200V級と単相100・115Vの同事使用が可能で、ビル・工場などの400V級配電方式の合理化に大きく貢献します。

並行運転・積重ね使用が可能

分岐室を有効に使用するため、難しい条件の積重ね式と結線方式の技術を解決。〈5KVAと10KVA〉及び〈20KVAと30KVA〉の組合せは、それぞれインピーダンス電圧と位相角を合せていますので積重ねによる並行運転が可能です

諸経費も割引されます

配電方式の合理化により材料費・工事費が減少。また、小形で取扱いが簡単なため設備費・保守費も大へん経済的です。

三相・乾式（H種絶縁）・二巻線変圧器 容量 5・10・20 30・50KVA　一次電圧　440V（60%）　420V（50%）
二次電圧　210V－105V　結線方式△－Yノーヒューズブレーカ、防震ゴム取付可能

●お問合せは……

札　幌	(24)9271	名古屋	(951)6211
仙　台	(25)8111	大　阪	(362)5151
宇都宮	(3)3235	神　戸	(39)8011
東　京	(453)3111	広　島	(41)5111
横　浜	(68)0743	高　松	(2)1194
静　岡	(54)1241	福　岡	(28)3331
富　山	(21)8561	小　倉	(53)5221
金　沢	(61)2125	鹿児島	(3)0671
新　潟	(45)6386		

ナショナル
松下電器



クラスメート
15

左より（敬称略）

福井　昇
（神戸市建築局営繕第一課係長）

橋本堅一
（KK明和工務店姫路営業所次長）

山本万司
（画家・国画会々員）

大木基弘
（KK大木工務店代表取締役）

榊原邦夫
（KK中井総組建築部長）

山本金蔵
（山本建築研究所所長）

山内芳男
（KK大林組本町工事々務所所長代理）

垣内泰雄
（三菱重工業KK建築課長）

神戸・ニューポートホテルの前で

昭和９年兵庫県立工業学校28回の卒業で28会（にはちかい）という。戦争の被害を最も被った年代で，現在では総勢14名である。今回，建築協会のお招きで８名が顔を合わすことになり，大正子の意気を上げようじゃないかと語りあって楽しい一日であった。

橋本，屈托のない人格でいつも周囲の人を楽しませてくれる人である。学生時代は絵を良くし，現在は余暇に謡をやっている。

垣内，真面目一方で温和しい学生であった。軍隊時代将校として喧しい人であったと聞くが想像ができない。建築の図面の中から生まれてきたような人である。

山本万，建築をやめて絵描きになった変り種，彼特有のねばりがあり実行家である。今春，国画会々員となり前途有望株。

福井，酸いも甘いも良くしっていて知らん顔をしている人。社会人として真面目で親切な人柄であり，能吏としてますます今後に期待したい。

榊原，クラス中で一番豪傑に見えて大へん優しい人。学生時代悪童仲間でいつも損のくじを引いてだまっていた。現在会っても同じで嵩高いがだまって人の言を聞いている。

山内，学生時代から勉強のよくできた人で余技にハーモニカが旨かった。最近多病の様子であるが自重して大いに天分を発揮してもらいたい。

山本金，甘えっ子で世間好きの人である。身体に不慮の災害を受け立派に立直った見本のような人。その意味でクラスメートの尊敬をあつめている。

大木，終戦間もなく役人の足を洗って建設業に転換。いつも自分に鞭打って早や20年が過ぎた。人生50から，頑張ろうじゃないか。　（大木記）

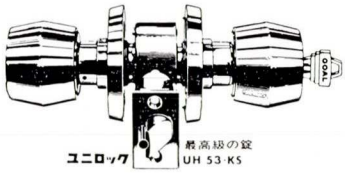
GOAL

® 鍵をつくって50年……



豊富な品種と
精密さ・堅牢さ・美しさを
そなえたゴールの錠(ロック)は
日本一の生産量が
証明しています。

有名ビル・ホテルで採用されているのは
完全な品質管理と半世紀にわたる
鍵づくりの技術を高く評価されているからです。
建設省・日本住宅公団・各府県市庁・有名建築設計事務所ご指定



ユニロック 最高級の錠 UH 53-KS

GOAL IS THE FINEST NAME IN LOCKS AND HARDWARES

株式会社ゴール

本社・工場／大阪市東淀川区三津屋北通り四―三〇 ㊡(〇〇〇)〇〇〇〇
九州工場／佐賀県神埼郡三田川町
営業所／東京・名古屋・札幌・仙台・静岡・金沢・広島・高松・福岡

建築の眼

鳥田家弘
神戸大学建築学
宮秋利厚
日建設計工務KK
谷口尚武
KK大林組
福田好雄
ダイケンサッシKK

■ 人間的な，余りに人間的な——（1）

敗戦後20年——デラックスデザインと人間的空間の時代。意匠も構造も設備も，大いに金を喰ってたるんでいるのがよしとされる。また快適とか人間的とか称して，環境のほうを主人公にして甘えている。戦国時代から第二の桃山期へ。

しかし，デラックスとは水ぶくれ。

人間的とは脂肪とぜい肉。

そこで「坐ることを拒否する椅子」もあるが，それはまだデラックス書院に対する草庵の域にはおよび難い。

人間的空間——それは疎外からの人間回復などともいうが，どうも信じ難い。人間の本質も建築の本質も，そんないい加減な雰囲気や余りに人間的な夾雑物を吹きとばしたところにある。（To）

■ 不法建築

相変らぬ住宅難である。公営，公団の住宅に入居できた人には，必ず『幸運にも』という前おきがついている。運がなければ，生活の基盤たる住居が得られないこんにちである。そこで，苦しい家計の中からやりくりすれば，調達可能な程度の資金で手に入りそうな建売住宅とか，住宅不足につけ込んでバラックを建て，文化住宅の名の下に提供される木造アパートなどが，話題になる。しかし，これらのなかには，法を無視したいわゆる不法建築が少なからずあると聞く。不法建築とは，建築法規で定められている諸々の基準を守っていない建築であって，当然，保安上，防災上危険な建物である。しかし入居する人々は建築については専門知識のない素人がほとんどである。これがいかに危ないかを技術的に判断できるものではない。いわば病人に，あるいは健康人の保健にでもよいが，医師でない人が怪しげな薬を提供するに似ている。無事な間はまだしも，万一の際は人命が損われる。恐ろしいことである。人間生活の容器たる建築，ことに住宅にあって，単なる金もうけのために造られた，ないしは造られんとする，不法建築に対して断固たる措置が採られねばならない時期にきていると思うが。（Mi）

■ 付加価値

乗心地のよい国産機—YS—11のエンジンにロールス・ロイスのマークのついているのが気になっていたが，製造担当者の話をきいてなにもかも国産でなければと考えることの時代おくれを知った。YS—11はエンジンだけでなく，目につかないところにもたくさんの外国製部品がつかってあるそうだ。世界中の航空機部品メーカーを対象にV・Aを行ない，YS—11のシステムに最適の相手を選びだす——この方式でないと，世界市場相手の航空機はできないという。それで十分に採算がとれるのは付加価値が大きいからだ。よせあつめた部品を時速数百キロで安全に飛ぶものに化する設計・技術が高く買われるからだ。建設産業も構成材料費や投入労賃にわずかなマージンを加えた程度の値でしか売れないものでなく，飛行機とまではいかなくても，設計力・技術力をもっと高く売りつけられる分野に伸びていかなければならない。（Ta）

■ 耐用年限

サッシといえば「アルミ」ですかというまでにアルミがその全盛を謳われていますが，数年前まではサッシ需要の大半はスチールで占められていました。日本で初めて巣鴨製作所の手でサッシが作られたのは大正3年ですが，大阪の建物にサッシが使われたのは大正10年竣工の中之島中央公会堂ではなかったかと思います。当初は熱間圧延のサッシバーができなくて，鉄板を折曲げあるいはロールフォミングしてサッシバーを作り，主に回転や両開きサッシが製作されて，上げ下げなどの高級品は大正末期以後に生産されるようになりました。

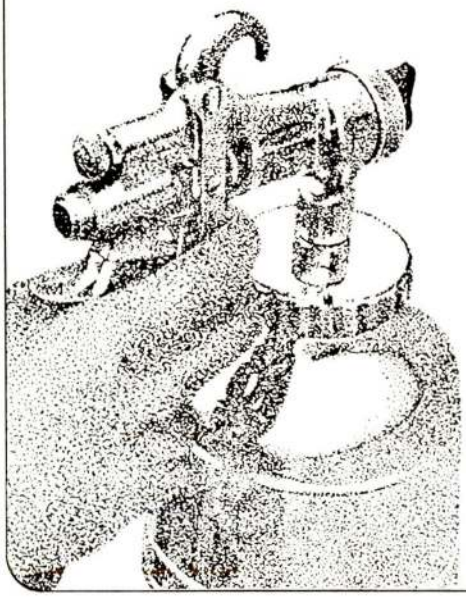
大阪で大正年間にサッシが使われた建物は，前期公会堂と日銀大阪支店，市役所，有田ドラッグ，堂ビル，朝日新聞社位のものでした。いずれも40年を経過のこんにち，堂ビルは先年アルミに取替，朝日新聞社は取毀されましたが，その他の建物には，全部そのまま使用されています。鉄でも使い方により，その耐用年限の長いのにいまさらびっくりしています。（Fu）

7月号より12月号まで上記の新執筆者でこの「建築の眼」欄を担当してもらっています。

Zola-coat PATENTED MULTI-COLOR

新発売

特許多彩模様塗料



ゾラコートクラシック

ゾラコートクラシックは，最も新しい感覚の多彩模様塗料で近似のパステルカラー２色からできています。少しはなれると単色のように見えますがこの近似の２色が微妙に調和して普通のシングルカラーでは見られない落着いた，やわらかい奥行きのある味わいを出します。

関西ペイント株式會社

大阪市東区伏見町５―27　　東京都中央区宝町３―２

色見本帳ご希望の方は宣伝課Z係まで

きんきの サッシ



＊営業品目

■スチールサッシ・ドア・アルミサッシ・ドア
　ステンレスサッシ・ドア・カーテンウオール
■冷暖房・給排水・衛生設備工事
■電気設備工事
■建設用機械

製造元 近畿車輌株式会社

工場/大阪・東京

発売元

近畿工業株式会社

本　　社　大阪市北区梅ケ枝町１０８(新梅ケ枝町ビル)
　　電話大阪（363）３３７１（代表）
東京支店　東京都千代田区神田岩本町２（共同ビル）
　　電話東京（254）２０５１（代表）
名古屋支店　名古屋市中村区平池町４丁目４８の２
　　電話名古屋(551)２５２２・８６５５番

建築と社会

©

表紙のことば：そうおん　（都市環境とその要素・8）

産業と交通の発達が　騒音をもたらし
都市は喧騒につつまれています
私たちの生活を考え　計画された
新らしき都市の建設を……

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 菅谷　淳

1970年万国博会場計画特集

Architecture & Society

1966年・第47集・8月号・目次

日本建築協会会告　会員受賞・見学会・若い会員の集い・説明会……7
読者の頁　須藤欣二，大阪建設業協会，大阪府建築家協同組合……13
建築と社会ニュース……15
スケッチブック　最近竣工の新建築9点……17
クラスメート　兵庫県立工業学校昭和9年卒（大木基弘ほか）……19
建築の眼　担当：鳥田家弘・宮秋利厚・谷口尚武・福田好雄……21
海外写真　チボリの噴水（ローマ郊外）……撮影：恒成　一訓……25
作品作風　朝日放送本社……設計施工　大成建設KK……26
大阪マツダ東営業所……設計　KK大阪建築事務所／施工　大成建設KK……38

1970年万国博会場計画特集
万国博と建築……東畑謙三……42
1970年万国博の会場計画……西山卯三……43
万国博会場計画における技術的諸問題……45
上田篤・三輪泰司・高口恭行・久谷政樹・霜田稔・藤原昭・中村輝子
1. 会場計画の方法とプロセス……46
——機能論的アプローチの可能性
2. 万国博の機能……48
万国博とは
3. 会場計画の考え方……50
未来都市のコアについて
4. 建築条件の想定……60
未来の建築
シンボル空間の建築条件想定
（お祭り広場・人工頭脳・ゲート・人工環境）
5. 地形と土地利用の現況……64
敷地造成，保存樹林，造園工事，気象
6. 交通計画——アプローチ……70
場内交通，ゲート，インターチェンジ
7. 会場跡地の計画……80
情報科学都市の提案

人と建築　若い会員の集い第10回
「アンコール・ワットの内部空間と外部空間」（西沢文隆）……111
技術の頁　目録：技術の頁一覧表……112
月報　日本建築協会月間の動き（6月分）……113

編集人　松井昭光
印刷　昭和41年8月20日
発行　昭和41年8月25日
発行人　福中定三郎
発行所　（社）日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電　大阪231—9648
振替口座　大阪39975
印刷者　網野栄
印刷所　（株）研文社
大阪市北区堂山町66
電　大阪361—2091
売価　1部　200円・送料共

建物の洗ひと管理の店

住宅美素工事の創始者

- ビルディングの洗浄工事
- 木造建築洗浄・美素仕上工事
- ビルディングの清掃・一般管理

（登録商標）

美素工業(株)
美素建物管理(株)

本社　大阪市東区瓦町三和ビル
電話（231）5888・4938
営業所　大阪市東区本町二丁目五
電話（261）4070・4079・617

三星の床材
ソフトンタイル

株式会社 木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話(443)0115～8

株式会社 久保商店
大阪市北区真砂町5
電話(364)0206～9

三友工業株式会社大阪支店
大阪市西区南堀江大通1の19 電話(541) 6161～4

合名会社 利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20(道頓堀電停前) 電話(211) 0571～4
販売部分室 電話(211) 6923・0575
京都営業所 京都市中京区河原町夷川下ル (23) 3277・3279

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話(632) 0121～4

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話㊺ 2697・2140

株式会社 タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル
電話(81) 0871～2

岡田建材株式会社
名古屋市西区桜木町3－8
電話(571) 7461～3

株式会社 名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話(261) 3671～2・3848

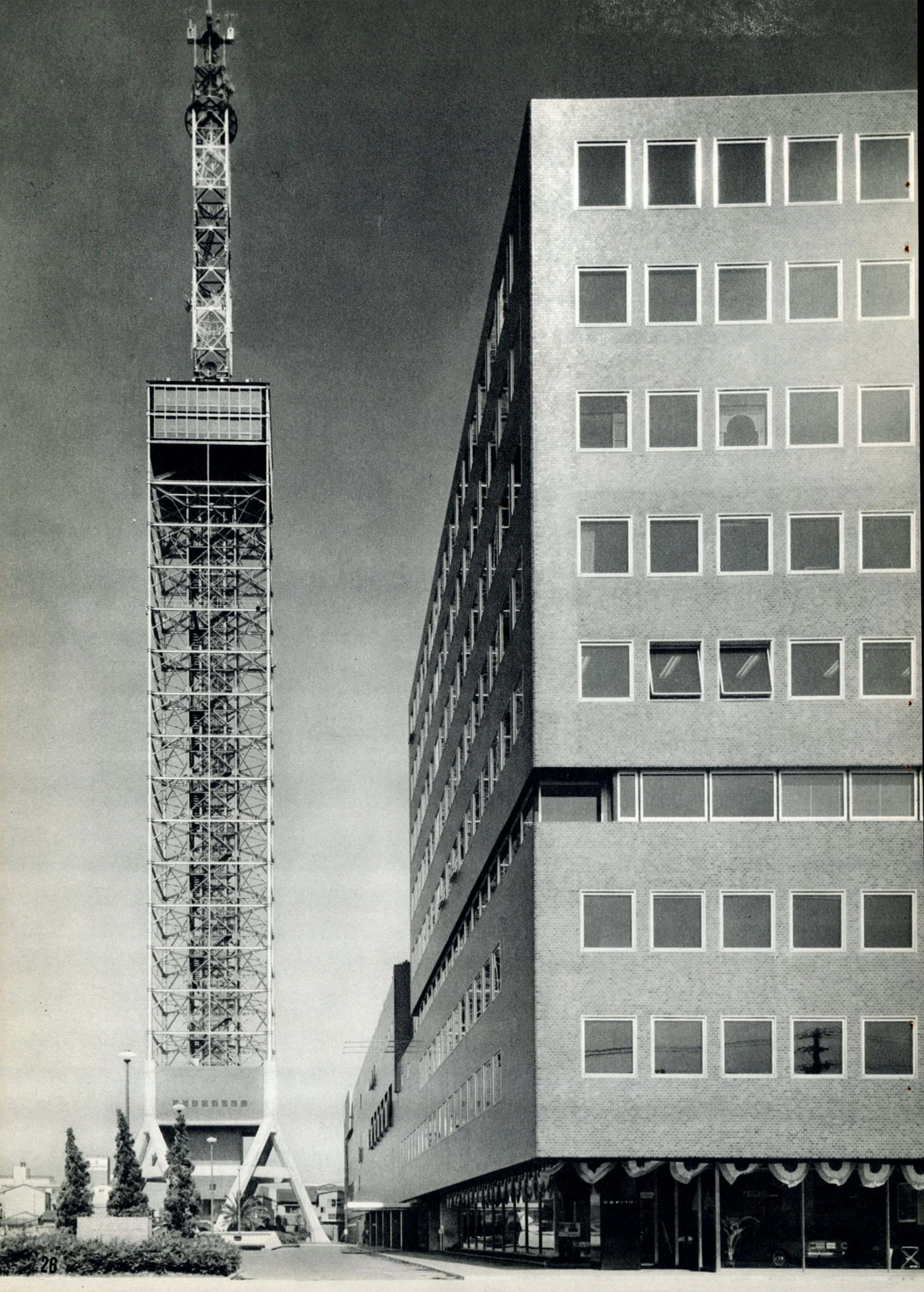
日東物産株式会社
本社・名古屋市中区東瓦町39 電話(261)2501代表
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27 電話③2201・2360

青盛建材株式会社
本社・広島市鉄砲町5番16号 電話代表(21)2281
岡山・岡山市東田町3 電話代表(23)8285
福岡・福岡市冷泉町5番6号 電話代表(28)5566
松江・松江市西津田町258 電話①② 9551

関西三星タイル会員



チボリの噴水（ローマ郊外）　撮影：恒成一訓

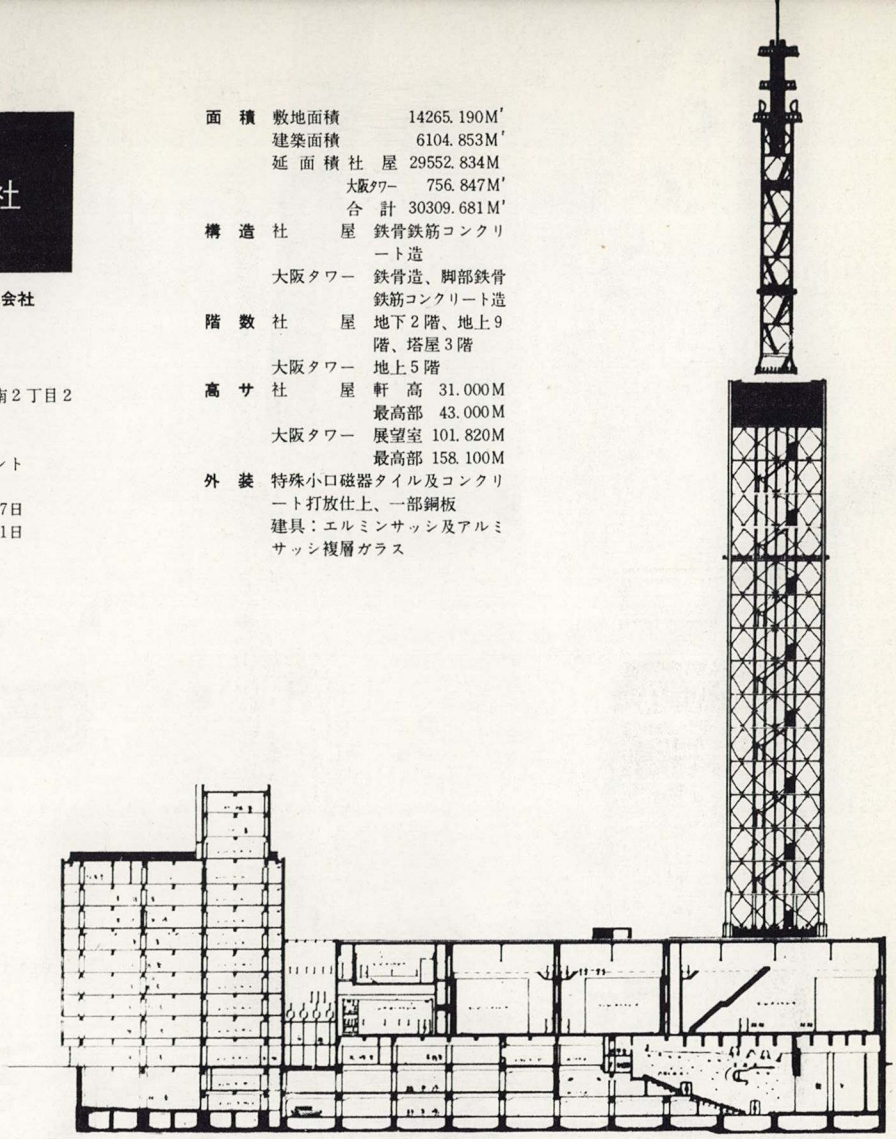


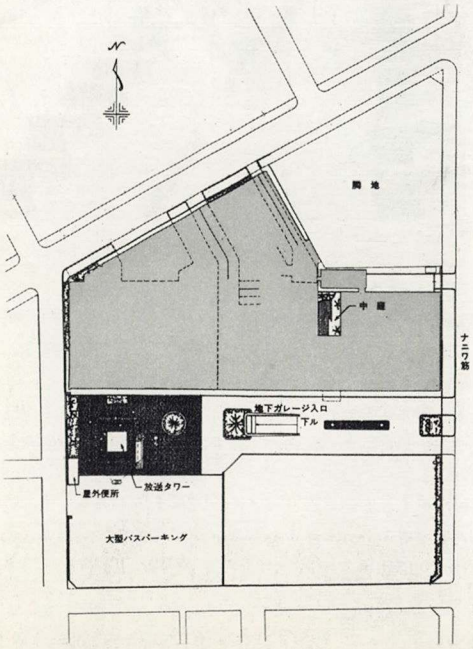
朝日放送本社

設計施工　大成建設株式会社

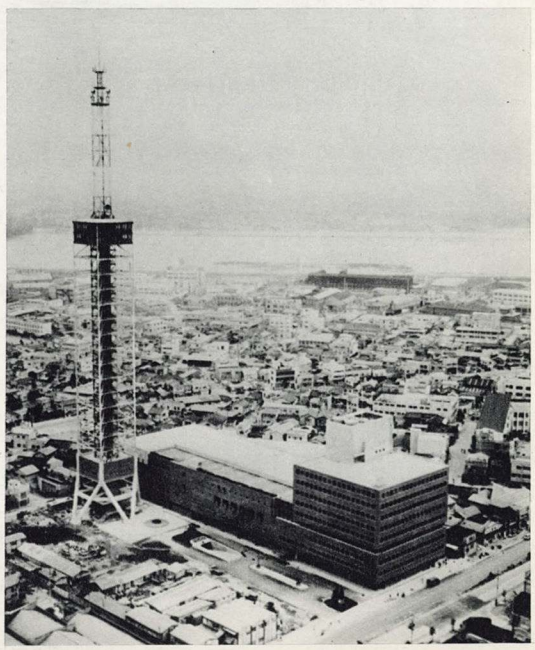
所在地　大阪市大淀区大淀町南２丁目２番地
建築主　朝日放送株式会社
同　建築コンサルタント
浦辺鎮太郎
工　期　着工　昭和39年９月27日
竣工　昭和41年５月31日

面　積　敷地面積　14265.190M′
建築面積　6104.853M′
延面積　社屋　29552.834M
大阪タワー　756.847M′
合計　30309.681M′
構　造　社屋　鉄骨鉄筋コンクリート造
大阪タワー　鉄骨造、脚部鉄骨鉄筋コンクリート造
階　数　社屋　地下２階、地上９階、塔屋３階
大阪タワー　地上５階
高　サ　社屋　軒高　31.000M
最高部　43.000M
大阪タワー　展望室　101.820M
最高部　158.100M
外　装　特殊小口磁器タイル及コンクリート打放仕上、一部銅板
建具：エルミンサッシ及アルミサッシ複層ガラス





配置図



（航空写真：朝日放送提供）



ABCホール

朝日放送本社

設計施工　大成建設株式会社

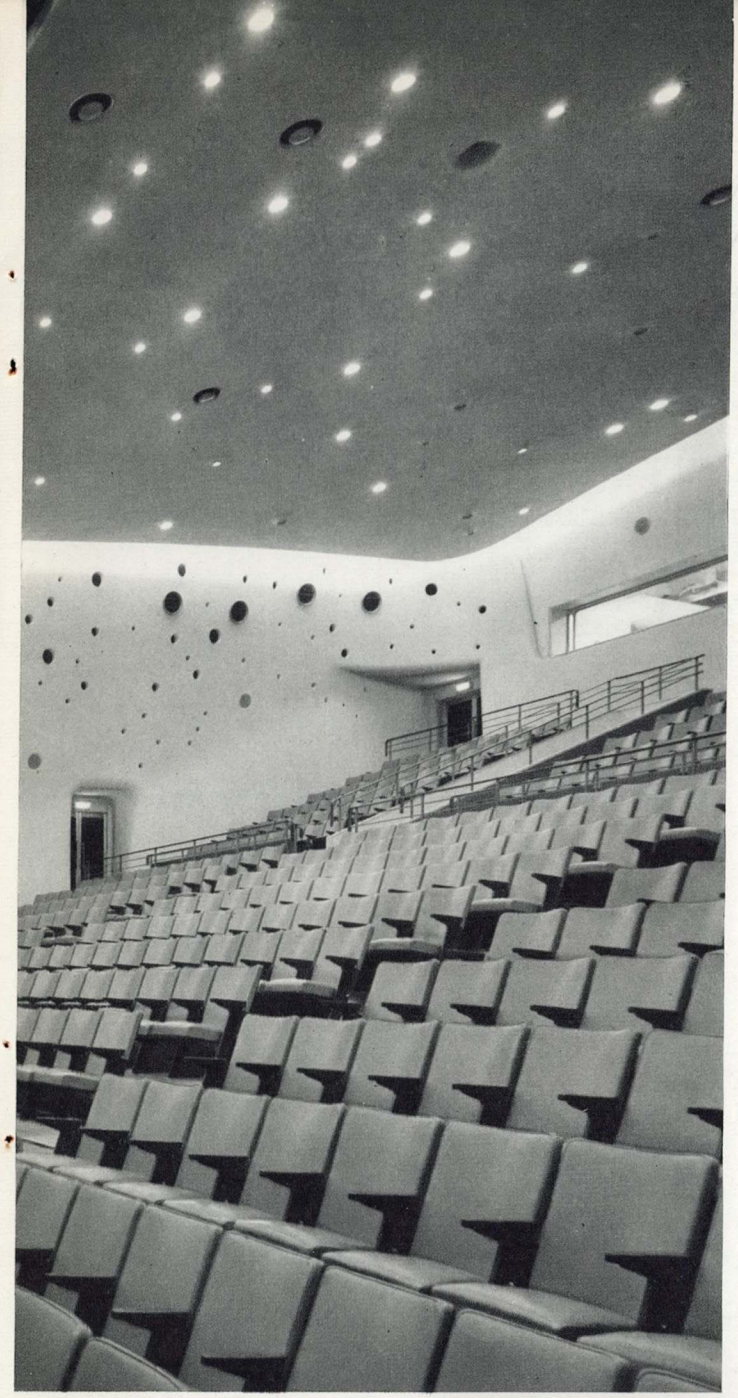
■設計者のことば

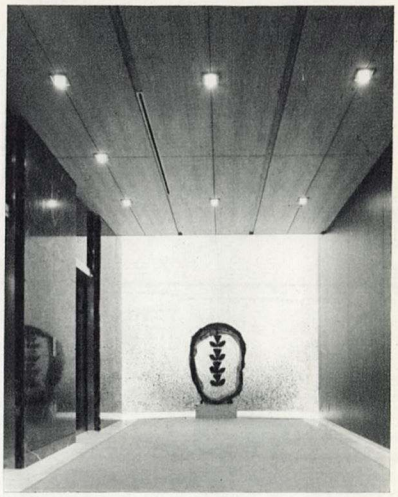
この建物は従来、ラジオ、テレビ別々の社屋を使用していた、民放界の名門、朝日放送の「待望久しかった総合社屋」として実現したもので、今までの貴重な経験と、私どもの技術が融け合ってでき上ったと言ってもよいと思う。

当建物にかけた施主の熱意は大変なもので、練りに練った要求が私どもにぶつけられ、設計者としては、それをどうこなしたらよいか興味も湧き、非常にやりがいのある仕事であった。

私どもの仕事は、つみ重ねであると同時にクリエイティブなものであると考えるが、その意味でこの建築には色々な試みをさせていただいた。幸いにも満足し得るものができたと思われるが、建物はある期間使用されなければ本当の評価は分らず、それまでは、いつものことながら首を洗って待っているわけである。

大成建設ＫＫ大阪支店設計課　中村 功





1階エレベータロビー

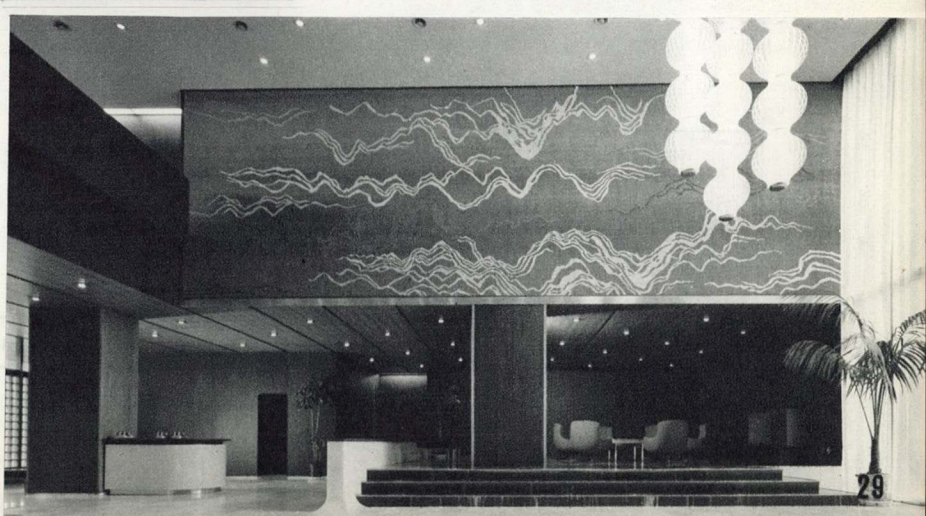
■ 施工者のことば

当建物はスタジオを主体とした建物であり、当然のことながら音の処理に関する完全施工に苦心した。過去の経験とデーターから、各所においてより一層理想的なものの追求を試みてほぼ成功した心算りでいる。また電気および設備工事が非常に複雑であったけれども、総合設計施工なるがゆえによく調整して理想的に施工を進めることができた。その他鉄骨構造においてすでに発表したごとく大孔径コンクリート充填鋼管工法を各所に採用した。今後なお研究を必要とするが在来の工法よりは秀れているはずである。

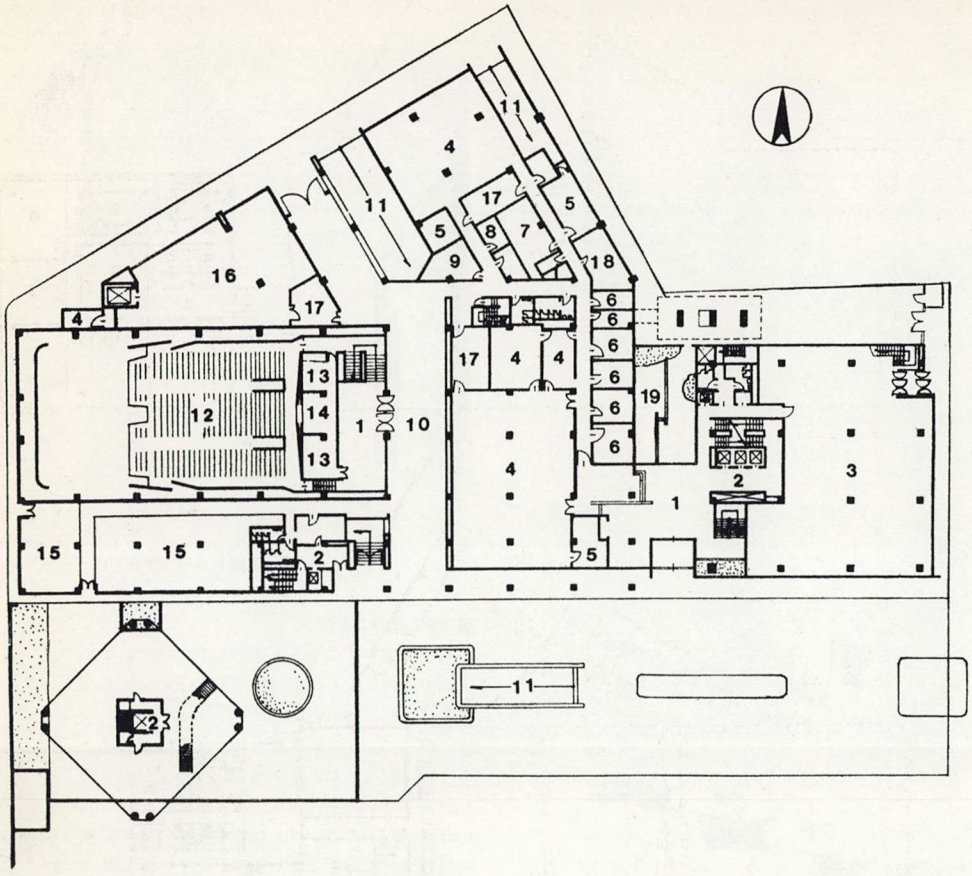
鉄塔に関しては色々の事情から着工が遅れ、鉄骨建方の工程が3ヶ月よりとれないために、最も施工が迅速であり加工精度の高い方法を採用した。いたずらに形の奇を求めたわけではない。全工期18ヶ月無事予定通りに工事を進め、6月1日放送記念日を記念して新しい鉄塔から電波を発射することができた次第でである。

大成建設ＫＫ朝日放送本社新築工事作業所長

松岡 照夫

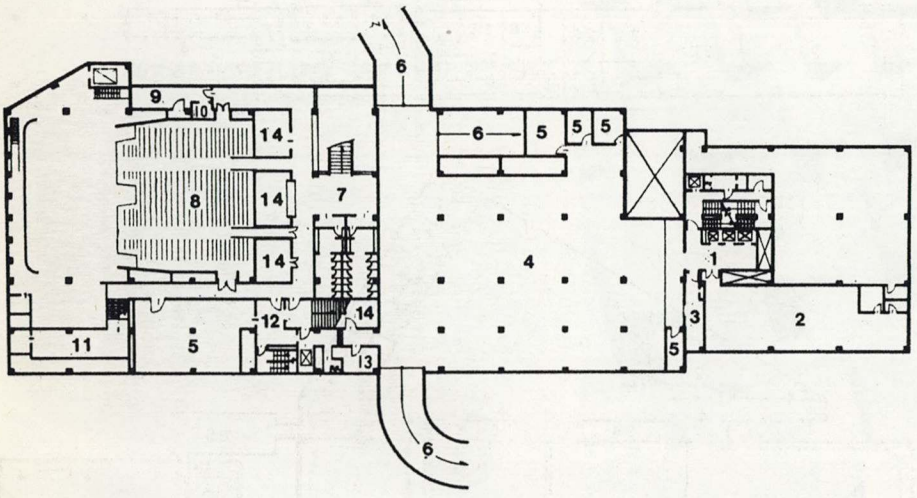


玄関ロビー



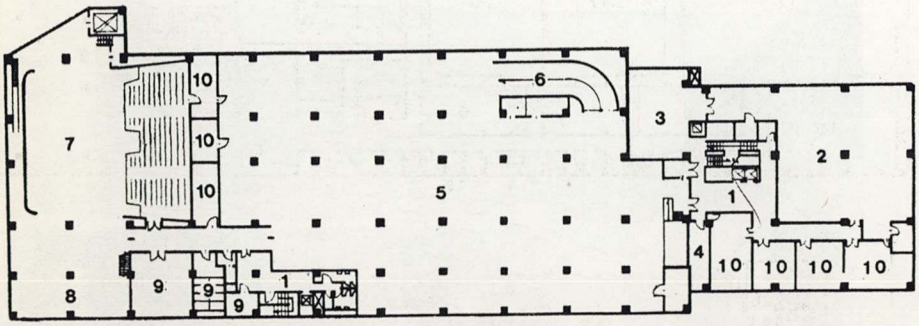
1階

1 玄関ロビー
2 エレベーターホール
3 貸　室
4 事務室
5 会議室
6 応接室
7 試写室
8 記者クラブ
9 警備室
10 遊歩廊
11 スロープ
12 ＡＢＣホール
13 調整室
14 映像室・映写室
15 貸店舗
16 中継車庫
17 中継整備倉庫
18 機械室
19 中庭



地下1階

1 エレベーターホール
2 ロッカー室
3 理髪室
4 ガレーヂ
5 機械室
6 スロープ
7 ホワイエ
8 ＡＢＣホール
9 調光器室
10 アナウンス・ブース
11 小道具室
12 ホール事務室
13 控　室
14 倉　庫

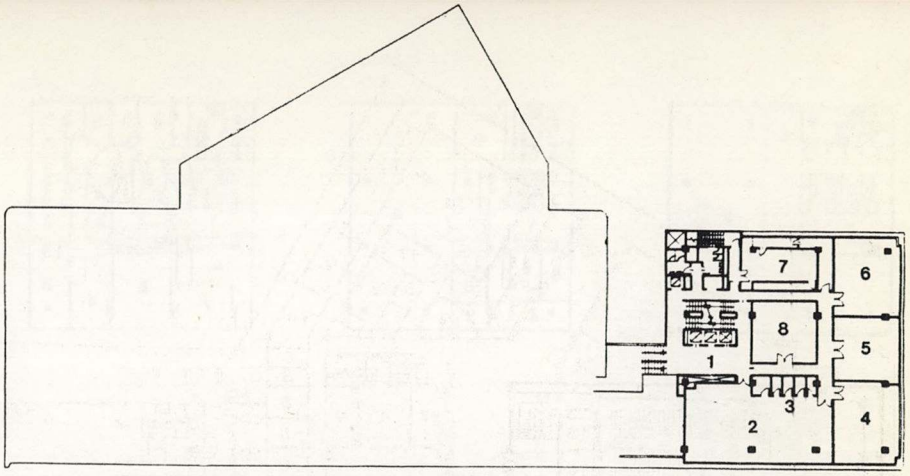


地下2階

1 エレベーターホール
2 空調機械室
3 ボイラー室
4 控　室
5 ガレーヂ
6 スロープ
7 舞　台
8 大道具室
9 控　室
10 倉　庫

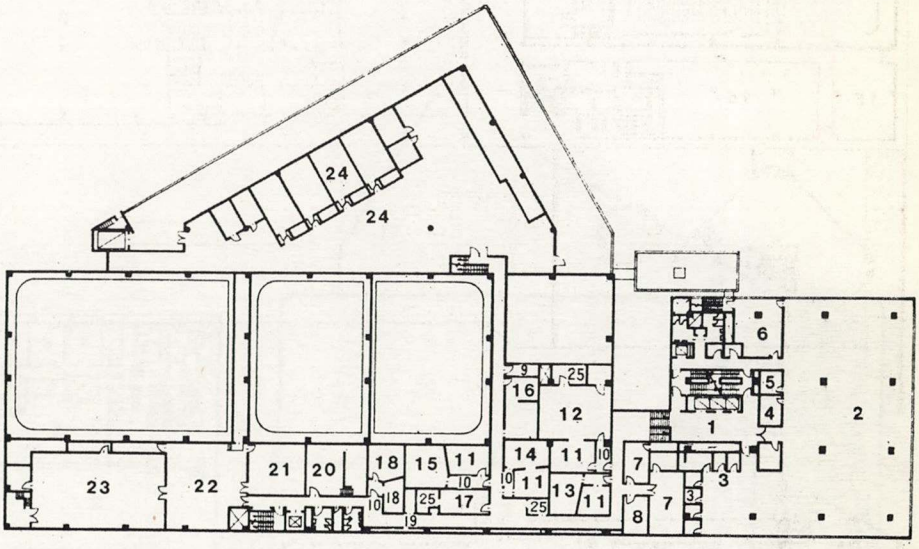
4階

1 エレベーターホール
2 レコード室、テープ室
3 試聴室
4 計算機室
5 事務室
6 会議室
7 電話交換機室
8 図書資料室



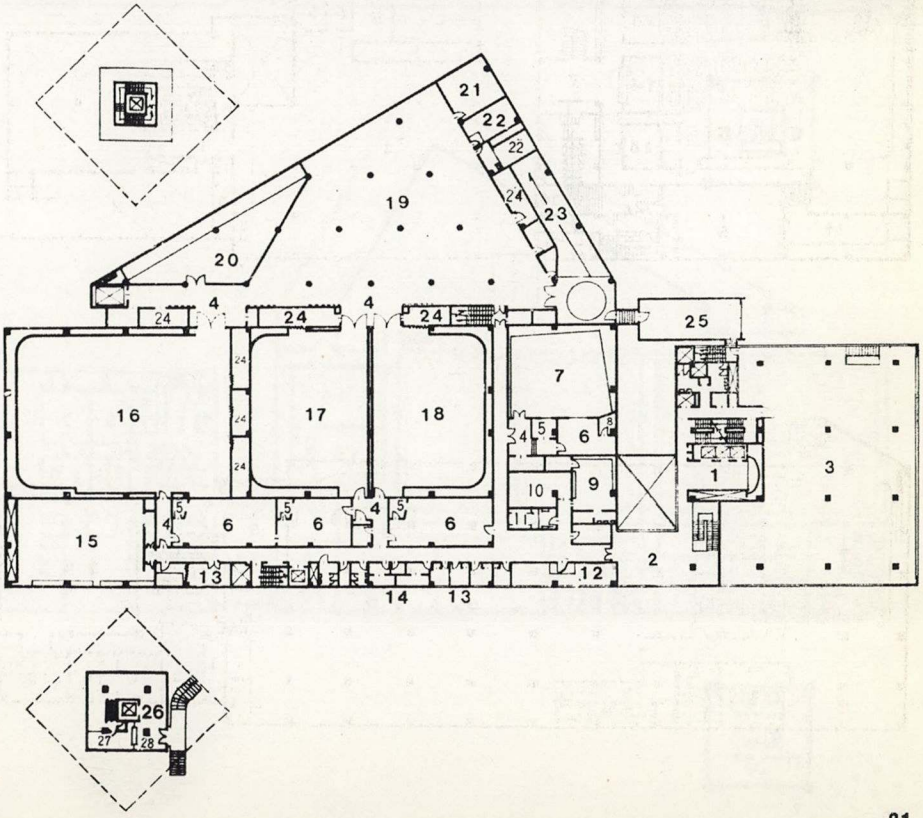
3階

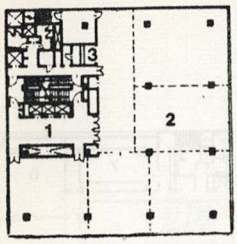
1 エレベーターホール
2 事務室
3 テープ編集室
4 写植室
5 現像室
6 B. G. M. 作業室
7 リハーサル室
8 控　室
9 電灯安定器室
10 前　室
11 副調整室
12 ラジオ2スタジオ
13 ラジオ3スタジオ
14 ラジオ4スタジオ
15 ラジオ5スタジオ
16 S. E 作業室
17 録音室
18 エコー室
19 鉄板エコー室
20 蓄電池室
21 C. V. C. F室
22 電力制御監視室
23 電気室
24 空調機械室
25 倉　庫



2階

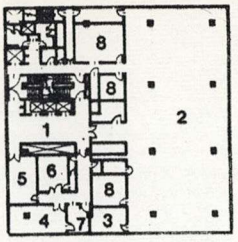
1 エレベーターホール
2 ラウンジ
3 貸　室
4 前　室
5 アナウンスブース
6 副調整室
7 ラジオ1スタジオ
8 プロジェクター
9 メーキャップ室
10 衣裳庫
11 床　山
12 更衣室
13 控　室
14 浴　室
15 リハーサル室
16 テレビAスタジオ
17 テレビBスタジオ
18 テレビCスタジオ
19 大道具室
20 小道具室
21 特殊効果室
22 道具員室
23 スロープ
24 倉　庫
25 発電機室
26 エレベーターホール
27 事務室
28 切符売場





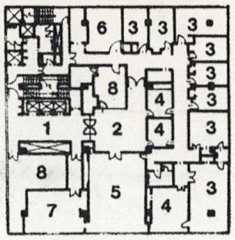
7階

1エレベーターホール
2展示室
3コーヒースタンド



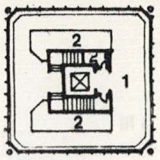
8階

1エレベーターホール
2事務室
3タイプ会計機室
4診療室
5歯科
6レントゲン
7薬　局
8倉　庫

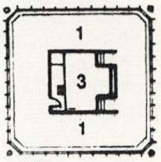


9階

1エレベーターホール
2ロビー
3役員室
4応接室
5大会議室
6小会議室
7会議室
8事務室



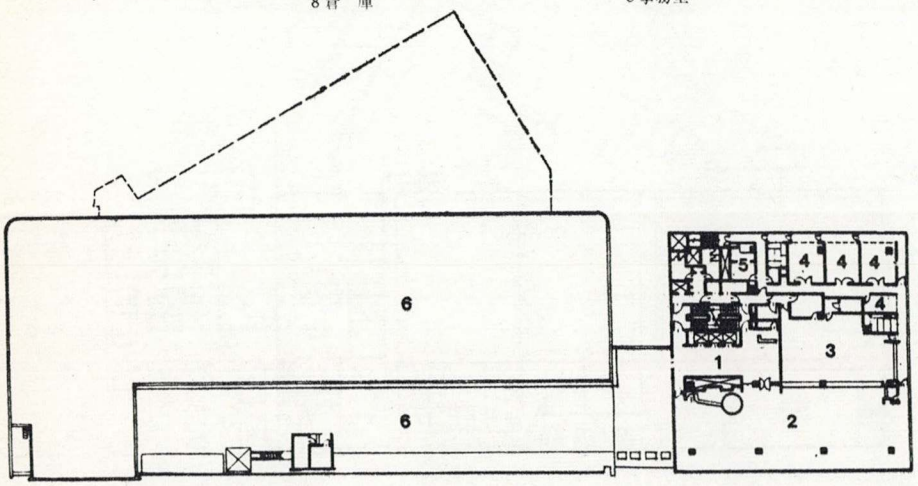
1階



2階

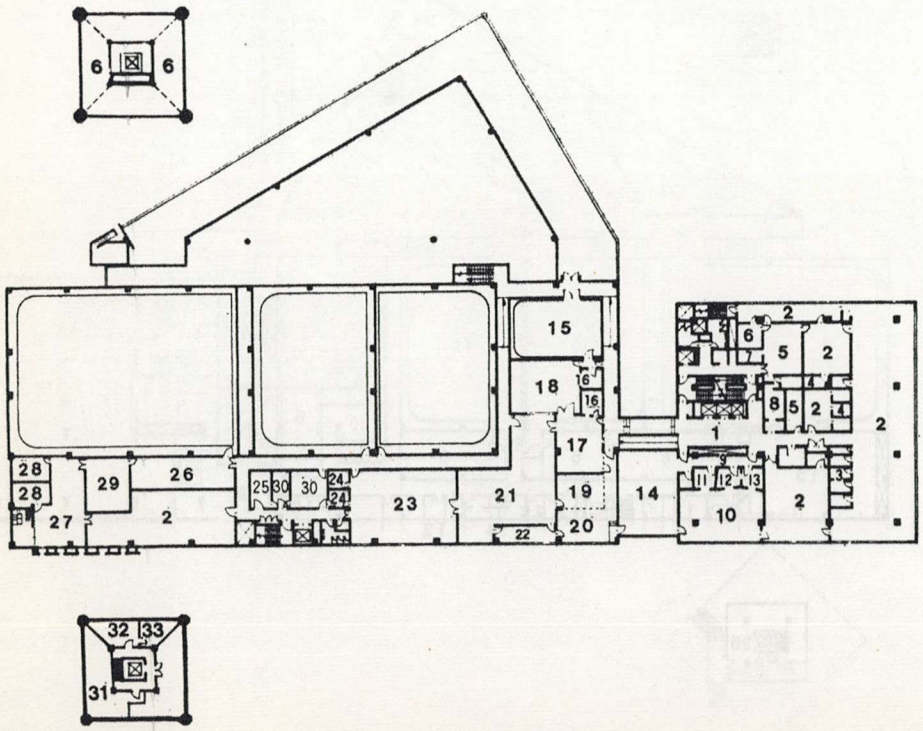
大阪タワー展望室

1展望室
2無線機械室
3エレベーター機械室



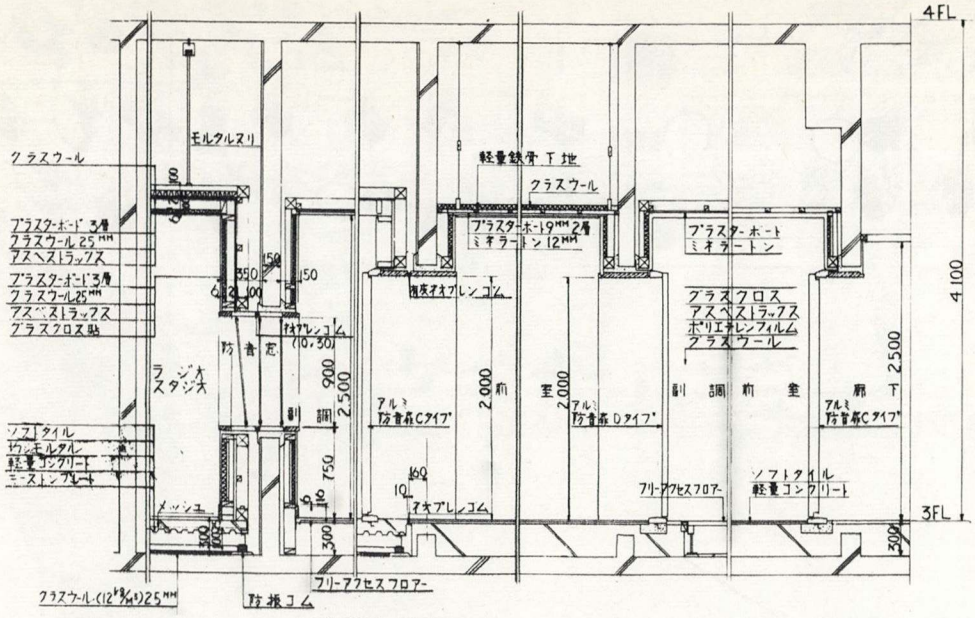
6階

1エレベーターホール
2食堂
3厨房
4寝室
5浴室
6屋上

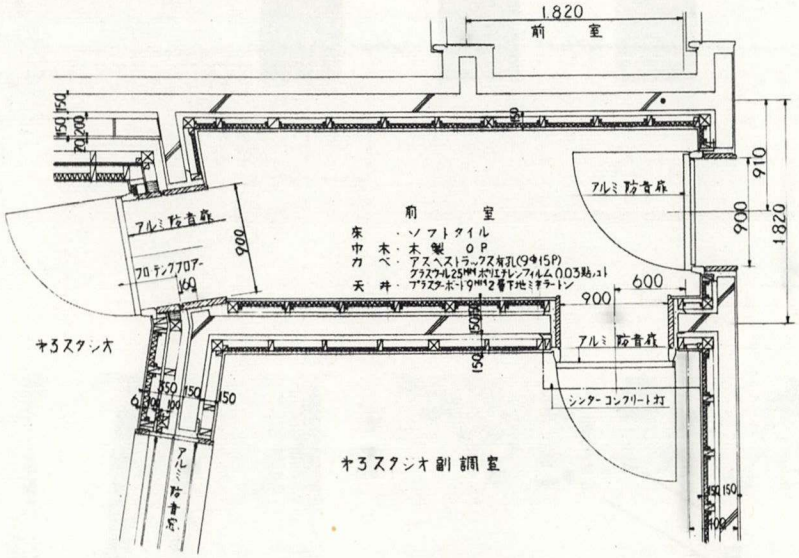


5階

1エレベーターホール
2事務室
3編集室
4試写室
5現像室
6薬調
7センシトメーター
8プリンター
9前室
10調整室
11FMスタジオ
12ラジオ6スタジオ
13ラジオ7スタジオ
14無線制御室中継室
15テレビDスタジオ
16アナウンスブース
17Eサブ
18Fサブ
19マスター
20ラック室
21プロジェクター
22整備室
23VTR
24プレビュー
25キネレコ室
26調光器室
27受電室
28特高変圧
29ファン室
30倉庫
31無線機械室
32変電室
33ポンプ室



オ2スタジオ副調室

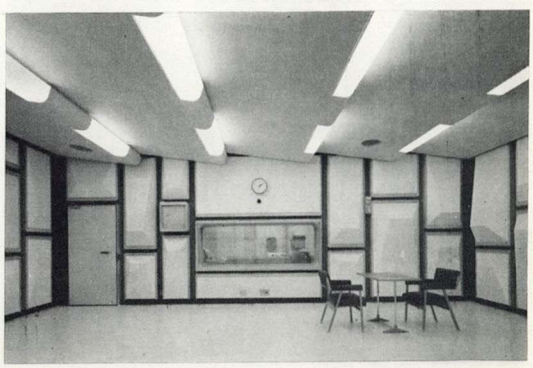


ラジオスタジオ 詳細図

テレビスタジオ
Aスタジオ　709m²　　Bスタジオ　370m²
Cスタジオ　384m²　　Dスタジオ　111m²
一般仕様
床：浮構造、軽量コンクリート打、デックス・オ・テックス塗仕上
壁：グラスウール入、難燃処理ヘシアンクロス貼、金網押え 天井：木毛セメント板打込、グリッド付　建具：スチール防音扉(窓ナシ)

ラジオスタジオ
1スタジオ　180m²　2スタジオ　74m²　3スタジオ　27m²
4スタジオ　26m²　5スタジオ　36m²
一般仕様
床：浮構造、軽量コンクリート打、ビニル系タイル貼　壁・天井：浮構造、プラスタボード遮音層、グラスウール入、アスベストラックス板有孔無孔、グラスクロス貼　建具：アルミ防音扉、アルミ防音窓

その他のスタジオ
AMスタジオ2室、FMスタジオ1室、各附属アナブース8室、エコールーム2室。



3階ラジオ2スタジオ

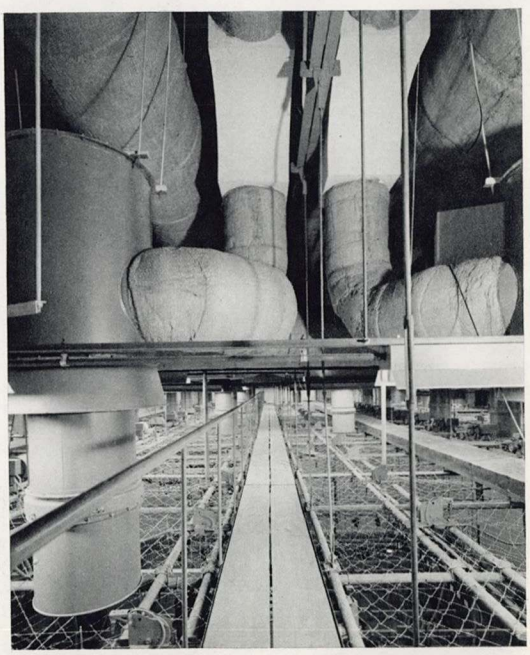
2階テレビAスタジオ

4階テレビDスタジオ

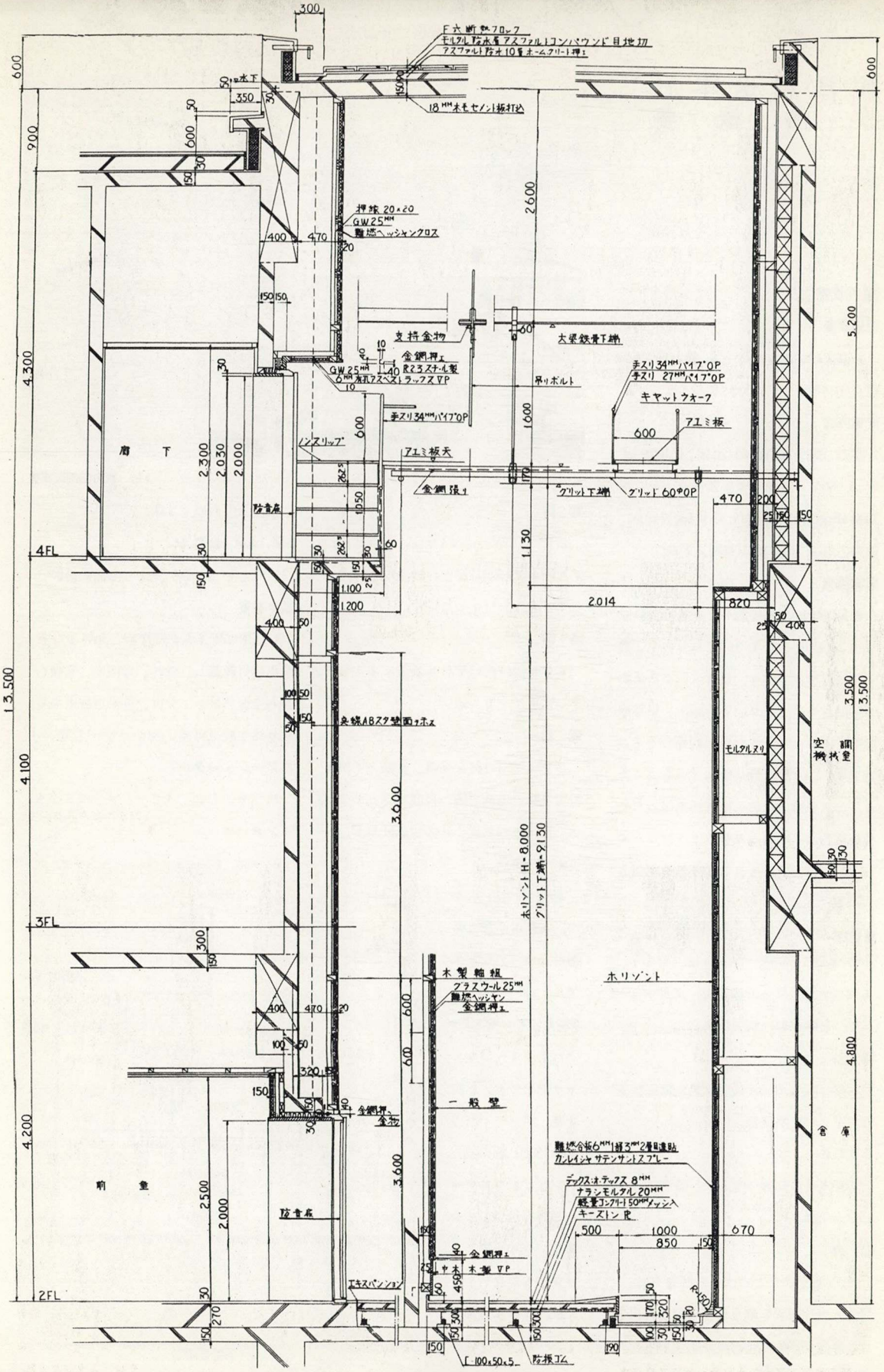




4階Fサブ　窓の向うはテレビDスタジオ

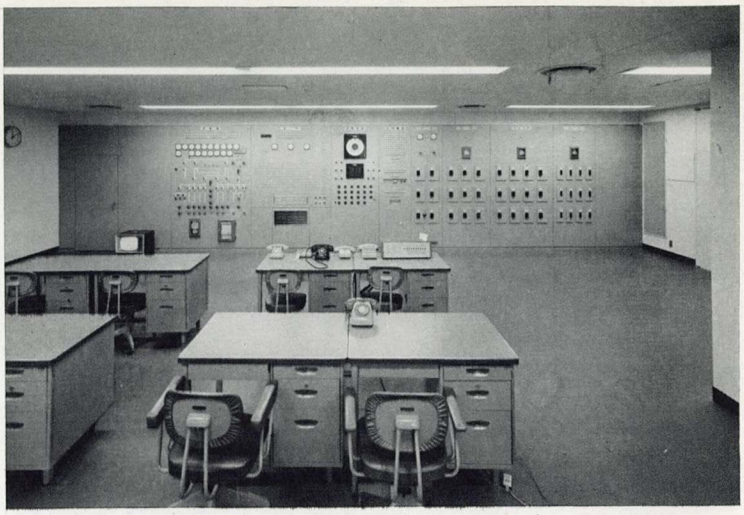


テレビスタジオ上部



TVスタジオ標準短計図

朝日放送本社設備概要



3階　電力制御監視室

電気設備

設備容量

特高変圧器2000KVA 2基、動力2000KVA 電灯500KVA、放送800KVA

配電方式

電灯、動力3φ4W460/265V、冷凍機3φ3W 3,300V、スタジオ照明、コンセント白熱灯3φ4W183/105V、CV1φ2W105V、雑動力210V、DC100V種別2系統

変電設備

特高2000KVA変圧器を3次巻線型にし2次 3,300V、3次 460Vのものを2台並列に使用している。これらによる長所は開閉器や高圧トランスの減少、発電機運転時の対トランス利用、幹線サイズの減少等による経済性になっている点である。なお事故時に放送用電源確保のため放送電源は4段に乗り替るようになっているが、その回路も3巻変圧器を採用している。

発電機

600KW、865HP、720r.p.m、力率1、クーリングタワー冷却方式、ダミーロード付、自動起動、同期切換。

電　池

3組　計 1,600AH　自動定電圧装置付、シリコン整流器。

CVCF

50KVA SCR無停電方式、D型キューピクル4面。

動　力

440V電動機を2線式集中制御方式、スキャナー装置に依り異常運転を検出表示し事前に事故防止をはかっている。

電　灯

蛍光灯110W(265V)を主に、白熱灯100Vを合わせ4500灯蛍光灯は全て2線式リモコン操作を行なっている。

時　計

SCR無停電CVCF装置によるモーター式並デジタル式。

電　話

クロスバー自動交換機、省略ダイヤル料金登算、地域制御、夜間転送、不在転送、秘書中継装置、1000回線M.D.F。

エレベーター

客用ギャーレス3台、人荷用2台、荷物用1台、ターンテブル1台

テレビエアーモニター

11素子オールウエーブアンテナ、2段2基、アンテナ出力端子(55db)数130個。

テレビビルモニター

当局専用受像、会議室、ロビー等。

ラジオモニター

屋上ラジオ共同アンテナにて各受信機に供給、出力端子9個。

FM, AM, B.G.M

スピーカー個数93ヶにて全館放送。

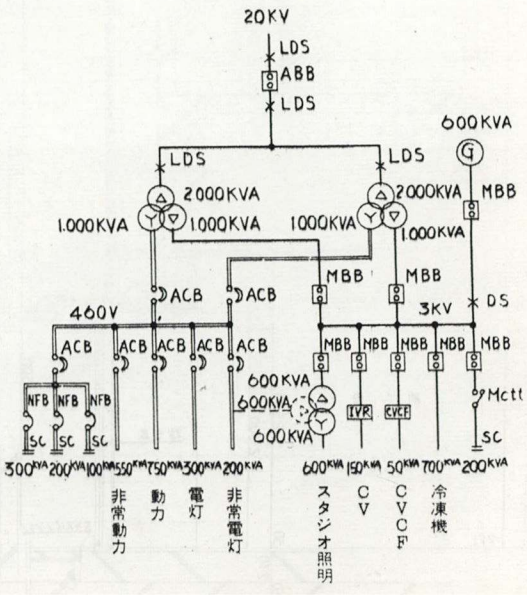
拡声装置

A.M.P60W 1台を守衛室、30W 1台を駐車場に設置し、受付、守衛室、交換台から全館系統へ、受付、駐車事務室から、駐車場へ放送可能、スピーカー117個。

エアーシューター

吸気搬送方式、ステーションは8箇所

インターホーン



送電系統図

親子同時通話プッシュボタン式。親機は10局または20局。

出退表示

卓上操作盤18窓1台、壁掛表示盤18窓7台。

ガレージ管制

可視光線方式、タイマーおよび遮断復帰型。

火災報知機

受信盤P型1級84回線、MM装置組込1台、副受信盤1台、火災時ファン停止指令装置内臓。

その他

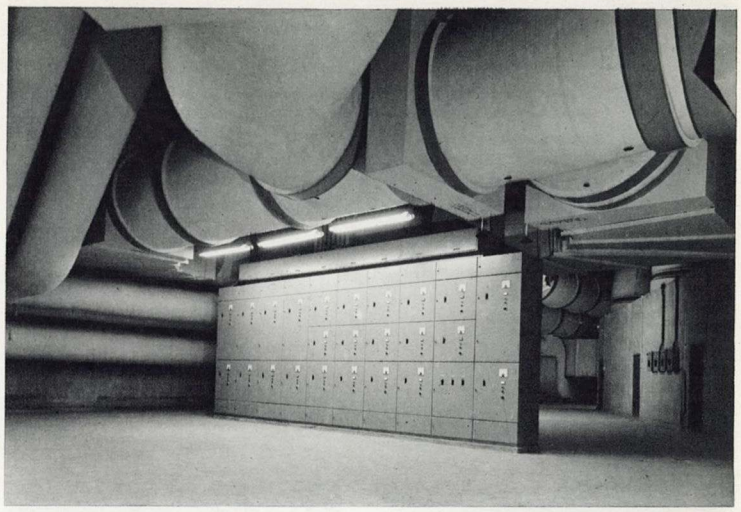
避雷針、放送用接地、鉄塔パラボラアンテナ工事、放送用配管、放送照明配管

空気調和設備

空気調和方式

スタジオ棟、事務棟と大別し各々をさらに9系統15系統に分けスタジオ棟は低速ダクト、事務棟は高速ダクトにて給気してゾーニング方式にて空気調和を行なう。

一部特殊負荷はファンコイルユニット方式にて処理している。



3階　スタジオ関係空調機械室

換気工事

ガレージ、各階便所、湯沸室、厨房、浴室、倉庫の給排気設備および舞台およびホールには排煙設備を有する。

衛生設備

給排水衛生設備

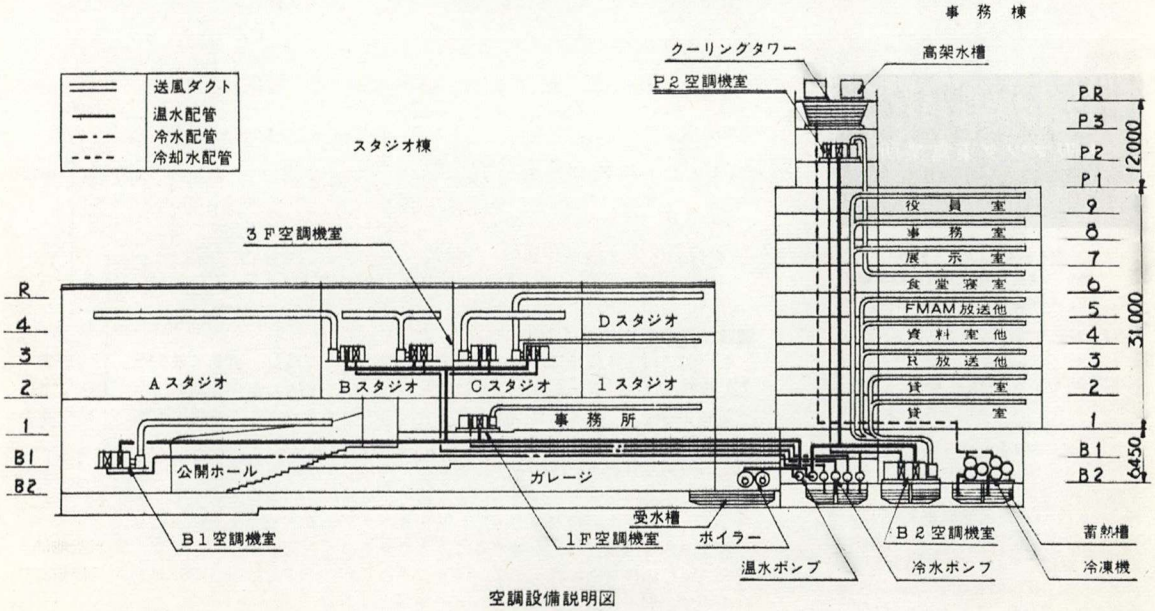
飲料水および雑用水とも上水を用い溶量240m³の地下受水槽および屋上水槽(木製) 40m³よりそれぞれ重力式給水している。給湯設備は各要所に湯沸器を設置し給湯する。

消火設備

屋内消火栓および消防隊専用栓を各階に設置、また連結送水口を1階外壁に設置してある。地下ガレージには泡沫消火設備、受変電所は炭酸ガス消火設備。舞台テレビスタジオ、大道具室はスプリンクラー設備を有する。

飲料用冷水設備

各階にウォータークーラを設置。



空調設備説明図



大阪マツダ東営業所

設　計　株式会社　大阪建築事務所
施　工　大成建設株式会社大阪支店

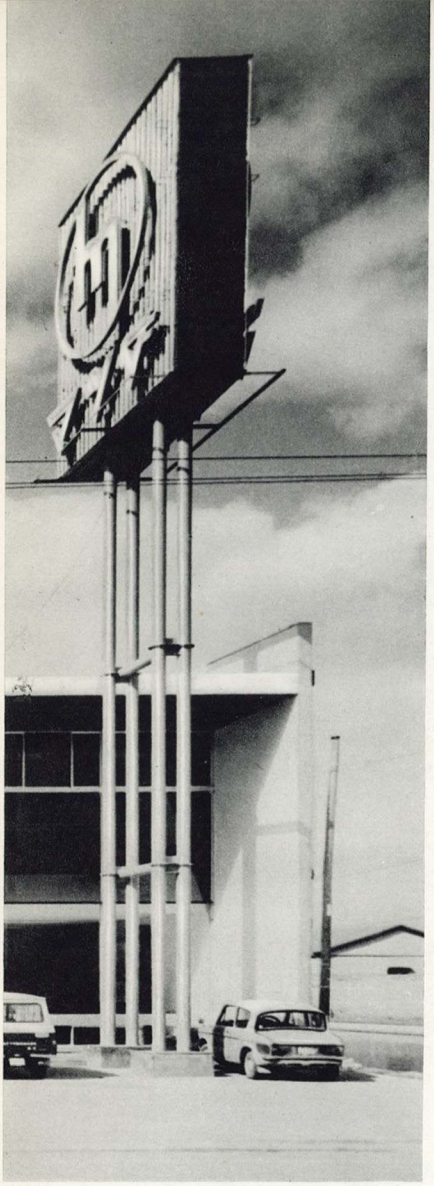
建築位置　布施市荒本５６の１
建築面積　１，９３８．５m²
延床面積　３，５１４．２m²
構造規模　角鋼管使用による鉄骨造２階建
工　期　昭和40年７月１日　着工
　　昭和40年12月末日　竣工
主要部分仕上
外　壁　47二丁磁器窯変タイル貼
軒　裏　石綿板サングレード吹付
展示場・商談ロビー／床：現場テラゾー研出し　壁：47二丁磁気窯業変タイル貼
天井：ベニヤ下地、サングレート吹付

■設計者のことば

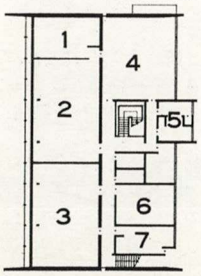
中央環状線と外環状線の中程で大阪平岡線に面した所に、自動車販売ならびに整備工場を設けるには、立地条件としては申し分ない所である。平面計画について道路に面し事務棟２階建、１階展示場商談ロビー、２階事務室その他。整備棟２階建、１階整備工場、２階車庫および中古車展示場に。

この建物は自動車の販売を主眼とするために、１階に展示場ならびに商談ロビーを配置し、この部分をショールームとして扱い、道路よりの視界を遮ぎることのないよう、サッシュに関しても横桟をなくし、強化ガラスによるスチフナを使用した。

四季を通して直射日光を遮ぎることのできるよう、庇の出を深くした。前面空地は、将来道路拡張のために後退しているが、そのために一時的にしろパーキングに使用しているので、展示効果が半減しているのが残念である。

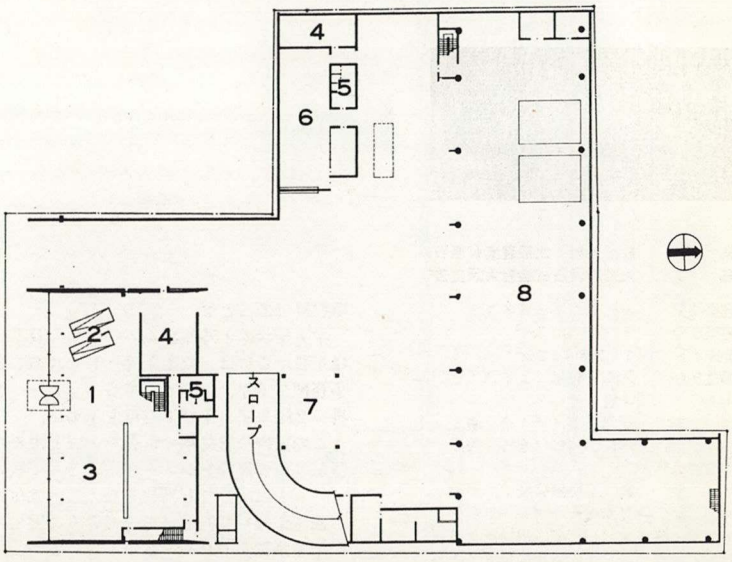






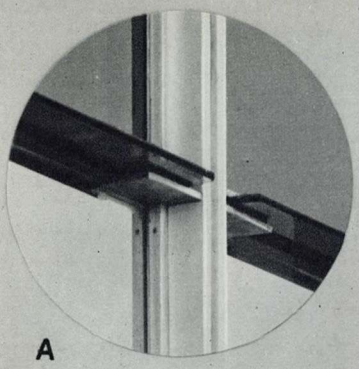
2 階

1 応接室
2 事務室
3 食 堂
4 会議室
5 便 所
6 予備室
7 宿直室



1階 1.玄関 2.展示場 3.商談ロビー 4.部品庫 5.便所 6.サービス課 7.洗車場 8.整備工場

大阪マツダ東営業所詳細図



A

EXPO '70－I－GO－3

特　集

1970年万国博会場計画案

万国博と建築／東畑謙三

1970年万国博の会場計画／西山卯三

■万国博会場計画における技術的諸問題■

／上田篤・三輪泰司・高口恭行ほか

1．会場計画の方法とプロセス
——機能論的アプローチの可能性

2．万国博の機能
万国博とは

3．会場計画の考え方
未来都市のコアについて

4．建築条件の想定
未来の建築　シンボル空間の建築条件想定
・お祭り広場　・人工頭脳　・ゲート　・人工環境

5．地形と土地利用の現況
・敷地造成　・保存樹林　・造園工事　・気象

6．交通計画——アプローチ
・場内交通　・ゲート　・インターチェンジ

7．会場跡地の計画
情報科学都市の提案

万国博と建築

日本建築協会会長　東畑謙三

二十世紀は偉大な進歩の時代であるが，同時に苦悩と混乱を避けることができなかった。私たちはこの世界を完全な平和が支配し，真に人類の尊厳と幸福をたたえるものとして次の世界につたえたい。——万国博のテーマである・人類の進歩と調和・の結びの言葉である。この言葉を具体的に表現する機会をあたえられ，またこれを具現する場所が今回の千里丘陵に実現する万国博である。二十世紀の後半に生をうけた国民の一人としてもハリキラざるを得ないのである。

またこのテーマでもわかるように，万国博は一般産業博のように単に商品の展示や商取引の場であるのとは根本的にちがって，われわれの時代の科学と技術の進歩とその成果を表現して，将来の発展への強い刺激を提供するのであるから，技術者の一人としてもこれまたハリキラざるを得ないのである。

さらに，中に展示する商品は当時の産業製品であるか，でなければ造型芸術品である。いづれもそこに固定したものでない。進歩発展のいしづえにはなるが会期が終れば取りのぞかれるものである。ところが建築はその時代における人類の造った文明の固定した造型として，天日にさらされながら後世にのこる文化の遺産でもある。このことは過去百年にわたって世界各地で開催された万国博の建築が，建築発展史の節点のような役割を果してきたことからみてもよくわかるのである。このように万国博を外からみても建築がその主役をなすものであろう。建築業界はハリキる以上にその責任の重大なのを自覚しなければならない。

テーマを展開して4つのサブテーマに分け，その一つ，主として技術の領域を示したものに——より好ましき生活の設計を——というのがある。いうまでもなく，あらゆる業界で造った製品を利用して，人類の生活をより好ましく設計してゆこうとする企てである。人間の生活に古くからいわれている衣食住がいかにあるべきかという表現である。この衣食住は未開時代より人類の生活の宿命ともいうべき問題で，しかも日進月歩であり，その上展開された他の3つのテーマもすべてこれに密接につながっている。そのうち，特に生活空間，都市構成，地方再開発，住宅問題，いづれもわが業界の良識によって表現しなければならない。

このように万国博の展示表現という内よりみても，建築業界が大きな役割を果さなければならぬ。これからの4年間は建築に職を奉ずるものにとって，全く知の見せばとなるのである。

会場原案作成委員である西山卯三，丹下健三両氏の第2次案が5月下旬提示された。その後予算の関係や，周辺施設の状態等より更に研究され，10月には最終案がまとまるものと想うが，衆知の意向を反映したいという意味をかねて，特にデッサンの時期に本誌に発表していただいた。会員諸君のよいアドバイスを賜れば，両氏もよろこばれることと信じます。

1970年万国博の会場計画

工博・京大教授
1970年万国博基本計画原案作成者　西山卯三

1970年に大阪の千里丘陵330haの土地で，万国博が開催されるときまったのは，昨年秋のことである。現在，次々と準備が進められているが，建築界にとってみのがせぬ大きな問題は，その会場の建設であろう。

博覧会という催しものは，明治以来すでにたびたびおこなわれている。大正9年の平和博のときは，若い分離派建築会の人々の参加によって，建築の新らしい時代のレイ明をつげるような斬新な建築がたくさんつくられた。戦争で中止になった1940年，紀元2600年の万国博では日本館の懸賞競技が行われたりした。臨時建築物ということで，かなり自由なデザインができるところから，「博覧会建築」というのはイカガワしい建築の代名詞になっているようなこともあるが，あらゆる領域のデザインの発展にとって，それは大きな意味をもつ行事だといえよう。まして今次の万国博は，直接投資1200億，会場内建築総延坪75万m²，関連技資を入れると2兆に近いといわれる尨大な数字からいって，この仕事をこなすという面だけから考えても，大変な仕事だといえる。

しかし万国博を，建設業界にとって一大事というそういう見方だけで，在来行なわれてきたいわゆる「博覧会」の大規模なものが4年さきにおこなわれるのだとだけ簡単に考えてしまっては，大変なあやまりである。一体そのような莫大な金，国民の税金をたくさんつかって，そんな行事をする意味がどこにあるのか。単に景気回復のテコになる，あるいは近畿圏の地盤沈下に対処する地域開発のチャンスだといったことだけでは説明しきれない大事業である。すでにやることがきまってから，その可否を論ずることは手おくれの感があるが，これは納税者たる国民として充分考えてみるべき重大な問題である。万国博への莫大な投資の効果は，直接の外客誘致や外貨獲得のほかに新らしい産業・技術の開発・経済と社会の発展への大きな刺戟として充分意義のあるものといわれているが，果してそのような効果を国民にもたらすものかどうか，――これはこれからの当事者や国民のこれに対するとりくみ方の適否いかんにかかっていることはみのがせない。

ところで万国博というものは19世紀の中葉にはじめられて以来，産業・文化の国際的な祭典といわれてきた。それは資本主義の勃興期には科学・技術・産業・文化の進歩を世界のあまねく地方からあつまってくる人々に展示し，世界的な産業・経済の発展に大きな推進機としての役割を果してきた。しかし第2次世界戦争後は社会の発展変質とともに少しくその趣きをかえ，時代の人類社会が当面しているいろいろな問題を「テーマ」にとりあげ，それを中心に世界の国々が行事を展示し，たくさんの人々が集まって見物し，楽しみ，語りあう交歓の祭典である――というふうにその性格をかえてきている。今回の70年の万国博が「東洋ではじめて」といわれるのも，単に世界的な後進地域である東洋で，あるいはその中でとにもかくにも西洋化した日本でという意味ではなく，人類文化の発展が当面している問題の一つに東洋と西洋，西と東，南と北との問題があるということにかかわっているのであり，そのテーマが「人類の進歩と調和」にきめられたということも，現代文明の示している「進歩」がいちじるしく矛盾・不調和に苦しんでいることを認め，一面的な進歩の謳歌でなく，文明の多元的な存在の確認の上にたって前進の方向をみつけたいという発想を根底にしているとされ，その故に，現時点の問題をとらまえた適切なテー

マの設定といわれているのである。このテーマを70年の万国博という行事に最大限に反映させ，人類文明の発展に大きな寄与をなしうるか否かが，この万博の成否をきめる重要なカギといえよう。

ところでこのテーマは展示出品物や行事の演技に充分反映表現されるべきであるが，同時に「会場」自体もまたテーマを表現する重要な展示物である。会場計画の基本方針としてわれわれが，会場を「未来都市のコアのモデル」であるとしたのも，実はそういう点にある。つまり文明の進歩は今後ますます人間の生活空間を都市化していく方向にあるが，それは同時に公害・災害・マヒ・不調和・生活環境の悪化といった事象をひきおこしつつある。これに対して人間らしい調和の生活を創造・確保する方向を，この半年間に3,000万という多数の人々が集まってくる故に都市のコアともいうべきこの会場で具体的につくりあげてみること，——これがとりもなおさずテーマの「進歩と調和」の大展示となるであろう，ということである。

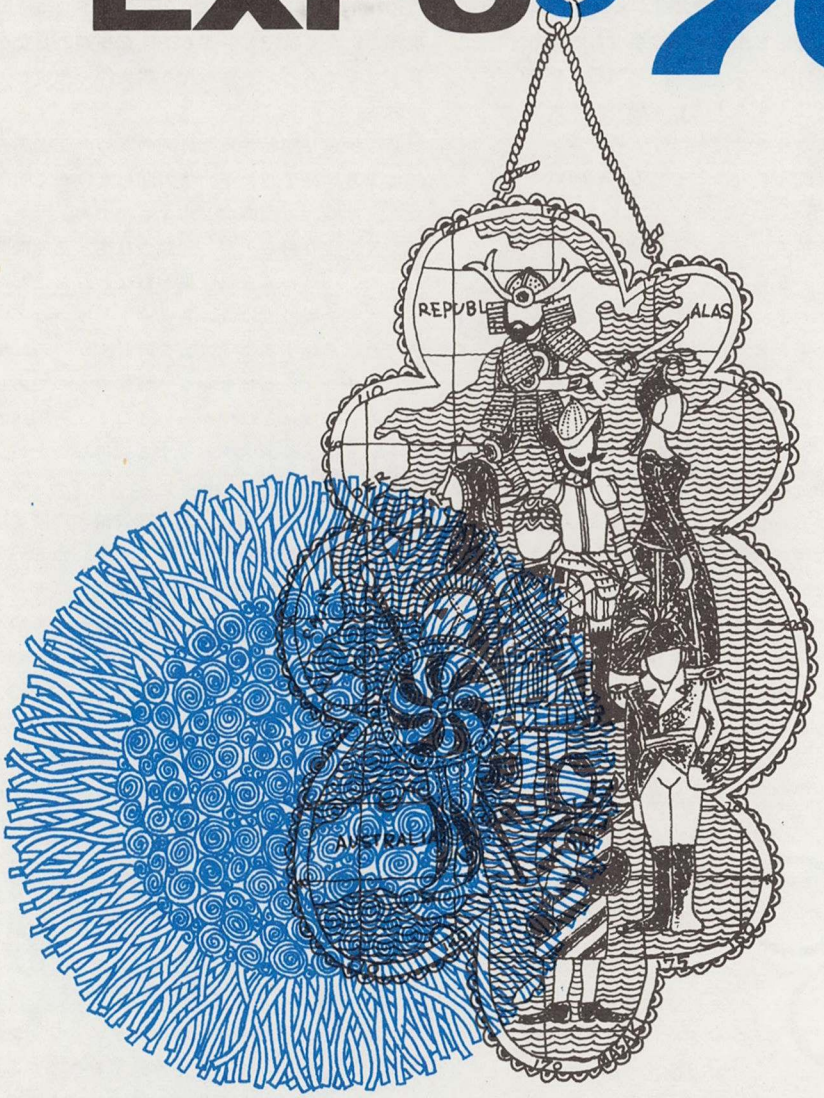
こうした基本方針にもとづいて，会場計画を一歩一歩具体化していく作業が現在すすめられ，5月末に基本計画の第2次案がまとめられたのである。その内容を簡単に説明すると，この基本方針を明確に，ヴィジュアルに体験できるように，会場の中に「人間らしい生活のできる環境の回復——人工環境，コア空間での人間的交流の実現——15万人のお祭り広場，科学技術の最先端の利用——人工頭脳，巨大な群集流の処理——メインゲート」……の4つのシンボル空間を造形することとし，これによって構成されるシンボルゾーンを会場の中心において，それをふくめ，それらのまわりに全会場を構成するという骨格である。この計画案にさらに検討を加えて，最終的にはこの10月に基本計画が確定されることになっている。

ところでこの「基本計画」の性格についてであるが，博覧会の開催されるのは4年後で，現在は用地買収が進行しつつある段階である。しかし，道路・上下水道その他の周辺事業の調整・場内の土地造成・交通・供給処理などの基盤施設やパビリオンの建設，造園，出品展示などすべての工程をたててみると，決して余裕のある仕事ではない。そうした仕事をスムーズに効果あるよう進めるには，会場基本計画(マスター・プラン)が何をおいてもすみやかに必要である。それにもとづいて政府や公共団体，協会をはじめ出展参加の外国政府や民間企業をふくめた多くの建設主体による施設や建物の建設がスタートにつくのである。ところがこの「基本計画」は，会場をとりまく様々な周辺の条件や，1970年における諸情勢の変化，各関連建設主体のうごきなどについて現在必ずしも確定できない前提をたくさんもっている。しかもそれらの定まるのをまっていてよいというものではない。そういう諸条件をしかるべく慎重・かつ大胆に予測する一方，できるだけ前向きにその制作作業の中でそれを実際に固めていくといった，いわば「条件確定作業」というべき性格をもった仕事でもある。この点が，一般，普通のマスタープランとかなり異っている点である。

めまぐるしく科学技術が発展し，世界情勢が変転する中での4年後において，なお未来への創造的提案であると同時に，このような作業内容そのものが全く例をみない仕事であるということが，この基本計画策定作業をひどくむつかしいものにしている。われわれ・基本計画原案作成担当者は，こういう作業の過程で，できるだけ多くの人々の創意とアイディアを期待し，また基本計画の第1次・第2次案をそういった人々の援助と参与を刺戟・誘導するさそい水という意味をももたせて提案してきたのである。しかしまだその反応は充分とは感じられない。しかも，時間予定をたててみると，いまでもすでに時間切れで断念せざるを得ないものが大部でてきている。現在打開すべき問題は山積みの状況であるが，建築界の人々がこの仕事の意味をよく理解していただき，積極的な関与の努力をすすめられることを期待する。

—1966. 6. 6—

PLANNING FOR EXPO'70



万国博会場計画における技術的諸問題

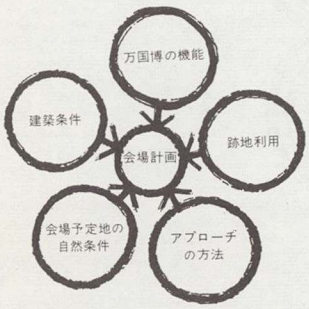
上田篤
三輪泰司
高田恭行
久谷政樹
霜田稔
藤原昭
中村輝子

会場計画の方法とプロセス—
——機能論的アプローチの可能性

1970年に、北大阪、千里丘陵で開催される日本万国博覧会の会場建設にあたって、その基本計画作成の作業が、現在進められている。われわれはこの作業に参加し、まず基本的な方針と会場の骨格を決定するに至ったのであるが、この段階で、会場計画のもつ技術的諸問題を整理し、万国博に限らず、今後ますます進むと思われる大規模な建設での課題をはっきりさせておこうと考える。

万国博会場計画は、計画そのものとしても、いろいろな意味で、複雑な課題をもっている。第1に、この計画が極めて建築設計的性格を持ちながら、実際には都市的なスケールと関連ファクターを有しているため、従来の建築設計、都市計画いずれの手法ともちがった計画技術を開発せねばならぬこと、第2にそれにもかかわらず、計画のための与件、あるいは既定の条件等が極めて曖昧であり、従来なされてきたような条件分析から出発することが無意味であること、さらには、基本計画、基本設計、実施設計と続いてゆく場合の担当者、引継ぎのシステムなどが不明であることとあわせて、計画せねばならぬもののディメンジョン、表現方法等が、問題になってくる。

計画外の前提条件においても、コミュニケーションの発達した現代、において、「万国」ということが、どの程度意味をもちうるのか、あるいは都市計画上のテコと称される施策上の意図が一体どの程度意味をもつのか、……といった問題がいろいろとある。



ともあれ基本計画立案の作業を続けるなかでもっとも問題であるといえるのは、こうした不明確、不確立の要素ばかりのところから一つの意図と形を明確にしてゆくというプロセスが、今後次第に大規模化してゆく都市の国土の建設作業、計画作業と類似したものであり、ここでの雲をつかむような作業、五里霧中の作業の経験が、将来重要な新らしい作業方式となろうと考えられるところからいわば機能論的アプローチとでも称せられる、われわれのとった方法が、どの程度の可能性をもち、更にいかなる点が問題となるかを明確にすることが極めて重要であるということであろう。

ここでとり得た方法、機能論的アプローチというのは、万国博の機能、建築のもつべき条件、敷地の自然条件、交通アプローチの方法、跡地利用という5つの方向から、それぞれ条件を分析するのではなく想定してゆく方法のことである。

1970年という現在としては、条件不明の時期へ向って現在とにかく確定といえる条件を基礎としながら、当然発生するであろうと思われる諸条件を想定してゆくことである。

65年秋より開始された計画のための基礎調査研究は、66年1月に終了したが、この間にとにかく明確な条件、たとえば既設万国博がどんなものであったか、敷地の自然条件、現在ある土木、建設の技術、交通機関、等々といった、いわゆる資料収集が行なわれた。ただこの間にあっても会場計画は既にスタートしていたといえる。

それは前述するように、この計画がいわば機能論的アプローチをとらねばならない性格のものであり、機能論つまり、万国博とは何かということ、万国博の意義は何かということからスタートする以外ないといえるからである。万国博の意義、より進んでサブテーマを何とするか、というあたりの、いわば認識論の段階では、会場計画は基礎調査の段階で既に始まっていたといってよい。

したがって原案作成という作業は、こういった諸認識を深めるための文化論的な議論を継続してゆくことと同時に、その認識および基礎資料を「形」へと翻訳してゆく第1の作業、パターンの検討、形へのいろいろな翻訳型としてのパターンのバリエーション作成から開始された。

地形の把握、土地造成、造園、水処理、等、土地関係、インターチェンジ、パーキング、アプローチ道路、鉄道、駅、場内交通機関、……等交通関係、お祭り広場、大ホール、人工の池、立体フレーム、等イベント型関係……あらゆる認識を形へと転換させてゆくようパターンのバリエーションが考えられた。これらから可能となるバリエーションの組み合わせを検討することにより、いくつかの案の作成が可能となる。

次になされた作業は、このバリエーションの組み合わせによるイメージプランを作成することである。

すなわち考え得るすべての案を一応イメージプランという段階でヴィジュアライズすることである。ここで提示し得る案を検討する手段として、入場者数、車数、方向別来場数、景観、機能の総合的バランス、コストといった点があげられよう。

この検討により妥当とする案は更に絞られ、これに続くフィードバックが、第2次案決定に至るプロセスであった。しかしその間に明確になった技術上の問題、今後解決が求められる問題は決して少なくない。以下、各検討グループ毎にその問題を整理することにする。

第2次案にいたるプロセス

計画条件 / 作業段階	機能及び組織に関するもの	入場者及び場内動線に関するもの	出展及び建築条件に関するもの	自然条件に関するもの	アプローチに関するもの	跡地・その他に関するもの
調査開始 調査報告書の作成・報告	●既設万国博の資料収集・整理 ●既設万国博会場の機能分析 ●既設万国博の組織・運営に関する資料・整理及び分析 ●万国博関連資料の収集・整理 ●万国博の経済効果の予測 ●万国博のイメージに関するヒヤリング ●万国博会場計画の構想に関するヒヤリング ●万国博における地域圏及び国土の整備に関するヒヤリング ●科学技術の将来に関するヒヤリング ●デザインポリシーに関するヒヤリング ●会場計画理念に関する検討	●各種入場者予測資料の検討 ●マス流動観客に対する展示方法の検討 ●入場者密度の検討 ●観客の動線と会場構成パターンの検討	●国際見本市関係資料の収集・整理 ●ドリームランド等のアミューズメント施設の資料収集・整理 ●既設万国博の各種施設の分析	●現地踏査 ●航空写真 ●各種現況図収集・作成 ●ベースマップの作成 ●植物概況調査 ●造園植物需給問題の検討 ●造園設計・施工等の問題点 ●宅地造成に関する技術的諸問題の検討 ●建設資料及び需給問題の検討 ●会場周辺の水事情の検討 ●会場の水需要の推計 ●環境維持及び公害に関する検討	●周辺地域の各種現況図及び計画図の収集・作成 ●ベースマップの作成 ●関連市町の計画及び事業に関するヒヤリング ●関連公益企業体の計画及び事業に関するヒヤリング ●鉄道等、将来計画の検討 ●交通機関別、方向別、交通量の予測	●大阪府及び吹田市の跡地利用構想のヒヤリング ●既設万国博の跡地利用の検討 ●跡地利用に関する各種情報の収集・整理
万国博のイメージ及び基本計画方針に関する検討 「3月案の考え方」報告	●シンボル空間の検討 ●会場計画理念の決定 ●会場基本計画方針の検討	●入場者の想定	●土地利用面積の概定 ●ゾーニングの方向の検討	●竹・アカマツ等の保存の検討 ●人工湖の築造の検討 ●環境保全方法の検討	●インターチェンヂのバリエーションの検討 ●会場入口の検討 ●交通機関の想定	●跡地利用方針の検討
第一次案（イメージプラン）の検討開始	●シンボル空間の内容想定 ●会場基本計画方針の決定	●会場構成ダイヤグラムの検討	●建築与件の想定 ●ゾーニングの検討	●等高面及び縦・横断による地形の分析 ●現況建築可能区域の検討 ●全面造成の検討（同一平面化） ●3分の2造成の検討（3段階平面化） ●給・排水量の想定 ●緑地及びリェクレーション施設の検討 ●人工湖の貯水量の想定	●鉄道路線（国鉄地下鉄・阪急）の引き込み想定 ●周辺道路及びアプローチ道路の整備の想定	●跡地利用の検討
第一次案の報告		●エスキースによる第一次検討(17案) ●エスキースによる第一次検討(8案) ●エスキースによる第三次検討(4案) **＊イメージプラン（土地利用）基本構想**（1/5000）**の決定**（計画方針・中央環状南北道路、インターチェンヂ／シンボル空間等の位置、ゾーニング）				
第二次案（コンポジションプラン）の検討開始	●シンボル空間（ゲート加えて4つ）の内容及び位置決定 ●サブ広場の検討	●場内交通機関の検討 ●場内交通システムの決定 ●メインゲートでの入場者処理方法の決定	●建築施設の種類及び規模の決定	●各種供給処理量の決定 ●汚水・雨水管ルートの決定 ●汚水処理場の位置決定 ●汚水・雨水の流下ルートの決定 ●水の循環・使用方法の決定 ●給水ルートの決定 ●人工湖の位置決定 ●保存樹林地区の決定 ●環境装置の検討 ●造園施設の検討	●会場入口の決定 ●インターチェンヂの決定 ●主要アプローチ道距の決定 ●パーキングの位置決定 ●鉄道(阪急)引き込み位置及び駅の決定 ●周辺道路整備の想定	●第一次案の概算建設費 ●第二次案の建設費の大ワクの配分 ●跡地利用面積の想定
第二次案の報告	**＊パイロットプランによる検討** ●サブ広場の配置決定 ●シンボル空間構成施設の種類及び規模決定 ●場内道路の線形及び巾員の決定 ●ペデストリアンウエイの配置決定 ●場内交通機関のルート決定 ●場内カーポートの配置決定 ●土地利用面積の決定 ●建築施設の配置の想定 ●切土量・盛土量の算定 ●移動土量の算定 ●共同溝及び幹線排水路の配置決定 ●緑地及びリェクレーション施設の配置決定 ●塵埃焼却場の配置決定 ●アプローチ道路の線形及び巾員決定 ●バスターミナルの配置及び規模の決定 ●跡地利用の想定 ●第二次案の建設費の試算 **＊会場計画模型の作成** **＊コンポジションプラン**（1/5000）**の決定**（土地利用計画・アプローチ計画・場内交通計画／供給処理施設計画） **＊跡地利用模型の作成**					

万国博の機能

国際博覧会条約によれば、万国博とは「ある時点における人類進歩の状況を浮き彫りさせることを目的に世界の産業と文化を一堂に集めて展示する催しのことである。開催国は、外交上のルートを通じて諸外国を招請し、参加する国は1または2以上の生産部門における自国の進歩を示すことを目的として展示に参加する。」と定義されている。

万国博そのものについては、既に数多く論じられているので、ここでは特に述べないが、20世紀以降の万国博は、それぞれ選定する「テーマ」を中心として展開されるようになってきている。

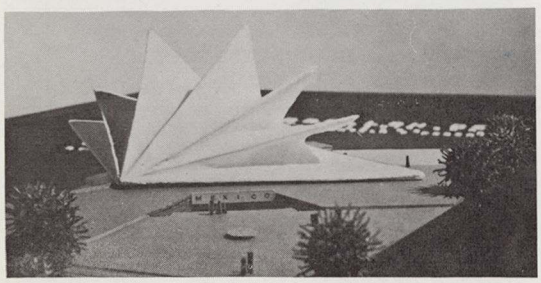
1970年日本万国博のテーマは、「人類の進歩と調和」と決まっている。この格調高いテーマを、いかにして万国博会場に具現するかが重要な課題であり、またこの点が見本市や、通常の博覧会と異なる点である。つまり万国博とは、テーマに従って明日の人類社会の建設の方向を指し示す、世界のお祭りとしての性格をはっきり備えているといえよう。



ブリュッセル博　アトミウム写真



ニューヨーク博　地球儀



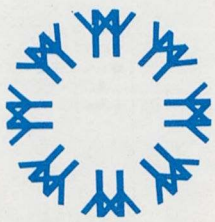
モントリオール博　メキシコ館模型



1958年 ブリュッセル博



1964～65年 ニューヨーク博



1967年 モントリオール博

問題の所在

日本万国博の問題として

Ⅰ） 1970年の社会情勢はどのようになっているか。

Ⅱ）「人類の進歩と調和」というテーマをどのように理解し、展開させるか。

Ⅲ） 会場計画のポイントは何か。

の３つが考えられる。

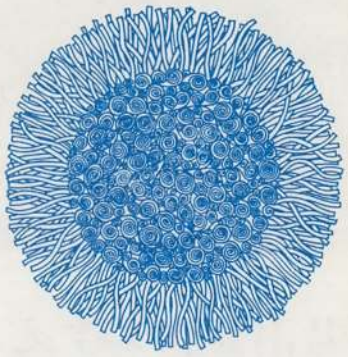
Ⅰ） 1970年という「将来」において、世界で何が起こっているのか、科学技術や、社会情勢はどのように展開されているのか、といったことは、簡単に予測できるものではない。しかし、強いて予測するならば、国際情勢は東西、２つの体制から多元化し、アジア、アフリカ諸国の発展とあいまって、国際バランスの転換期であると共に、日本は、日中問題、アジア、



アフリカ諸国との関係や東西貿易の問題、そして安保条約の改訂問題など、経済、社会、政治のあらゆる分野で転換的に立っていることとなろう。技術革新は世界全般にわたって、1950年代で出尽くしてしまった感があり、今後、技術上の進歩はまったく新しい飛躍的原理的な立場の成立がないかぎり、望み薄である。この科学技術分野での行きづまりは更に大きな社会的転換を必要とし、それゆえ万国博がこの転換期の人類社会に一つの方向を示すことの意味は極めて大きいといえよう。

Ⅱ） テーマの中心思想は次のように理解できる。

科学や文明の進歩にもかかわらず、人類は今なお多くの不調和の上に生きている。科学や技術の適用を誤るならば人類そのものを破滅に導く可能性をも持っているといえよう。この現在においてそれを救うみちは、人類とその築き上げた文明の多様性を信ずること、お互いがその存在を確認しあうことである。



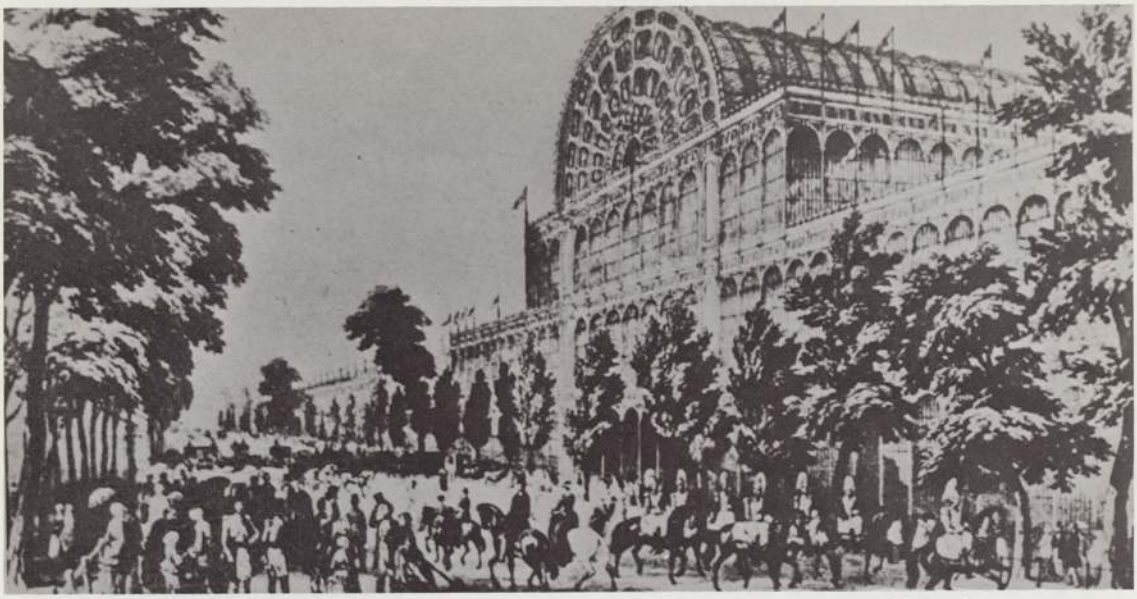
会場計画は、テーマの思想を展開するために、現代におけるいくつかの基本的な矛盾の解決を指し示すようなされなければならない。すなわち、会場計画の基本的方針は次に示す３点に集約される。

第１に、人間と人間との間の矛盾、すなわち、民族や国家としての大組織の中の人間どうしの対立矛盾を解決するために、科学技術展示の場にとどまらず、人類の多様な知恵が有効に交流し、刺激しあえる場として提供されること。

第２に、技術と人間との間の矛盾、人間疎外の現象が進行しつつある中で、新しい人間接触、新しい人間交歓としてのレクリエーションの形と場が創造されるものであること。

第３に、自然と人間との間の矛盾、特に国土の都市化と共に進行しつつある自然破壊、環境悪化に対し、未来の人々の生活に適合し、科学技術に裏打ちされた新しい国土像を打ちたて、合理的でかつ豊かな人々の将来のすまいと都市のモデルとなるように計画されるものであること。

Ⅲ） 会場計画のきめ手として、われわれは、前に述べた５つの機能（「万国博の機能」「建築条件」「会場予定地の自然条件」「アプローチの方法」「跡地利用の問題」）のうち、「万国博の機能」から分析を進めるが、いわゆる博覧会の機能としていえば、万国博はマス流動観客を対象とした大規模な博覧会であり、このマス流動観客をいかに処理するかが、会場計画の大きなポイントである。一口にいえば、「動線建築」と理解した上で計画することが大切である。



ロンドン万国博（1851） クリスタルパレス

会場計画の考え方

会場計画の条件として明確にいえることは、わずかに次の4つの与件だけといえる。すなわち、(1) 1970年に、(2)大阪千里丘陵 100万坪で、(3)万国博というものをやる。そして、(4)そのテーマは「人類の進歩と調和」である。

計画の技術的問題として、こうした計画与件のほとんどない場合いかにして計画を進めるかが、考えられねばならない。まずテーマの具体化という与件を分折じてゆくとすれば、過去の例が示すように、万国博は単なる商品の展示場だけでなく、建築の展示場でもある。過去の万国博において、ガラス、鉄、コンクリート、プレファ



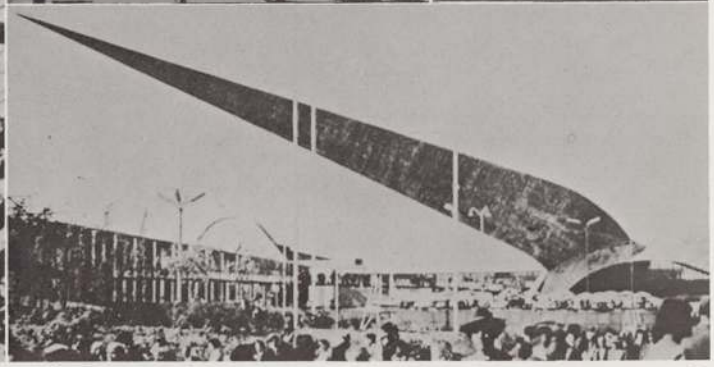
パリ万国博 （1889） エッフェル塔



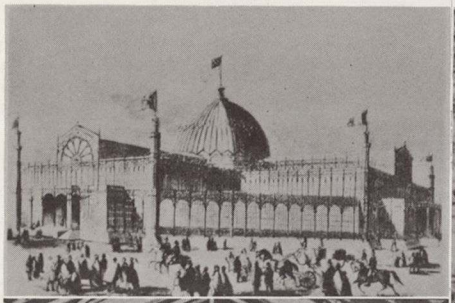
上左 ブリュッセル万国博（1935）



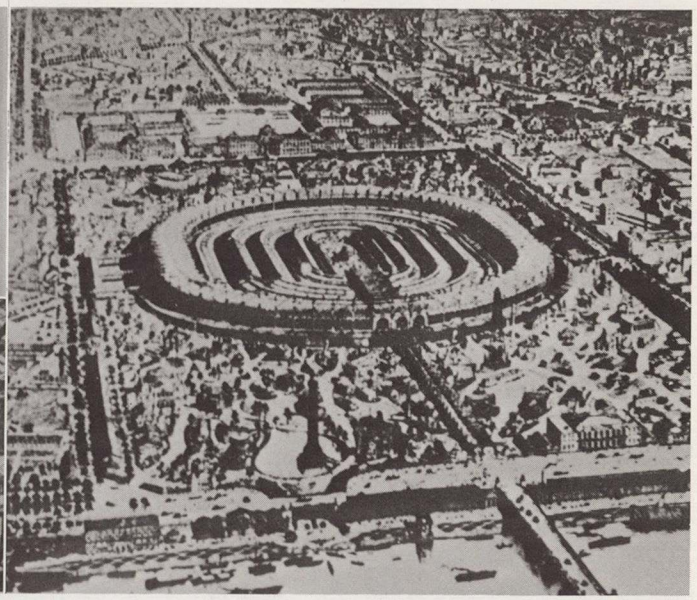
上右 ニューヨーク万国博（1939）



下 ブリュッセル万国博（1958）







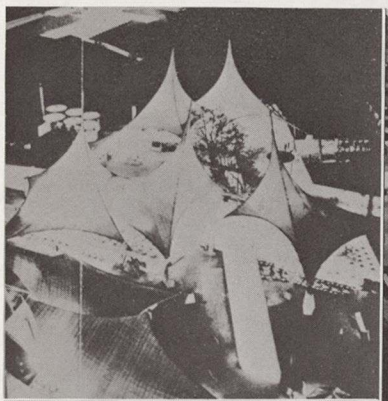
上 ニューヨーク万国博（1853） 下 ロンドン万国博（1862）

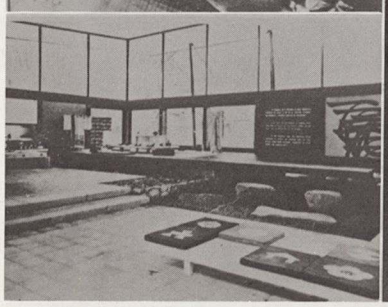
パリ万国博（1867）

ブ等新しい建築材料や構法、デザインが登場している。

それでは1970年の時点において未来を指向する、新しい建築の姿はどのようなものであろうか。何を問題にすべきであろうか。

建築技術の進歩はめざましいものがあるが、それに対して集団としての建築、すなわち、都市を計画し、コントロールする技術が大変に遅れているのではないか。科学技術はすばらしい発達をみせたが、われわれの都市生活は一向に改善されないばかりか、かえって悪化の方向をさえたどっている。われわれが明日の世界で問題にしなければならないのは、個人の建築もさることながら、むしろ、それらの総合としての都市の姿ではなかろうか。







上 スイス万国博（1964） 下 ブリュッセル万国博 日本館（1958）

モントリオール万国博（1967）バビタート'67

とするならば、万国博の各種の施設の容れものとしての会場計画は、単なる容れものとしてだけではなく、それ自身が明日の建築の集団のあり方、未来都市の姿につながる1つの極めて重要な出品物として考えなければならないであろう。

では、そのような未来都市とは何か。それはいろいろな角度から、いろいろな問題意識をもって取り上げることができるが、われわれは万国博会場計画の立場から、次の3つのポイントを未来都市の主要な問題点とした。すなわち、

I） 都市に対して今後なお一層激化するであろう、人もの、情報の集中と、そのアクティビティーの増大をいかにわれわれの生活にプラスするようにコントロールするかということ、一口にいえば、人、もの、情報のマスの処理の問題である。

II） 一方マス社会の中にありながら、人間がそれぞれの主体性をいかに確保するかということ、マス処理しきれぬ個人の主体性の確保の問題。

III） 三番目に少し角度をかえて、都市の成長変化に対応するシステムを発見することの問題。

の3つである。というのは、1日40万人（休日平均値）の人と4～5万台の車が集中すると予想される会場は、まさにマスの処理の適確な方法なくして計画できないからであり、また、全部みるのに16日間もかかるといわれる厖大な展示をすべてみることは、とうてい不可能である以上、人々は主体的に、選択的に行動しなければならない。個人個人の短かい時間の中に本当に見たいものを見せるということを可能とするシステムが、ぜひ追求さ



れなければならないからである。

さらに50～100の国、100以上の国内企業が参加すると予想される国内外諸国体の総合展である万国博では、最後まで参加者の条件の不確定さが予測されるし、会期中においても、日々の来場者数は、恐らく10～100 万人ぐらいの範囲でバラツキが考えられる。このように予想される各種の変化に対して、会場計画は十分フレキシビリティーのあるものでなければならないからである。

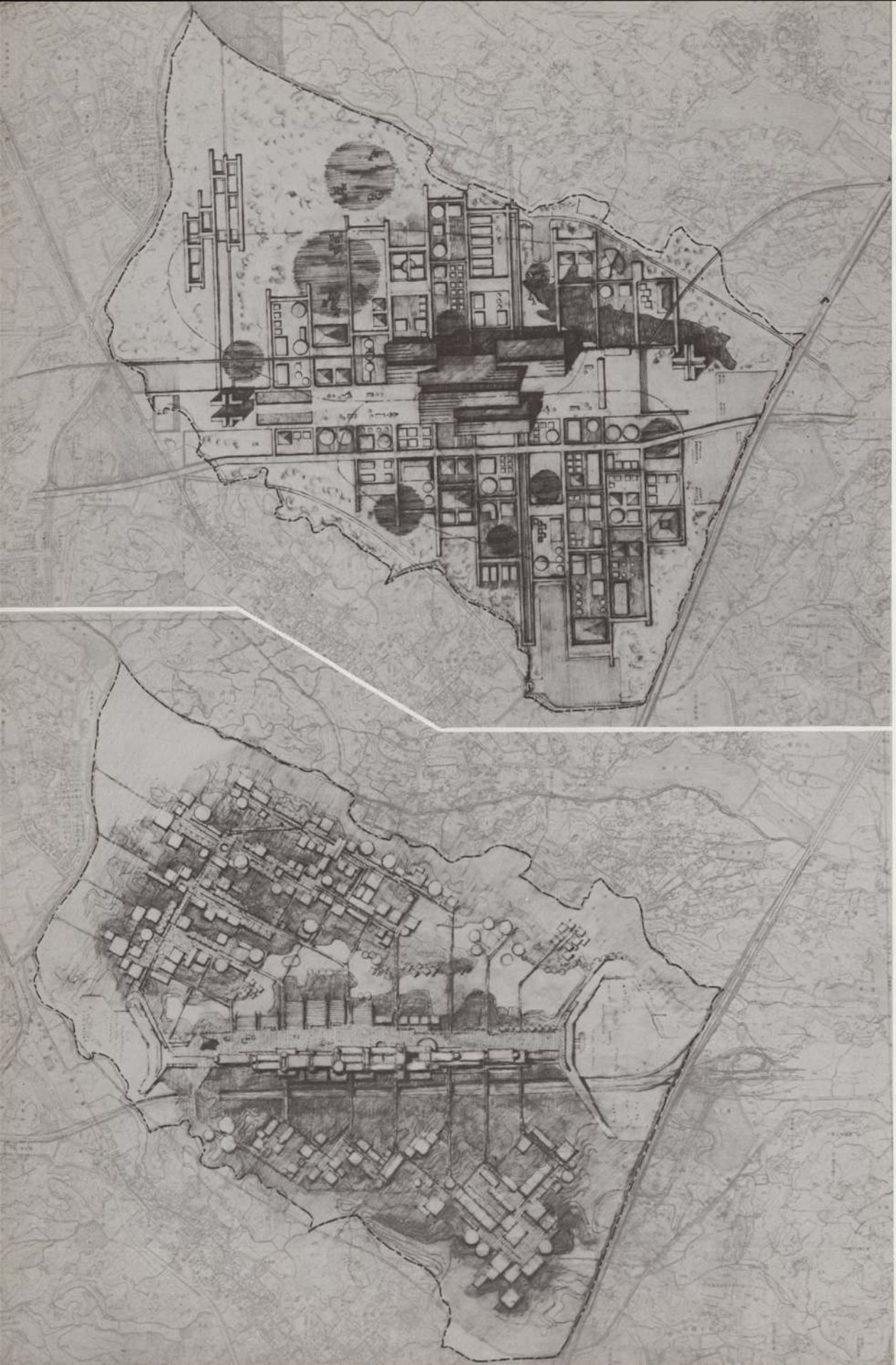
以上の3つのポイントは、会場計画における大きな問題点であると共に、それは即、未来都市につながる問題点でもある。

都市化は人類社会の1つの進歩とみなすことができるし、都市化に伴う問題の処理は調和の思想につながる。都市化を否定することはできないし、またそれに伴う様々の弊害を手をこまぬいてみているわけにもゆかない。明日の都市を、偉大な科学技術の発展を背景としつつ、より人間的なものにすることは、20世紀後半から21世紀にかけての人類社会の最大の課題の1つといえる。

われわれは、このような見地から、会場計画を未来都市の1つのモデルとし、実験場として計画することとしたのである。

とはいっても、この会場計画において未来都市のすべてを描き出すことはできない。それには舞台が狭すぎるし、またそのような条件もない。われわれが取り上げたのは、主として未来都市でも大量の人、もの、情報が交錯するコアの部分である。そしてそれをシンボル空間として会場の中央においたのである。それは同時にテーマの精神のヴィジュアルな展開でもある。







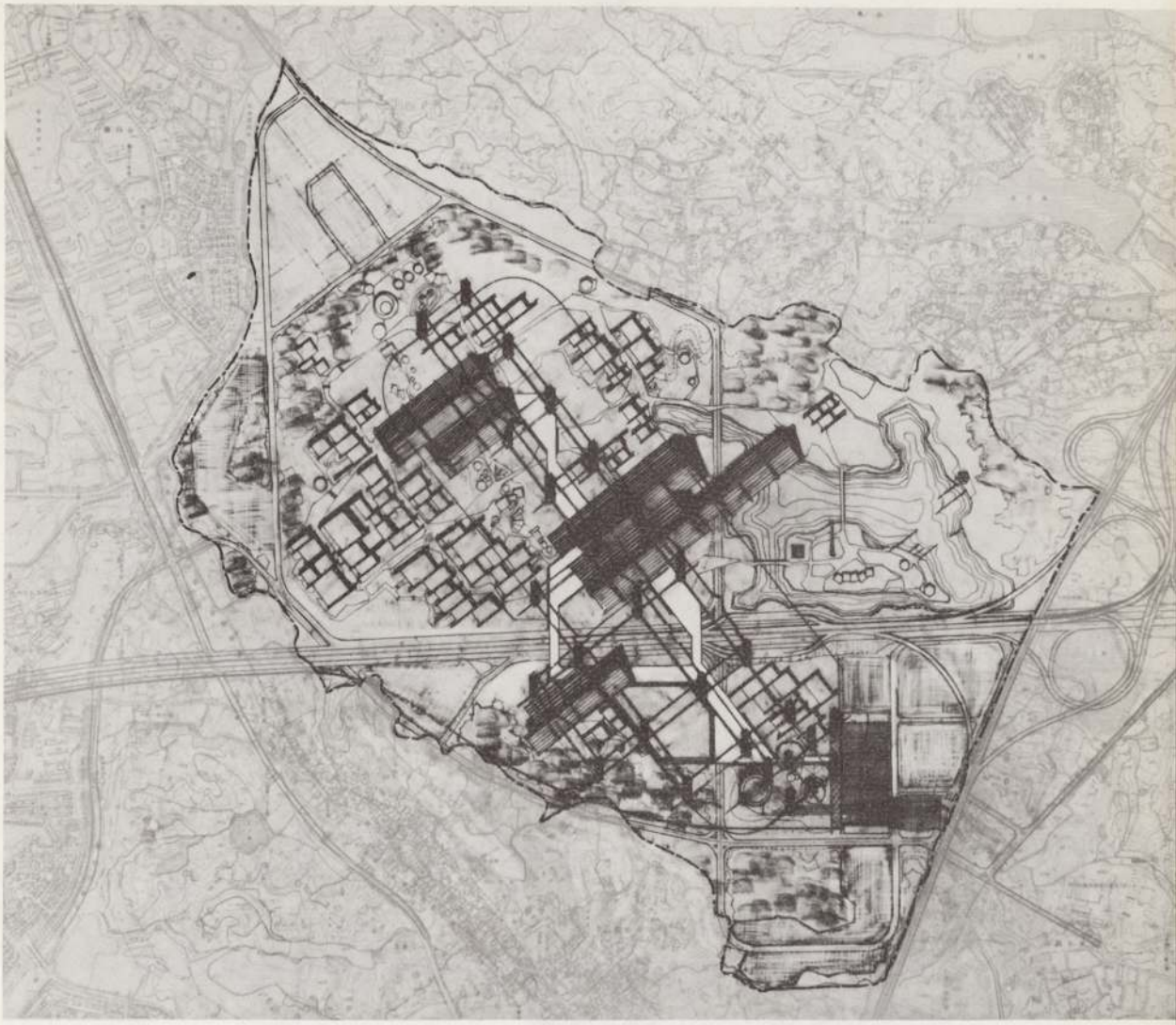




未来都市のコアについて

現在の都市のコア（核）とも考えられるもののイメージは貧弱である。官公庁、ビジネス街、盛り場など、いずれも多くの人、もの、情報が集中し、政治、経済、社会などの中枢ともなるべき部分であるが、それらは無計画に群立し、都市のあるいは人間社会の結合の統一したイメージを湧き起こさせるには程遠い。われわれが会場計画の中において画き出そうとした都市のコアのイメージは、都市の複雑な諸機能をコントロールし、真に人間的な結合を可能ならしめ、かつ生成発展する都市の核ともなるべきものである。すなわち、先に述べた３つのポイントの空間的展開をめざしたものである。

現在、国土における空間の機構は、国土―地方―府県―市町村という行政区分にも示されるように、国土をゾーンによって再分割してゆく地域段階の分方式のような形が一般的である。しかし最近の高速交通機関の発展によって、国土の姿はむしろ都市と交通動線との組み合わせとして考える方が理解しやすくなってきている。そして将来はますますそのような傾向が強まるであろう。その場合は国土全域にネットワークされた交通動線に対して、都市は団子の串ざしのようになるのではなく、果実のように房状（クラスター）にとりつくのが無用な通過交通を防止するなどの理由から望ましい。そしてそのような都市へのアプローチから都市内交通へと移る間に、交通の行動方式は高速から緩速へ、長距離輸送から戸口サービスへ、幹線的な行動から小廻りのきく行動へと変化する。そのような交通機能の変化する部分は、これを集約、一元化して都市の周辺に配置するのが望ましい。流通センターと呼ばれているものも、そのようなひとつの空間である。そのような交通の接続、変換、中継等に関連する各種の産業（組立工業など）をも併せてこれを



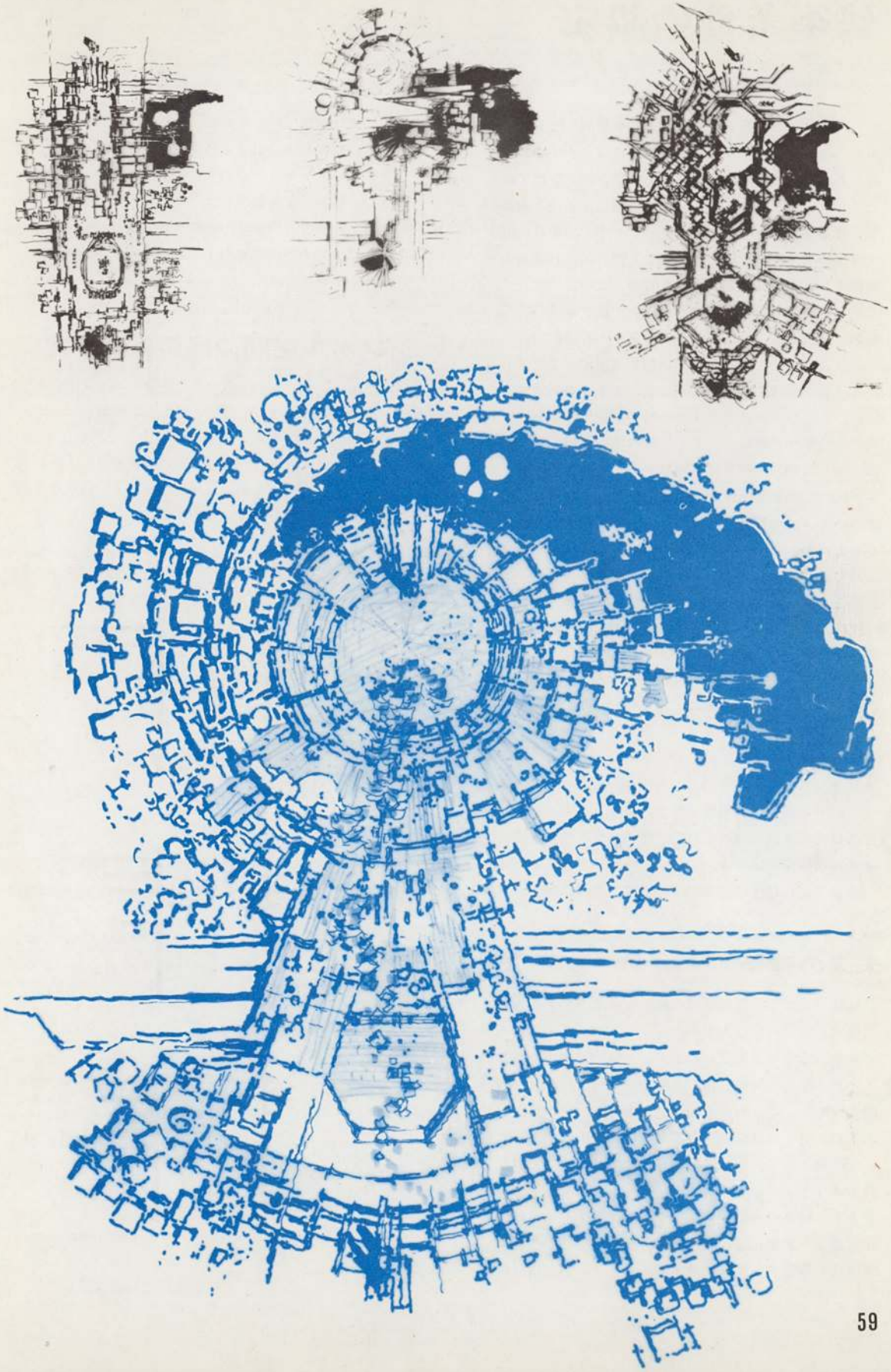
ひとつの流通コンビナートとし、これと相対する方向に一般市街地をおいて両者の機能を分離しつつ、かつ、両者をつなぐ役割をもつものとして都市の核、すなわちコアを考える。それはまた、機能を異にする市街地や田園自然をも相互に結び合わせるものである。未来都市において、一方ではより高度に機能が分化していく反面、これを総合し、コントロールする中枢機能が欠かせない。未来都市のコアをそのようなものとして考える。

万国博会場計画第2次案において、このような流通コンビナートはパーキングに、市街地は各展示ゾーンに変ったが、コアの役割は基本的には変らないものとなる。その機能は15万人のお祭りひろば、メインゲート、人工頭脳、人工環境の4つのシンボル空間に象徴される。これを先の問題にたちかえつてみれば、マスの処理としては、交通さばきにメインゲート、水の循環使用によるエネルギーの節約に動水面などが、人々の主体性の確保としては、15万のお祭りひろばや人工頭脳による精密なコントロールが相応しよう。しかし大きくみればどれにも関係しているということがいえる。また都市の生成変化に対するシステムとしては幹になるものと、枝葉、メインとサブ、計画的な部分と自由な部分というふうに常に両極の対比を示すことが望ましい。コアはその一方の極を示すもので、これによっていろいろな変化に対応することを考える。たとえば通常はメインだけで処理できるが、ピークになった場合にはサブを予備として使うというやり方である。

以上が会場計画における未来都市のコアの考え方である。会場計画、特にその中でのシンボル空間計画においては、このような未来都市のコアのモデルとなるように考え計画したわけである。



お祭り広場のイメージ



建築条件の想定

万国博は建築の配置そのものが、展示品・出展思想である。しかし前述するように建築条件は全く不明確なものである。この不確定要素の中で建築条件を決めてゆくとすれば、少なくとも、Ⅰ）施設の種類・規模と個数、Ⅱ）建築群構成のシステムとそのデザイン、Ⅲ）建蔽率と容積率基準等を、既設例の建築条件・類似計画・既存施設からある程度設定しなければならない。

第1に既設万国博の土地利用面積、構成面積、施設の種類・規模と量、およびそこから発生した諸問題がある。

これらの分析から厖大な展示館敷地面積が必要であること、自然要素の導入が大きなウエイトを占めること、〈人—もの〉のマス・アクティビティに対処する独自の施設の必要性、建設サービス施設の施設種類などがわかる。また同類計画例えば大阪見本市・東京見本市などから、建設目標値を出すことなどができるが、日本万国博において、土地利用形式あるいは会場の構成理念がいかなるものか、またどのような計画内容を持つべきかは、改めて重要な問題となるので、既設万国博や見本市の分析等とは全く別の立場から計画を進めねばならない。

同種計画として100 万坪程度の都市建設計画から建築条件を設定する見かたはあろうが、これは技術的手法、跡地との関連を考えるのには役立ちうるとしても、会場計画と本質的差異があることはまぬがれがたい。そこでむしろ万国博を構想するという立場から、建築条件を探りだし提案していくことが計画を次ににつめてゆくプロセスとなろう。というのは、1970年の時点において未来を指向する新しい建築像とはどのようなものであろうか、過去に発明された種々の材料、構造、デザインを考えて未来像を探求すること。

そこで、1970年に問題にすべきことを探し出すことである。

未来の建築

前途した如く、万国博の会場は未来都市のモデルとして構成しなければならない。

未来の建築の課題とは、Ⅰ）マス処理の問題、Ⅱ）個人の主体確保の問題、Ⅲ）成長変化に対するシステムの問題であり、これらが万国博で未来都市のモデルとしてあげられ解決されなければならない。未来都市像はこれらを問題として、国土像の構想までさかのぼって描れるであろう。

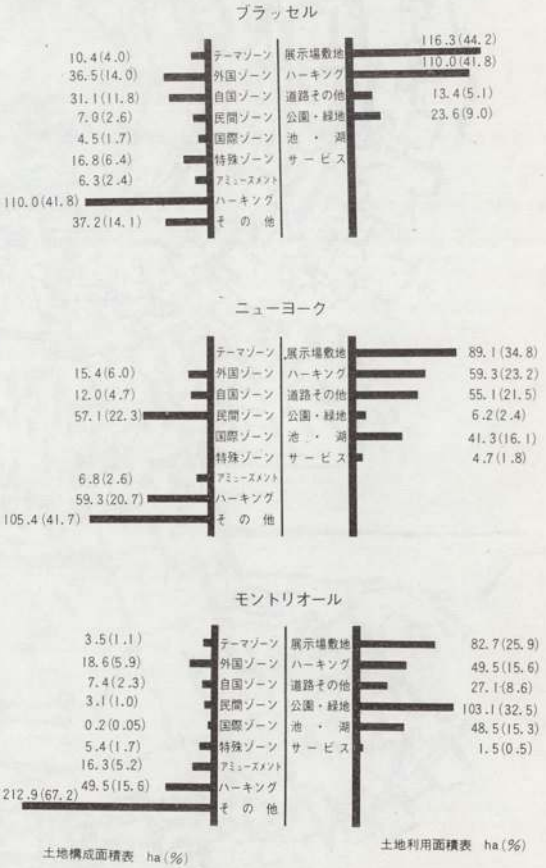
さて、建築の課題を解決する手法として、Ⅰ）の課題に対して、共同化情報処理装置、Ⅱ）に対して個人の主体性を尊重する場内交通ネットワークの空間構成Ⅲ）に対しては参加国数など建設に至るまでの、条件変化・会期中の観客集中に対する処理、跡地への転用などに対して、フレキシビリティのある建築構成が考えられなければならない。未来都市のコアに相当するシンボル空間の建築・建築群の構成に、建設される施設種類を想定する際には、以上の問題に対する解決手法が十分考慮されねばならない。

シンボル空間の建築条件想定

設計方針から、未来都市のコアがシンボル空間でありそのシンボル空間は、お祭り広場・人工頭脳、ゲート・人工環境の4つの要素で構成される。

入場者数等の推計値、既設万国博の分析等から、シンボル空間のひろばと建築物の設計基準がある。これを基盤として個々の建築条件の設定をする。

既設万国博の会場構成



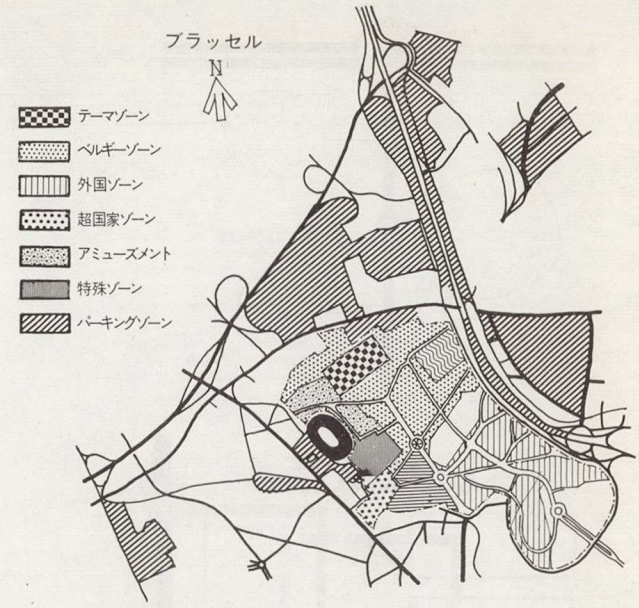
お祭り広場　設計基準として、Ⅰ）15万人のマス集中があり、Ⅱ）観覧席、演技床とホワイエ部分から構成され、Ⅲ）観覧席は10万人の収容能力を有し、Ⅳ）演技床は中央のプラザと人工湖の、水面上に浮かぶステージとし、Ⅴ）そこでは新しい演出をほどこし、多元的行動を促がす意図を有するようにする。他に既設万国博から分析検討した値を使用する。それは展示館の床面積600㎡を基準とし、建弊率40%、1.5階平均として容積率40%とする。つまり建築面積400㎡（基準形20m×20m、）敷地面積1,000㎡（基準形40m×25m）をユニットと考えて設計基準として使用する。

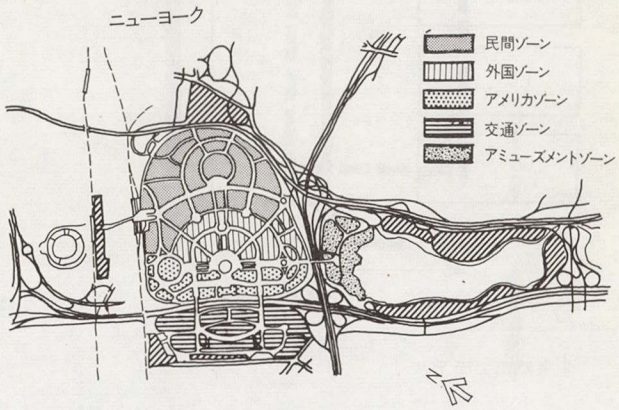
お祭りひろばは、まず観覧席10万人収容ゆえ、1人占有床面積を、0.3㎡とすると延床面積30,000㎡となる。演技床を同様に推定すると、30,000㎡となる。残るホワイエ部分には、集会場、劇場、展示場等を置き、それぞれの延床面積は、休日入場者平均値1日40万人より、都市のセンターに40万人が集中したと考え、過去の都市計画資料を分析して人場者数の設定をし、観覧席と同様に延床面積を設定する。

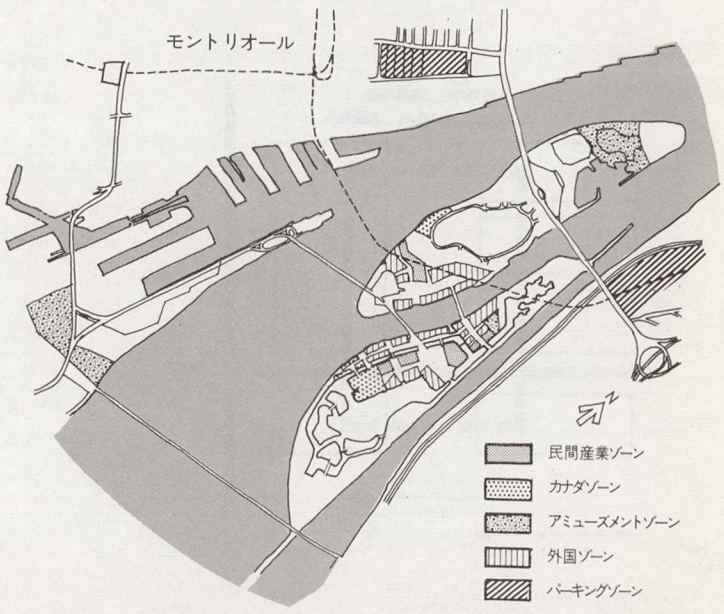
まず第1に、各施設の延床面積を以上のようにして設定する。最後の項で述べた設計基準を計算方針として、延床面積から敷地区画面積を算定する。観覧席敷地区画面積は55,000㎡、劇場敷地は17,000㎡となる。

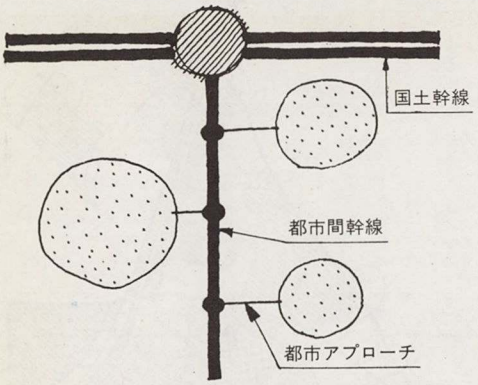
建築面積は、1.5階平均とすると、劇場は6,800㎡となる。跡地との関連から、観覧席は仮設のものとすること、ピロティの視界の造園条件を視界内に入る傾斜地に適度に配置すること等建築条件が設定される。

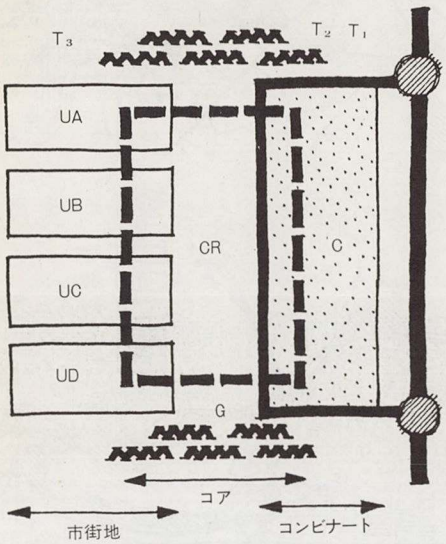
人工頭脳　設計基準として、Ⅰ）含まれる施設として、情報核・管理センター・日本政府館・地方自治体および公共団体館・ひろばであり、Ⅱ）情報処理に関する施設として浮遊道標・レーダー・電話・コンピューターとか、情報サービスセンター等があり、Ⅲ）会場内外の情報伝達・情報収集と情報予測を行ない、Ⅳ）未来の情報料学の実験場とする。情報核に含まれるコンピューターセンター・無人郵便局等の既設施設を発展させた資料分析で、個々の延床面積を計算推定することにより、建築延床面積を求めて、お祭り広場と同様の操作で敷地面積・建築面積を出す。



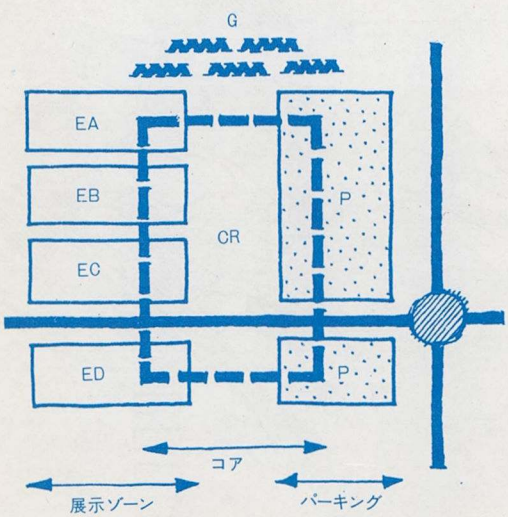








未来都市のモデル



万国博の会場構成モデル

情報核は跡地利用で重要な施設の一つであるので、恒久とする。

ゲート　設計基準として、Ⅰ）入場者は休日ピーク時において９万人に達する。Ⅱ）鉄軌道利用者は５万人、バス利用者は３万人、タクシー利用者３千５百人、その他はパーキングサービスバス利用者である。Ⅲ）メインゲートは中央環状線によって分断され、南北両会場を結ぶ連絡路となり、会場内外の接点をなすことである。９万人/ｈのピーク時入場者数、既設万国博、同種計画の資料分析による場内滞留時間（６時間）鉄道に関しては、列車間隔・乗客許容数等、過去の資料から推定してステーション内滞留者数の想定・プラットホーム規模、駅舎の延床面積が出る。同様にチケットブース、改札口個数が計算される。

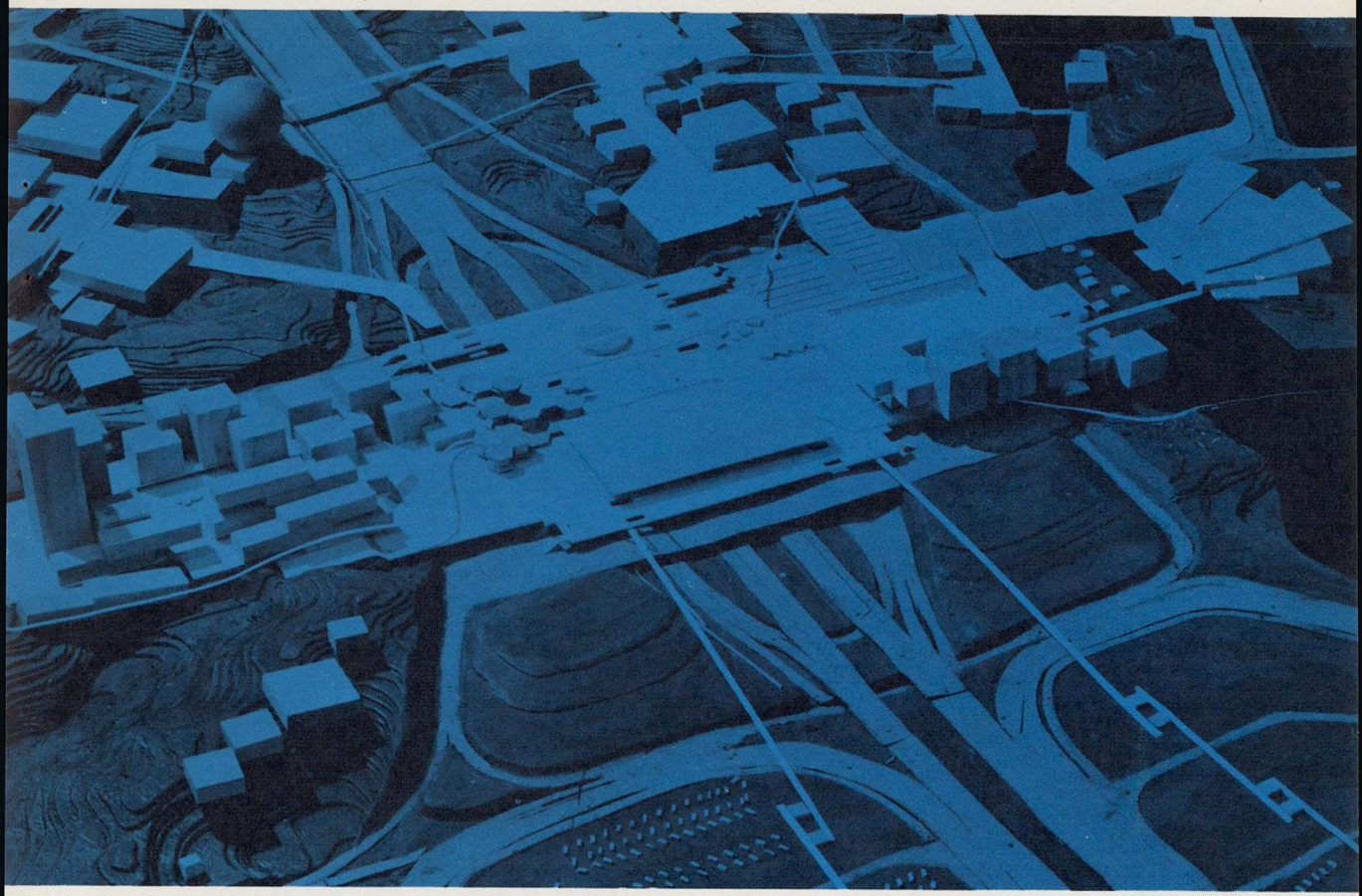
また中央環状との関係で、人工台地構成をとらねばならない。マス誘導をスムーズに形成されることが主要な問題であるから、集中する個所、人と車の動線の交叉を避けることと、地形の高底の利用という観点から人・車・場内輸送施設のレベルの三層構成にする必要がある。である。

人工環境　設計基準として、Ⅰ）主要な環境装置として、循環湖・人工気候（冷噴水・酸素気流等)・環境プラント・人工太陽、Ⅱ）循環湖水は平均80万㎥、Ⅲ）環境プラントは太陽電池、ゴミ焼却発電とする。

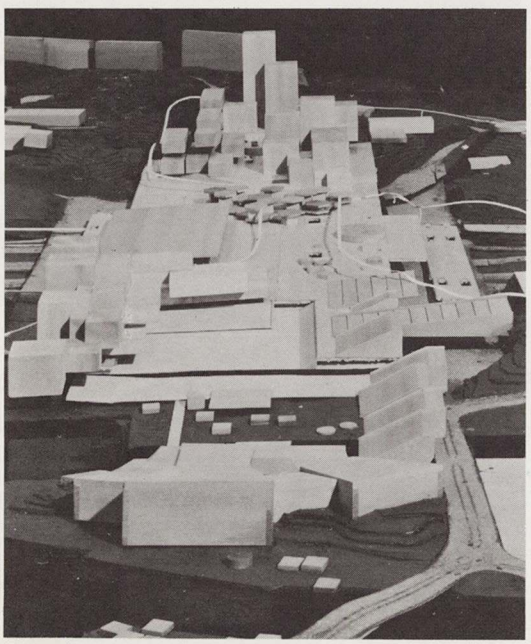
環境プラント以外は主なる建築ではなく、設備的な方面からのチェックとなりパイピングする床の許容厚さを、もたせなければならない。まなターミナル等にても常に積極的に換気が行なえる設備計画、特に目新しいことは屋根のないスペースでの不快環境の調整に対して、周囲の建築群の構成、材料も考えて建築条件の中に含む。

ここまでシンボルゾーン内での建築条件想定の技術的問題を述べた。というのはシンボルゾーンが「万国博とは何か」から未来都市像の提案をするそのコアであったからで、未来の建築を指向する像を提出すべきひろばだから。

今回の万国博会場計画建築条件の想定では、計画前提－設計方針－設計基準－設計条件が一般の設計計画のようにダイレクトに結びつかないで、常に不確定要素の中で建築条件を設定しなければならないという、特異な課題があった。その点を技術的問題としてとりあげることは、将来大規模実施計画がより多くなされるという時期に、建築条件のよりシステマテックな想定計画方法を課題とすることとなろう。



シンボル空間の模型



会場土地利用比計画案

ゾーン名	敷地面積	百分比
シンボルゾーン	33.0ha	9.5%
一般展示ゾーン	113.0	32.6
レクリエーションゾーン	32.0	9.2
従業員宿舎	9.5	2.7
駐車ゾーン	60.5	17.4
その他	99.5	28.6
合計	347.5	100.0

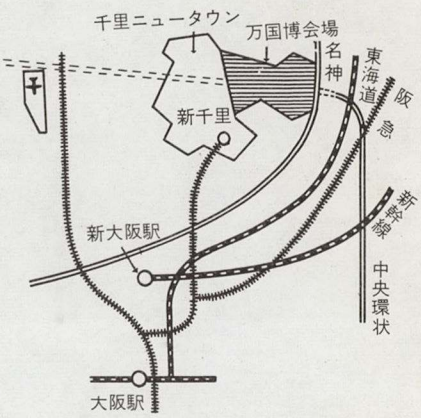
建築物の種類および規模

ゾーン名	建築物の種類	面床積	備考
展示ゾーン	国際団体館	㎡	
	および外国政府館	170,000	70～90館
	日本国民間企業館	180,000	参加企業約 200 30～40館
	外国民間企業館	115,000	約10館
	協会直轄テーマ館	40,800	
シンボルゾーン	メインゲート	113,000	但しひろば 55,000㎡含む
	お祭りひろば	135,600	
	人工頭脳	122,000	但しひろば 24,000㎡含む
各ゾーン	サービス施設	69,600	
管理ゾーン	従業員宿舎	100,000	
その他	倉庫	5,000	
	供給処理施設	20,600	

会場予定地の自然条件と敷地造成



千里会場



千里会場周辺図

地形と土地利用の現況

名神高速道路を大阪へ向って走ると、茨木インターチェンヂから約２分－３㎞附近、左側に小学校の運動場程度の池のある場所に至る。右側は竹林におおわれた、ゆるやかな丘陸地が西の箕面の山々まで続くかに見え、その田舎めいた風趣が点在するコンクリートの近代建築と対照する。この場所、千里ニュータウンに西を接し、名神高速道路と東西を接する330.６ha（170万坪）の地が、1970年日本万国博覧会の会場予定地である。

大阪都心より約15㎞、伊丹飛行場より約10㎞、京都都心より約30㎞、神戸より約35㎞へだたるが、敷地中心より３㎞以内を国道 171号線（巾員 20ｍ）、大阪府道、大阪・高槻・京都線（巾員20ｍ）および阪急京都線、阪急千里山線、国鉄東海道線が通る。

大阪御堂筋の地下鉄は現在新大阪駅でストップしているが、これが将来、敷地西接の千里ニュータウンの中央迄延長される点、阪急千里山線が更に敷地へ近づく形で延長される点を見込むと、大阪都心とはまずまず直結していると見てよい。

敷地面積は公称330.６ha（100万坪）、5000分の１地図上における測定では353.１ha（107万坪）、まず 100万坪の敷地と考えられる。ブラッセルの場合、敷地面積316.８ha（60万坪）、ニューヨーク、260.７ha （79万坪）、モントリオール、316.８ha （96万坪）、等々の事例よりみて妥当な面積であろう。330.６ha（100万坪）、という「ひろさ」を知る手掛りとして、若干の例をあげると、次表の如きものがある。

施　設　名	面　　積
東京多摩動物園	４３．７ha
井ノ頭自然文化園	１１．５ha
千里ニュータウン	１１５０．０ha
枚方市香里団地	１５３．７ha

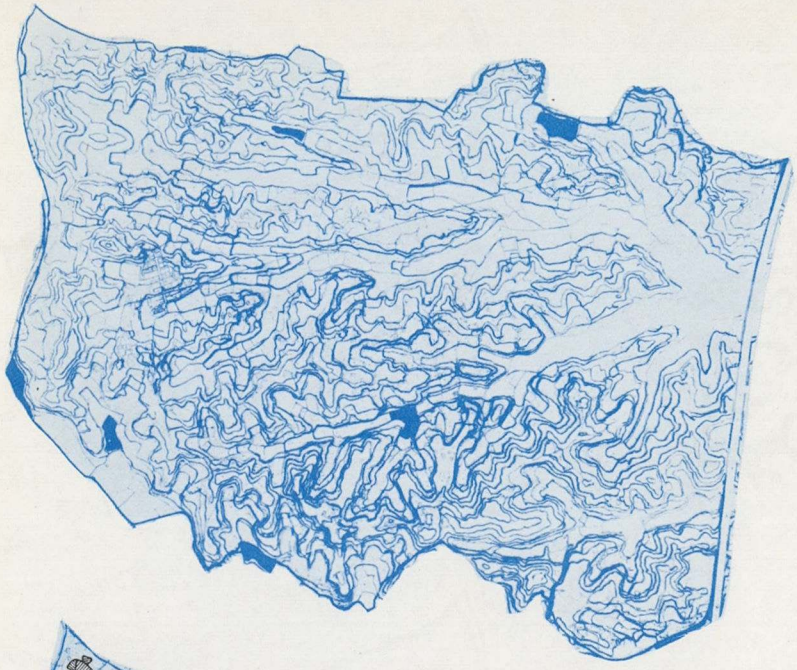
手近な例としては、18ホールのゴルフ場の２～３倍程度とも考えられる。いずれにしろ、長辺（東西－西北）方向約 2.５㎞、短辺（東北－西南）方向約 1.５㎞程度の敷地である。

地形は、敷地内最低位 22ｍ（敷地東端）、最高位79ｍ（敷地北西端）で、57ｍ差があるが、まず大略にみて40ｍの差をもつゆるやかな勾配の丘陵地である。敷地の長手方向に四つの谷が東西に渡り、南北方向の波型の地形であるが、この谷、尾根の波も前述する如くゆるやかなものであって、まずまずゴルフ場程度のものである。

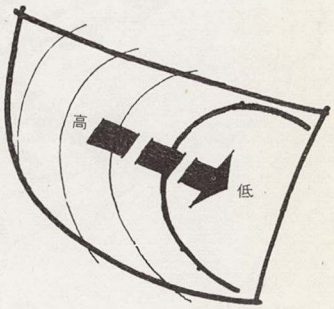
南北の波型は大きくみると、西が高く東に低い傾斜となっており、また別の見方をすれば、西の丘陵地、東の平坦地ともみることができる。

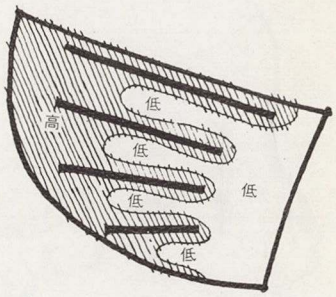
土地利用の点より見れば、丘陵の谷部分は田、尾根部分は竹林を中心とする低い樹木でおおわれており、宅地としては、敷地西南部、吹田市営分譲住宅約80戸があるのみである。すなわち、敷地は竹林、その間を縫う田より構成される。ただし、古くから農業用として造られた溜池が多く、水表面積0.５ha程度のもの４ヶ所をはじめ

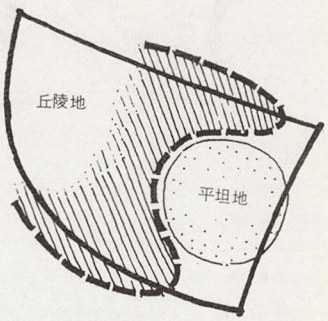
地形図

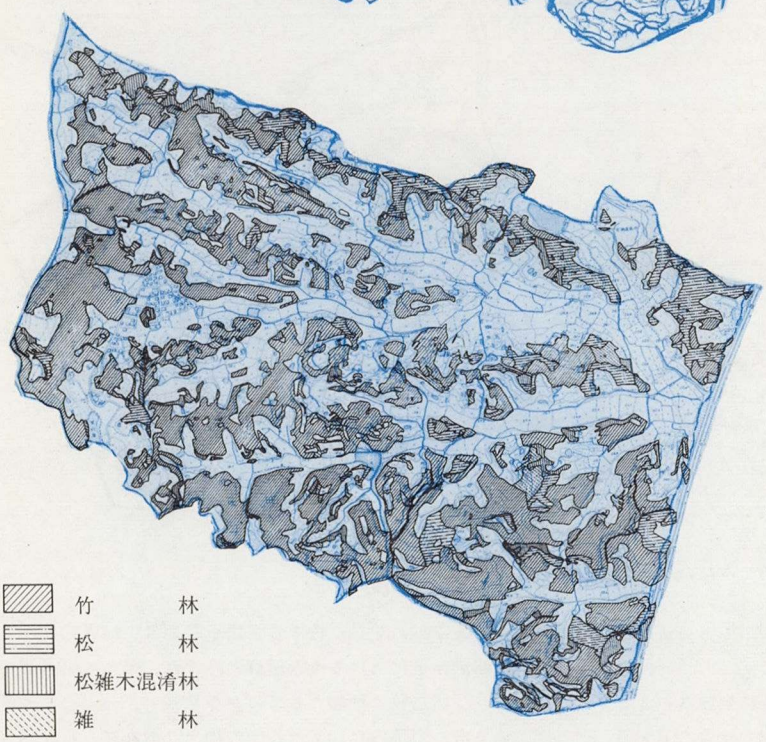


地形パターン









林相現況図

敷地内林相現況

全森林面積	162.3ha	100%
竹　林	120.8ha	74.4%
松　林	25.0ha	15.4%
雑木林	8.6ha	5.3%
松雑混交林	7.9ha	4.9%

敷地内土地利用面積現況

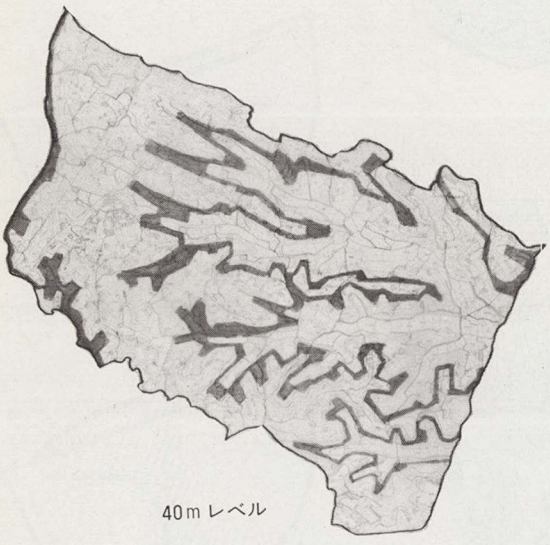
地　目	筆　数	面　積	構成比率
田	1,393	77.67ha	36.6%
畑	403	19.09	9.0
山林	394	22.24	10.5
原野	574	29.73	14.0
池沼	1,068	15.14	7.1
宅地	1,186	48.24	22.8
墓地	1	0.03	0
道	2	0.01	0
その他	9	0.15	0
計	5,030	212.30	100.0

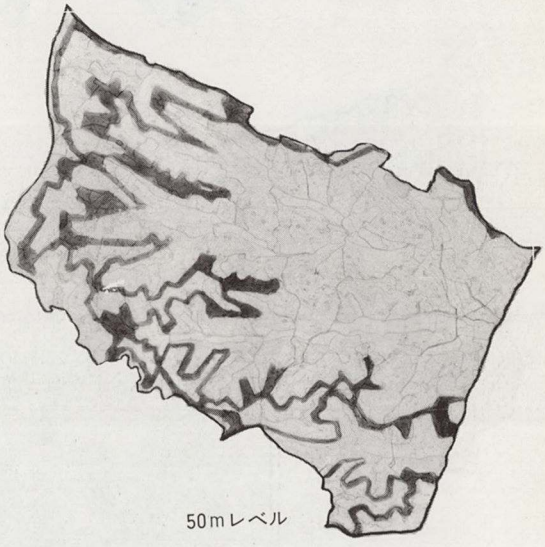
（公簿面積による）

地形等高面現形図









として、大小 600近い数にのぼり、いりくんだ谷に散在して敷地の一つの特色となっている。

林相に関しては、前表の如く、保存の主要な対象となる竹林が全森面積の約74.4%を占めている。

竹林は世界でも東洋のみにみられる特殊景観といえるが、特に、当地区の竹相はすべてモウソウチクで占められ、日本の風土的景観として会場の背景にただよわせることができる。

気象に関しては、会期中（1970年３月～９月）中ばに梅雨をはさみ、会場および周辺にもみられる多数の溜池も影響してかなりの湿度が予想される。また快晴に恵まれることは一年を通して、50～60日程度であり、週１日の割合になることから、雨および、湿気に対する対策も当然考えられねばならない。年間最多風向は北東で、40%、大略この傾向である。

敷地造成

大阪平野の北線に接する会場予定地は、地質的にみて鮮新洪積世における大阪層群と呼ばれ、概して平行層であり、構造物の地盤としてはかなり強い支持力をもっているが、敷地内に10ヵ所程度の地上り層が見られ造成上の注意を要する。現況においてほぼ全域の65%が比較的傾斜のゆるやかな部分で、直ちに建築可能な部分をとっても50%以下とみられる。したがって現状の保存には極力留意しつつも、なお相当規模の造成を行なわないと、用地の確保は困難であると考えられる。

敷地造成工事においては雨水の処理が最も重要な問題であり、工事中のある時期には降雨、凍害等に非常に弱い状態を免れない。したがって、春から夏までの梅雨の時期を除いた期間に土工事の能率を上げる必要がある。



そのためには工期その他の実状に応じ若干の部分に分けて造成施工がなされるべきである。また、周辺緑地の保存計画とあわせて、標高50m以上の部分は現状のまま残すのが良いと思われる。主要な構築物が想定される部分の盛土は5m以内にとめ、切盛土量を均衡させることによって、土砂の搬出入の必要をなくすよう考慮されねばならない。これらは当然、綿密なる工程計画に基づいて、調整され明らかにされてゆくべき性格のものである。

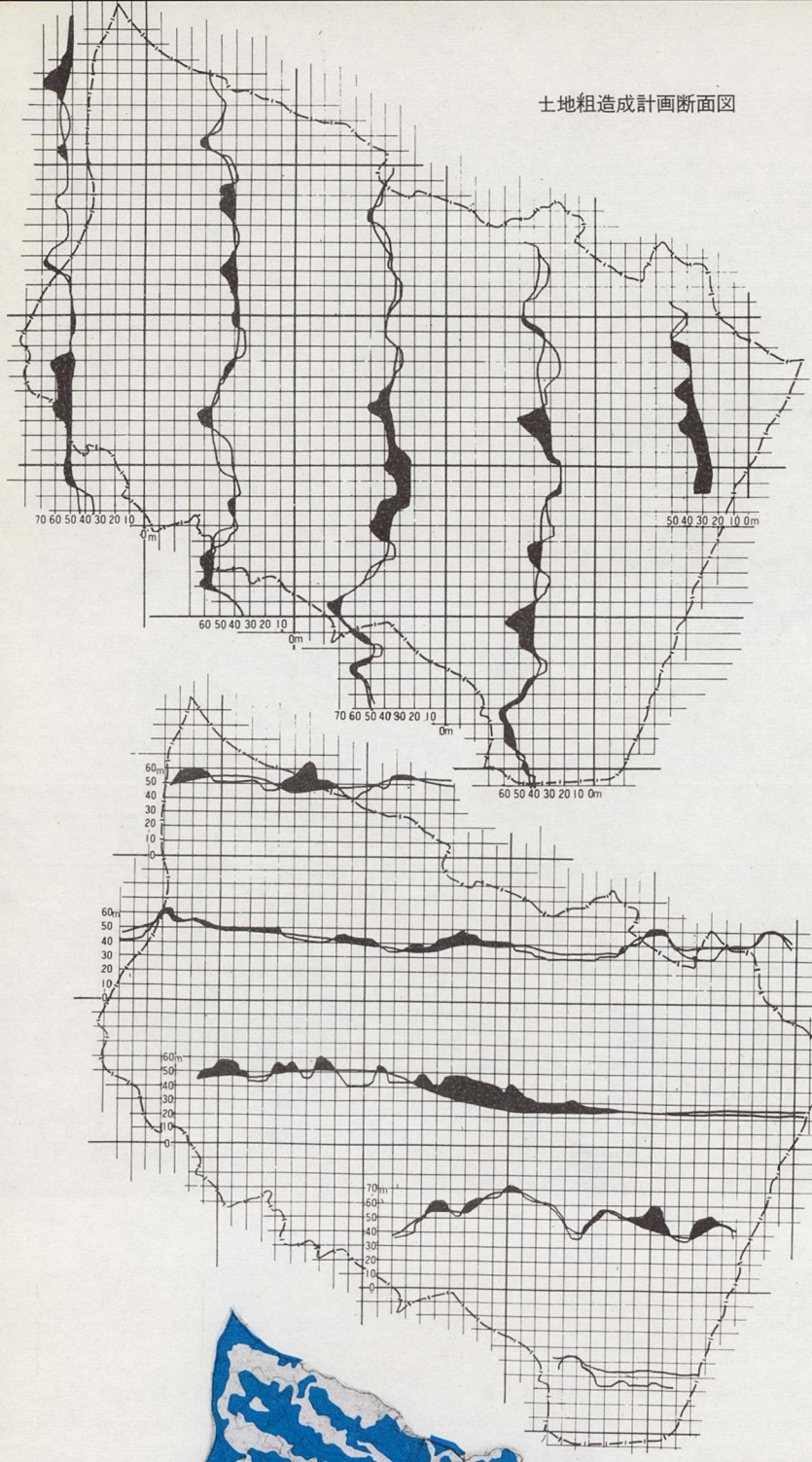
保存樹林

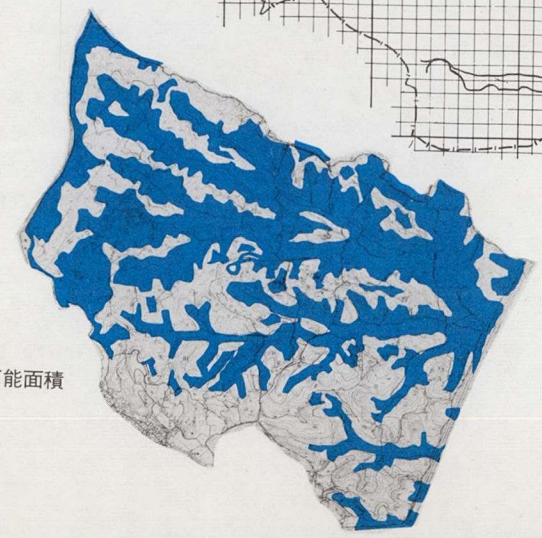
既存の樹林地を出来るだけ保存することは計画の基本的方針でなければならない。敷地を集約的に利用するため、会場をとりめぐる外周部に重点的に確保し、会場景観が会場外部の雑多な景観から切り離されて、内部景観の統一性を強調するよう計画する必要があると考えられる。とくに西側の千里ニュータウンとの間には、巾の広い竹林のベルトを保存し、この部分に「竹の園」といったものを連続させることによって、保存竹林の活用を計ることもできる。しかし建設密度の高い突貫工事ではとくに樹木が痛めつけられる公算が大きいため、厳重に監視することも必要になってくる。保存する樹林のなかでは、とくにモウソウ竹林の積極的な維持管理と改良を早急に始めるのが、まずさし当り必要であると考えられる。

造園工事

造園工事にとって最大の問題は、植物材料の需給対策であり、とりわけ大樹の確保対策が焦点となる。植物材料は他の建設資材とちがい、短期間に大量生産すること

土地粗造成計画断面図





建築可能面積

が不可能であることから、大きな樹木は現存しているものを探す以外は考えられない。会場敷地の植物必要量の予測によると、大樹 3.000本、中木 1.500本、小木 5,000本、株物220,000株、および芝生、地被類約19ヘクタールが最低限度の必要量となる。これら大量の植物材料確保のためには、万国博関連事業による近畿圏全体の需要の増大を十分考慮して、早期の、しかも計画的な対策が必要であると思われる。少くとも大樹は万国博開催より３年位前に立木で購入して、直ちに保護管理を委託しておくべきであろう。施工上の大きな問題としては、時間的な制限がきびしくなると考えられる。すなわち、発注される造園工事の質と量に対して与えられる時間が極端に短縮される点から、建築、土木の諸工事と密接な関連のしたで実行されてゆかなければならない。

気象

降雨は土地造成工事にとって最大の障害であることは先にふれたが、さらに会場内の雨水処理が、下流低地の浸水に大きな影響をおよぼすものとして、重要視されている。つまり会場予定地が丘陵地であり、人工的に開発されるので、豪雨時の出水が急激となるためであるが、これは人造湖を設けることによって、流出調整ができ、解決される問題である。しかしながら、雨水は通常人間が最簡単に利用できる形で最初に供給されるものであるから雨水を水源として補足することがまず必要であると留意するべきであろう。また風、については、冷噴水による冷気団誘導のために、会場の主風を利用でき、一般冷却用水の冷却塔でも、自然対流は大きな効果があるから積極的に利用すべきであろう。

土地造成計画図

「会場計画委員会第２次案」

凡例

表示	説明
	保存緑地地域
	植栽緑地地域
	グランドカバー地域
	中央広場
	水面

記号	地区	番号	施設名
A	子供の国	1	幼児パビリオン
		2	赤ちゃんセンター
		3	子供の広場
		4	湖上プール
		5	スポーツ施設
		6	遊戯施設
		7	アトラクション館
B	博覧会ゾーン		
C	竹の庭	1	工芸館
		2	竹の家
		3	展示館
		4	竹の見本園
D	農業公園	1	農業展示館
		2	生産展示場
		3	農村センター
		4	加工品展示販売
		5	農業集落
		6	水生植物

0 100 200 300 400 500m



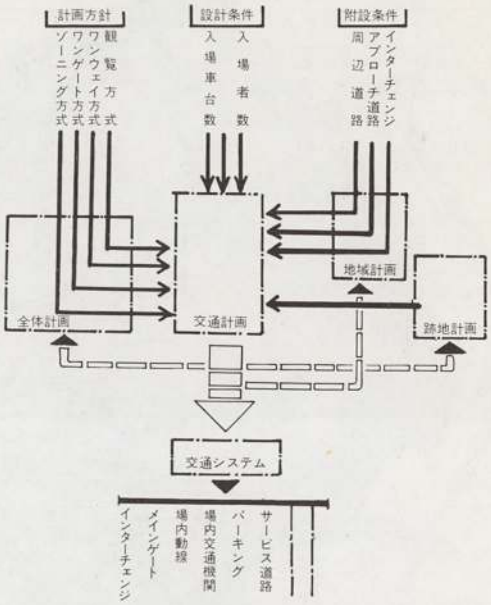
一般展示ゾーン想定図

交通計画——アプローチの検討

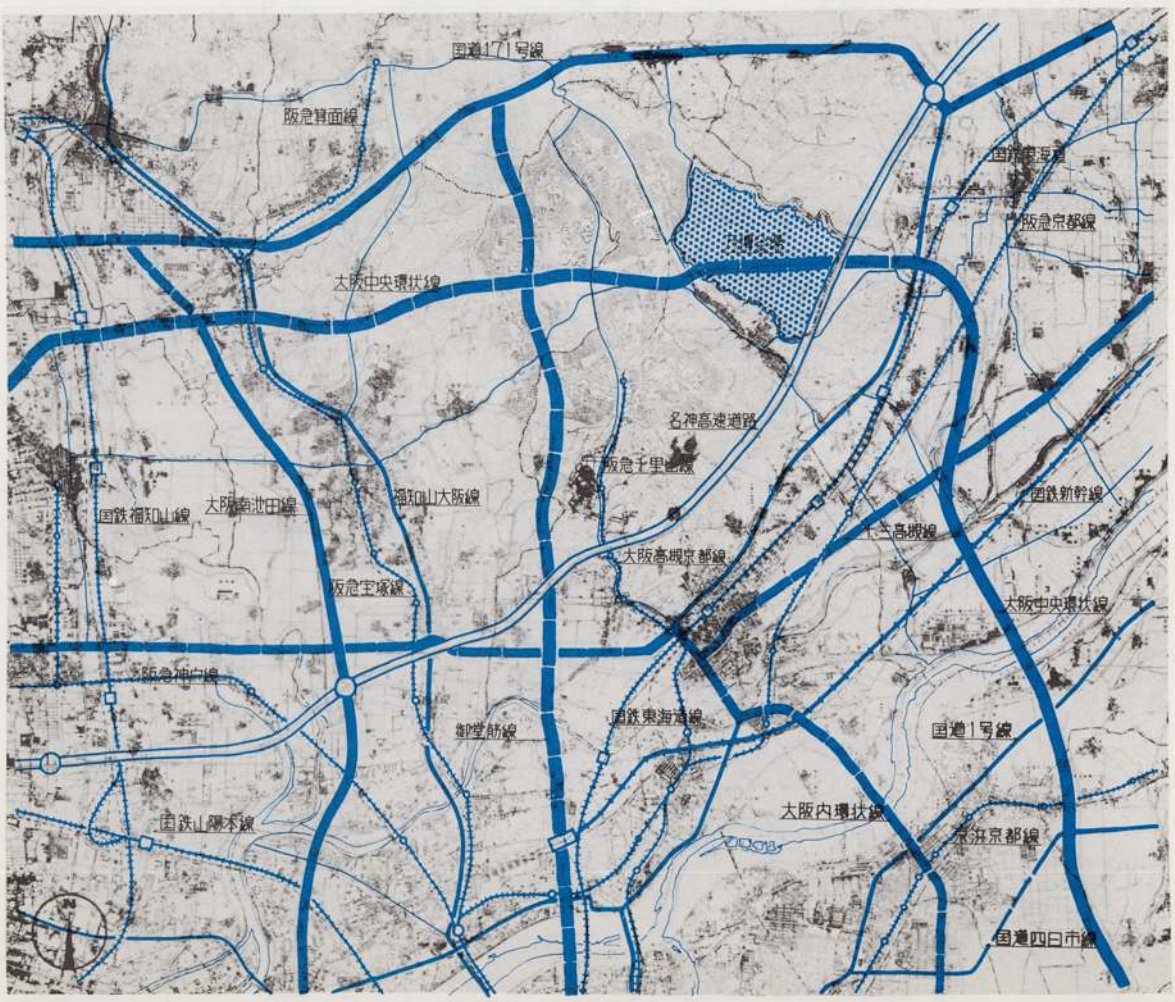
交通の基礎条件から計画の方針を決め設計に至るプロセスは会場構成全体を決めてゆく際に、その機能的骨格に関与する点、量的決定が、比較的明快であることのため、それ自体主要な計画方法となりうる。また万国博が大量の観客を会場内でうまく流動させるところに成立する性格のものであるから、現在考え得る場内交通機関の性能という点から明快な会場構成パターンが作られねばならないであろう。

ここで基礎条件として判明していることは、現在の道路、鉄道の現況、基本推計作業による入場者数、そのうち自動車による来場数およびその車種別、また間接的条件としては周辺各市町のもつ道路計画、要望などである。

会場へアプローチする場合の可能性としては、鉄道の場合、大阪から千里住宅団地まで来ている阪急電鉄を、１９７０年には建設されているという敷地西端から約1.5㎞引込む方法、同じ千里住宅団地へ延長するという大阪地下鉄１号線を約７㎞延長迂回させて会場へ結ぶこと阪急京都線茨木駅から約４㎞延長、更に国鉄、延長、あるいはまったく新らしい大阪外環状線をモノレールで、建設してこれを会場を通す案などが考えられるが、こう



計画エレメントのダイヤグラム



総 入 場 者 数

交通機関	総　数	休日平均	日 平 均
乗　用　車 (含むタクシー)	千人 7,565	千人/日 120	千人/日 43
貸 切 バ ス	7,624	58	42
電　　車	11,749	195	64
合　　計	26,938	373	149

自動車入場台数(休日平均)

種　類	入場台数	最大時間当り
	台	台/時
自家用車	37,480	9,400
貸切バス	1,160	293
タクシー	4,400	1,100
乗合バス	1,240	330
合　計	44,280	11,723

いった敷地外の条件のうち会場を計画するという立場で計画条件としうるのは、まず阪急延長案―西方向より高架でアプローチするのが妥当ということになる。

道路条件としては、主たるアプローチとして、北の西国街道、南の名神高速、府道大阪・高槻線、東の中央環状、西の御堂筋線が考えられるが、西国街道は東西へ分れてアプローチする以外なく、府道大阪・高槻線は現在既にパンク、名神は１９７０年において一杯となる予測があるので、高速幹線道路、主要幹線道路に対する建設の期待は別として、中央環状、中国縦貫の東西アプローチがメインであると考えざるをえない。サブのアプローチ道路としては敷地を南北に横断する方向で、北の西国街道西の吹田をつなぐような路線が地域道路として希望されている。もう一つの条件は国土幹線的な第２名神的高速道がどこを通るかという課題がある。

こういった前提となる条件はあるが、その中から決めねばならぬのは、インターチェンジの構造、会場入口ゲート部分の構造、場内外の動線システム、サービス道路システム、パーキングの計画、場内交通システムなどでありそれらはこの程度の条件から決って来るものではない。それを決定する条件は何か、というところに、次にあげる個々の問題が具体的なかたちで存在するといえよう。この計画プロセスの技術的問題は、再び整理するならば次のような点の検討であるといえる。

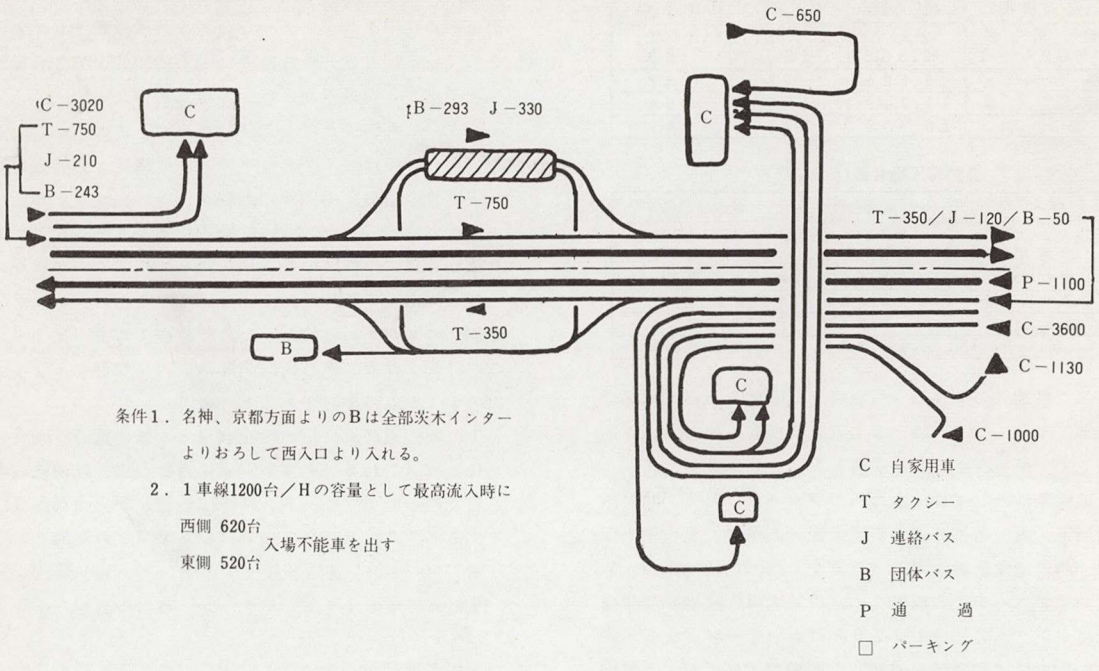
１）周辺道路、鉄道の輸送容量と今後の建設計画、II）推計される自動車型別来場台数、III）鉄道建設の可能性と適切なルート、IV）高速道路から会場へ直結するインターチェンヂ、V）パーキングの位置と規模、VI）ゲートの位置と規模とメカニズム、VII）場内交通機関の種類とルート・パターン、VIII）歩行ルートとそのパターン。

入場者推計から次のことが明らかである。博覧会時の１９７０年には名神高速は容量オーバーとなり、新たに国土幹線的高速道路の建設が必要となること、また東か



交通量推計　休日・鉄道による入場者数 人/日　自動車入場台数 台/日 (カッコ内バス台数)

ピーク時における入場車誘導処理パターン



条件1．名神、京都方面よりのBは全部茨木インターよりおろして西入口より入れる。

2．1車線1200台／Hの容量として最高流入時に

西側 620台
東側 520台　入場不能車を出す

ら24000台、西から18000台／日の入場台数をパーキングへ導くアプローチ道路は明快なショートカットする形でなければならないし、周辺駅からの路線バスを強化して、システマティックな輸送体系を整備することが必要となってくる。このために、茨木駅から小野原へ抜けるルート、千里山から万博敷地南側に至る周辺道路は整備されなければならない。また、大量輸送機関としての鉄道は敷地中央まで乗り入れすることが望ましい。

場内交通

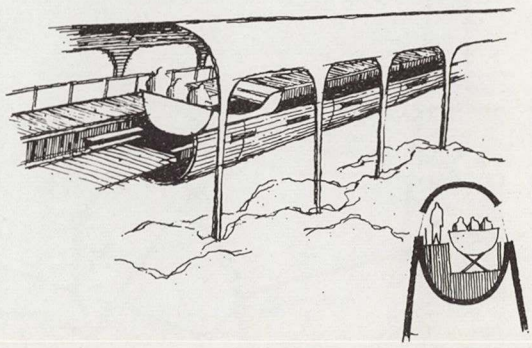
330万m^2(100万坪)という広さ、百数十個のパビリオンをすべて見て歩くと、16日かかる計算になる。このため、「見せ場」としてのいくつかの集中点、広場等を構成することが必要となる。こうしたいくつかの結節点をつないでゆくハイスピードの交通機関および極地的に見せ場となる場所の中で人の動きを整理する大量、継続、低スピードの交通機関の2種をうまく配置構成することが、場内交通の重要な決め手である。また種々様々の形態を持った遊覧機関の導入によって、人々の遊覧方式を豊かにバラエーティのある動的なものとすることができよう。

現在の都市問題の1つとして都市内交通機関を自動車であると割り切るかどうかということは大きな課題である。この万国博覧会ではいくつかの新しい交通機関の実験が試みられる必要があり、たとえば、スカイレール、ソファベア、オートオートの実験といったことが、さしあたりの課題となろう。

場内交通性能比較

	車輛当り定員	輸送量平均	平均時速	最大時速	登坂度	建設費
	52－89	1,545 (3分間隔)	11.8K	40K	14°	
モノレール	140人	40,000人/h (6輛2分)	60K	80～120K	3～7°	10億/km
地下鉄	120	25,000人/h (8輛2分15秒)	38.3K	60K	6°	24億/km
電車(国鉄タイプ)	136	16,300人 (6輛3分)	44.3K	75K	2°	3億/km
小型電車	10	8,000～20,000	10K		6°	6千万/km
ロープウェイ	6	360人/h	7.2K	13K	30°	1億/km
エレベーター	15	430人/h	7.2K	15K		
動く歩道	1人幅	5,000人/h	1.8K	3.2K	15°	30万/m
椅子付 〃	2人	3,000	6K	12K	30°	3億/km
エスカレーター	幅80	5,000	1.8K		30°	30万/m
	幅120	8,000				
ソファベアー	5					





ゲートについて

一時間当り10万人の人間が入場するゲートの取り方としては、1ヶ所集中型と分散型がある。万国博は都市の未来像でなければならないという考え方から、ゲートのシステムは、大群集流を高装置化された方法で誘導できるものとして考える。またこのゲートは、中央環状という大都市地域幹線により、2分される会場を結ぶジョイントとしても、また、会場内外の空間的ジョイントとして、更に　周辺地域交通から会場敷地内交通への乗換え点として、それ自体がすでに高度に機械化した未来都市のモデルとなるまで意図されねばならない。3層のレベルの車一人そして場内輸送機関の立体的構成は、動線の交叉を避け、乗降分離の原則を確保し、各種交通機関別のステーションが立体的に分離しながらも重層的な集中が可能となろう。

インターチェンジの設計条件

中央環状道路

既存条件　1）会期中、会場内一方向高速2車線緩速2車線

2）名神より南部分高速2車線緩速3車線

3）敷地縦貫ということ。

問題点

1）高速部分有料とするか、会期中有料とするか。

2）巾員は2車線で良いか。

3）高速と緩速はレベル差か立体化か（緩速部分Uターンの可能性として）

4）高速部分が会期中出来るかどうか。

5）高速は中国縦貫と結びついて終りかどうか。

中国縦貫道路

既存条件　1）吹田市起点とする。

2）中環に沿う。

3）万博会期までに宝塚まで完成。

問題点、　1）会期中有料かどうか。

2）中環と結ぶということはどうか。

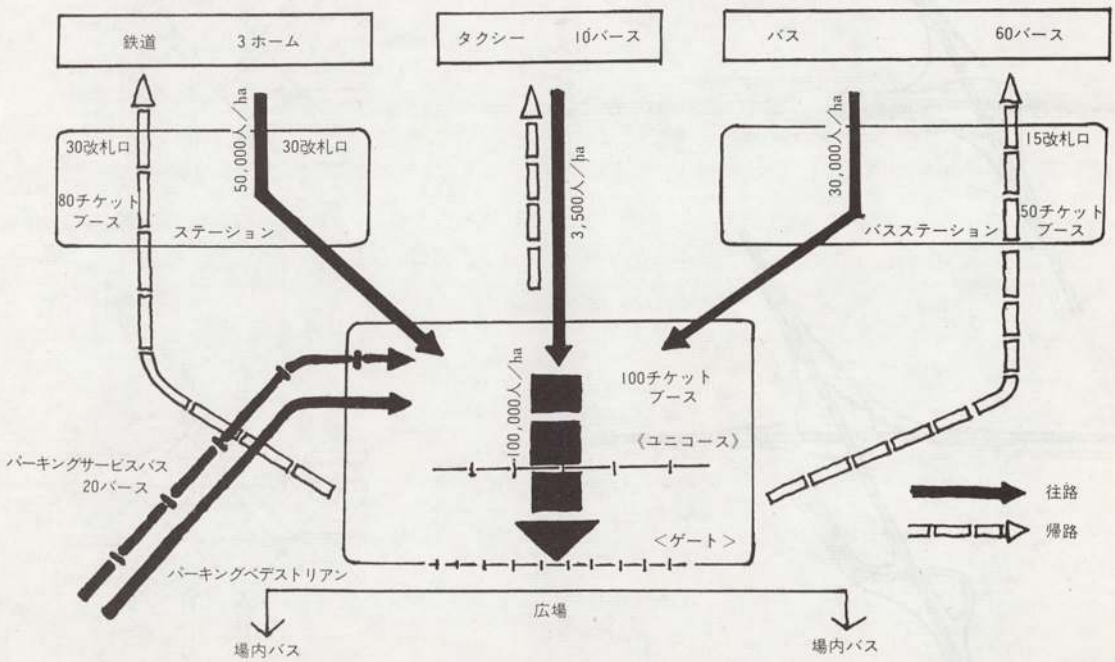
名神・中国縦貫・中央環状間の接続

次のA、B2案はインターチェンジがダイレクトに万国博会場に結びつくという入口的要素があるということと、インターチェンジそのものが未来都市のシンボリックな構成要素であるという理由によって、インターチェンジと会場ゲートを一体化しょうとする試みである。

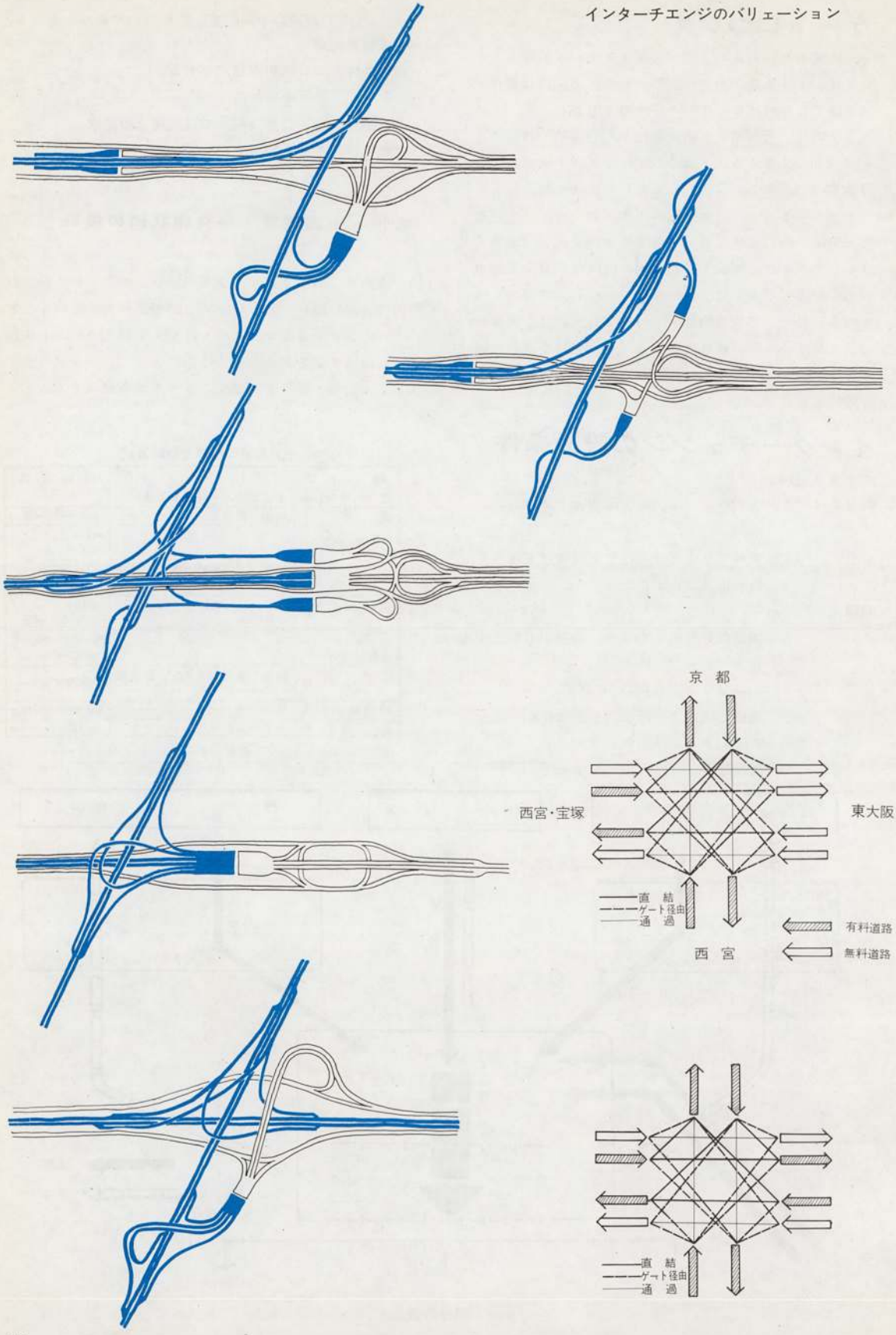
自動車の種類と行動方式

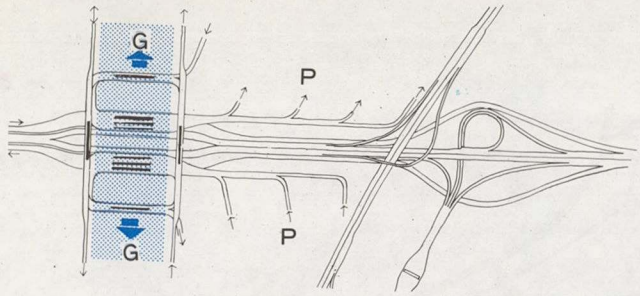
種　類	説　明	行動方式
通過交通車	中央環状線を通過する車	
資客車	外国の資客等	→GE→PE→GE→
タクシー		→G→ →GE→
バス	路線バス　鉄軌道駅のと連絡 専用バス　団体バス等	→G→ →G→Pw→G
自家用車		→PE→ →GE→PE→GE
パーキング連絡バス		PE→GE→PE Pw→G→Pw
サービス車	協会　各パビリオン　食堂車へのサービス車	→管理ゾーン→
回遊電気バス	乗合バス	Gw→展示ゾーン→Gw
遊覧車	未来の実験車等のレンタカー	Gw→展示ゾーン→Gw

注）G中央ゲート　GE 東ゲート　GW 西ゲート（場内遊覧専用）　PW 西パーキング

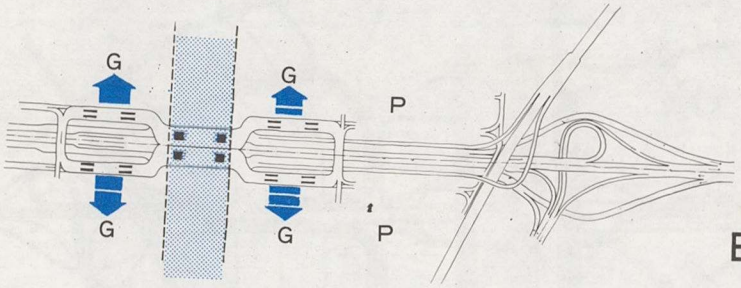


ゲート部分の構造

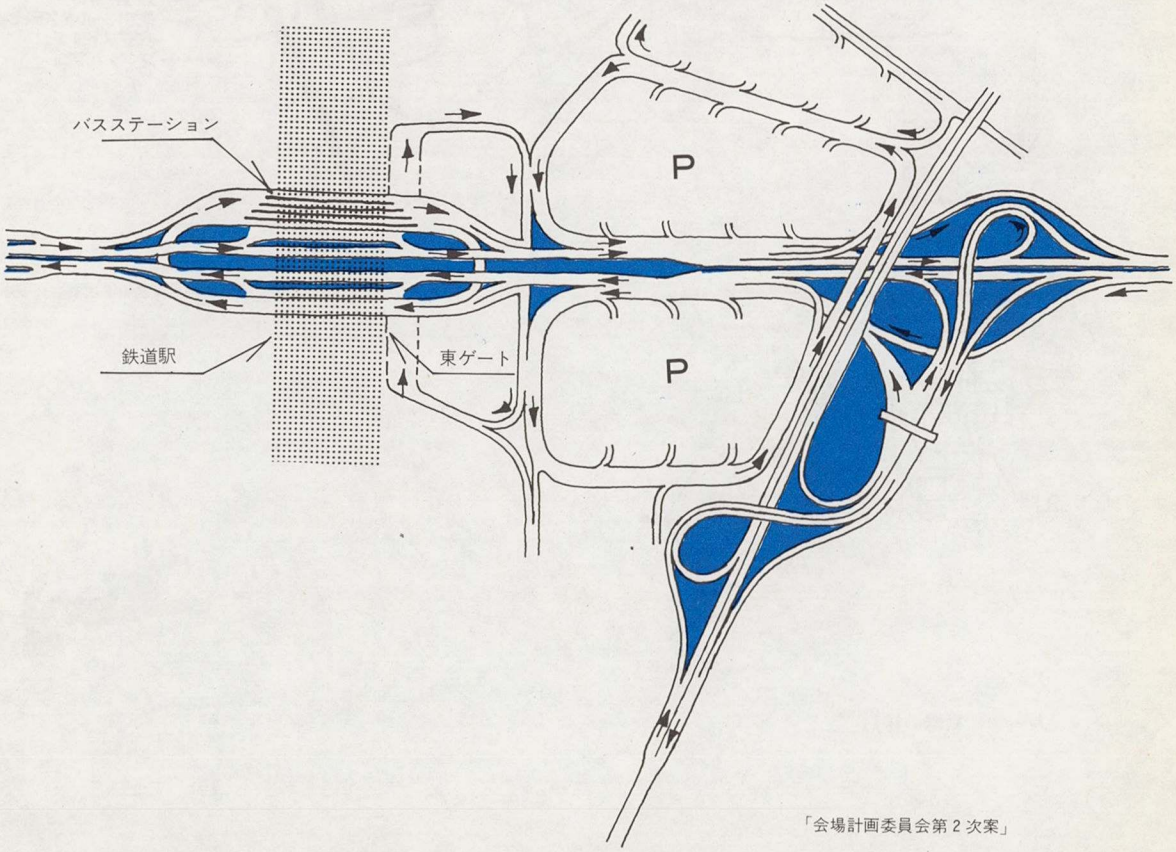

京 都
西宮・宝塚
東大阪
西 宮
直 結
ゲート径由
通 過
有料道路
無料道路



A



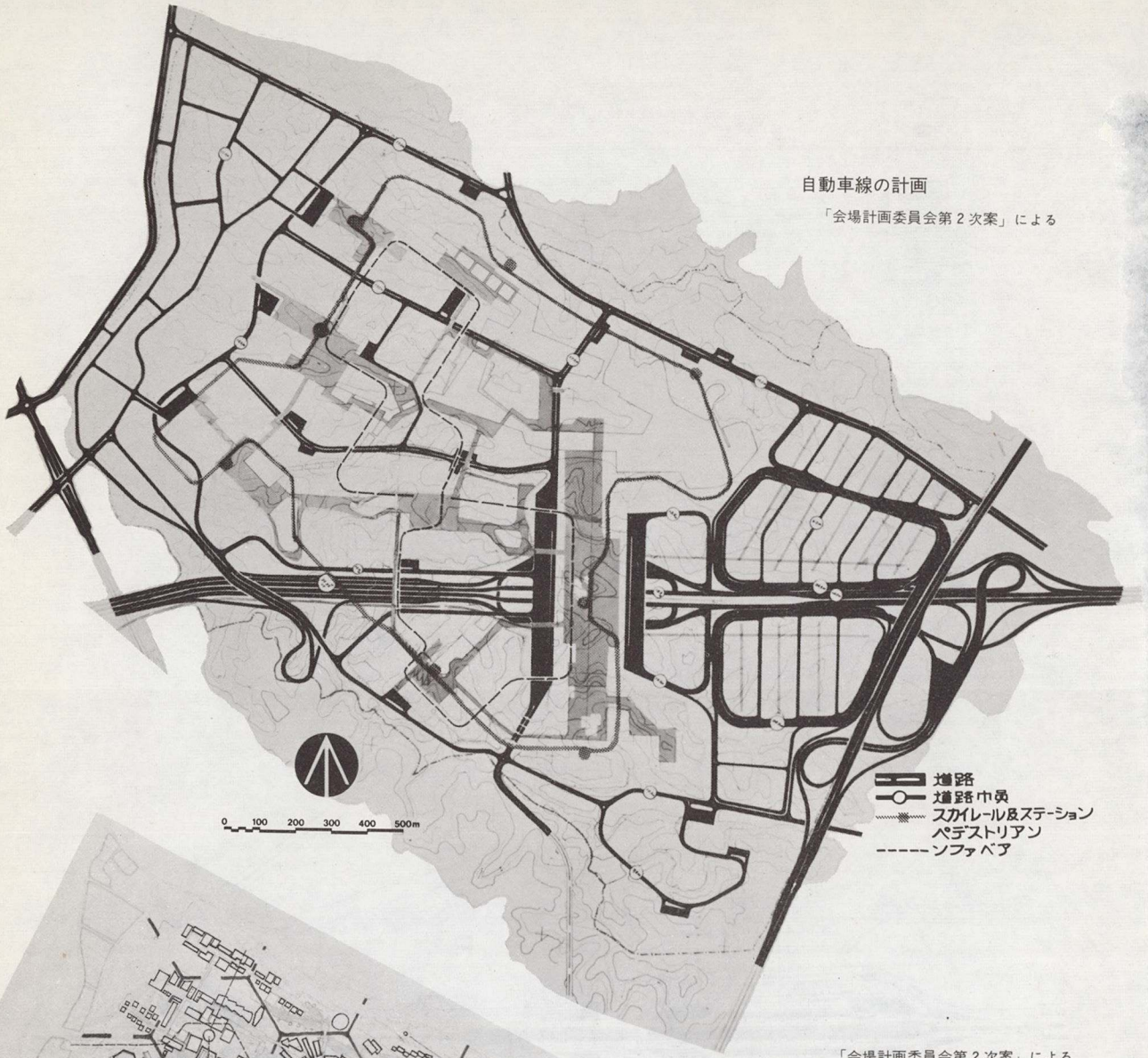
B



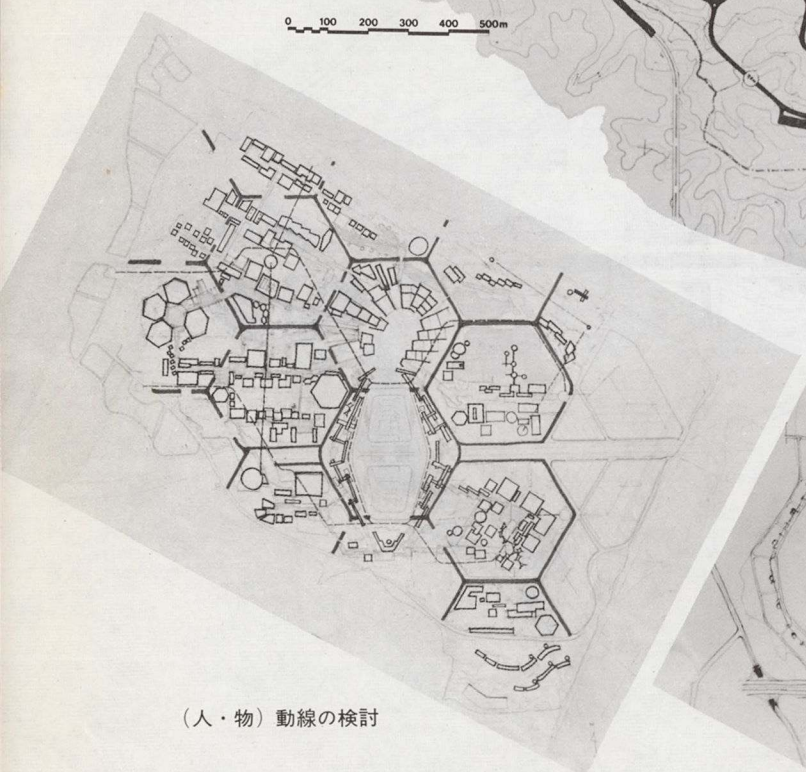
「会場計画委員会第２次案」

自動車線の計画

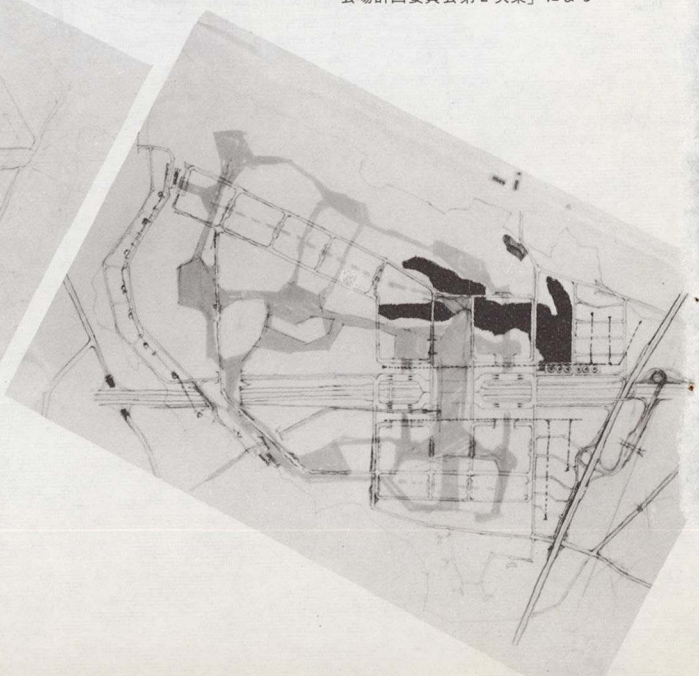
「会場計画委員会第２次案」による

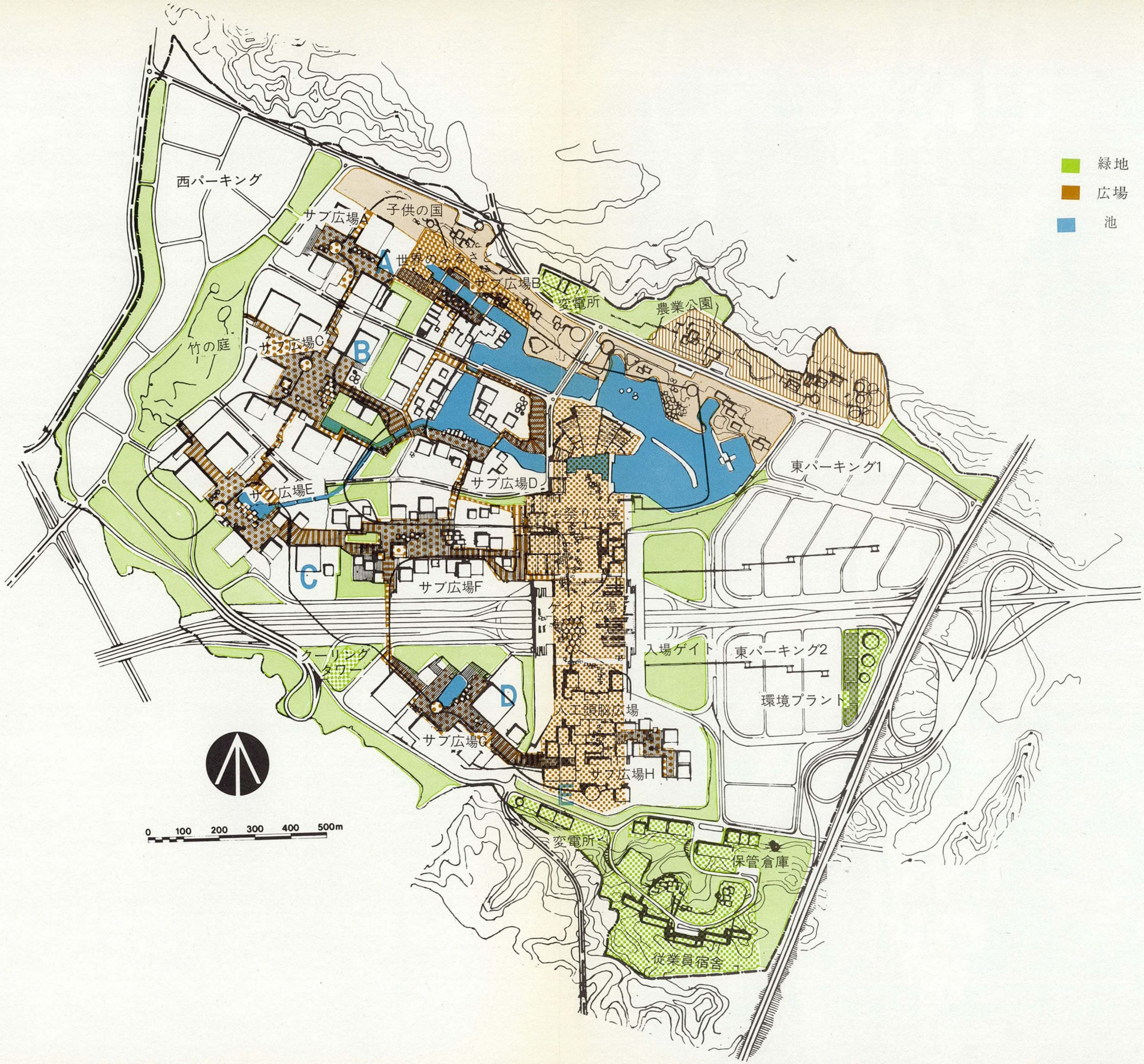


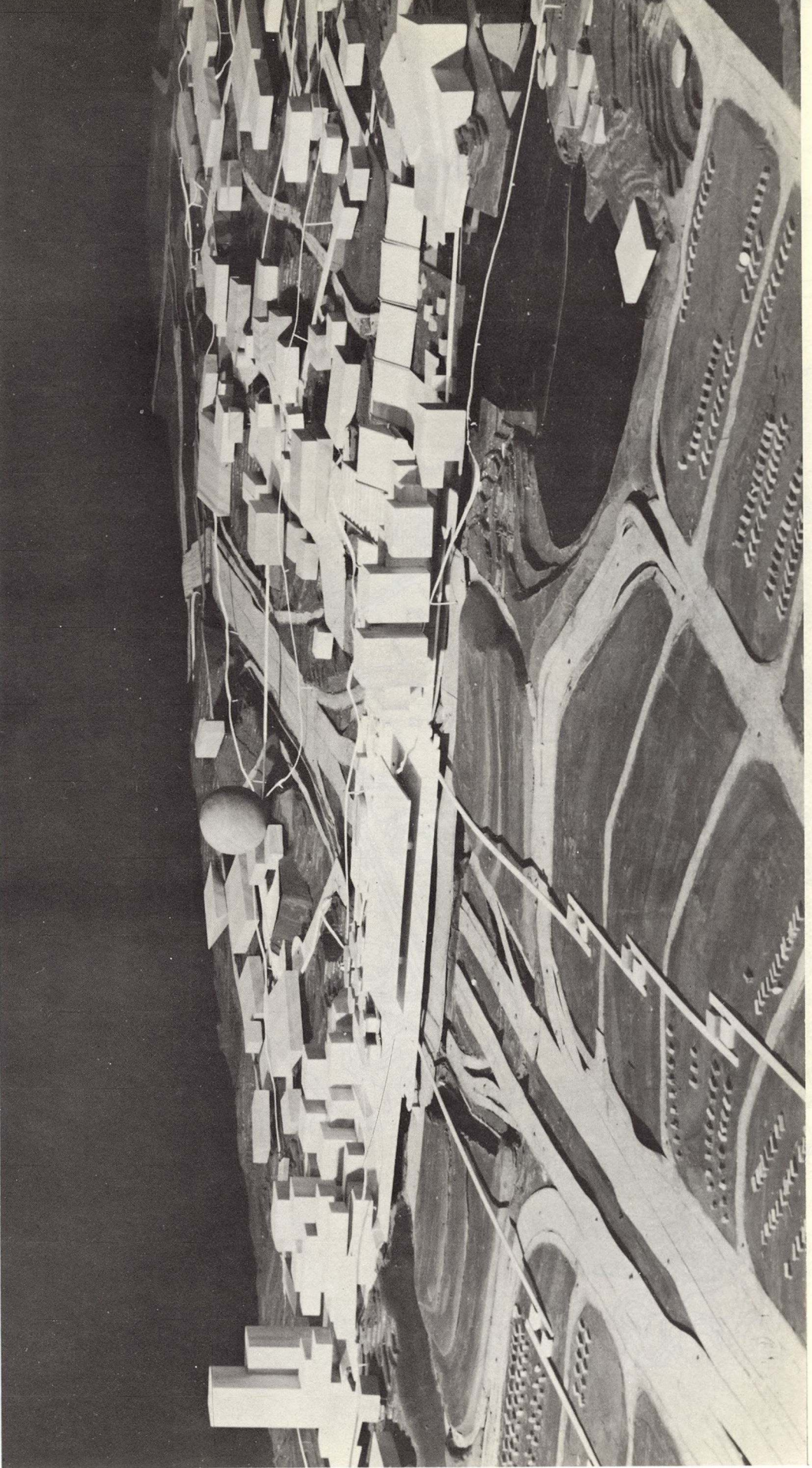
「会場計画委員会第２次案」による



（人・物）動線の検討




緑地
広場
池
西パーキング
竹の庭
サブ広場A
子供の国
世界のふるさと
サブ広場B
変電所
農業公園
サブ広場C
B
A
サブ広場D
東パーキング1
サブ広場E
お祭り広場
C
サブ広場F
ゲート広場
入場ゲイト
東パーキング2
クーリングタワー
D
環境プラント
人工頭脳広場
サブ広場G
サブ広場H
変電所
保管倉庫
従業員宿舎
0 100 200 300 400 500m



土地利用面積

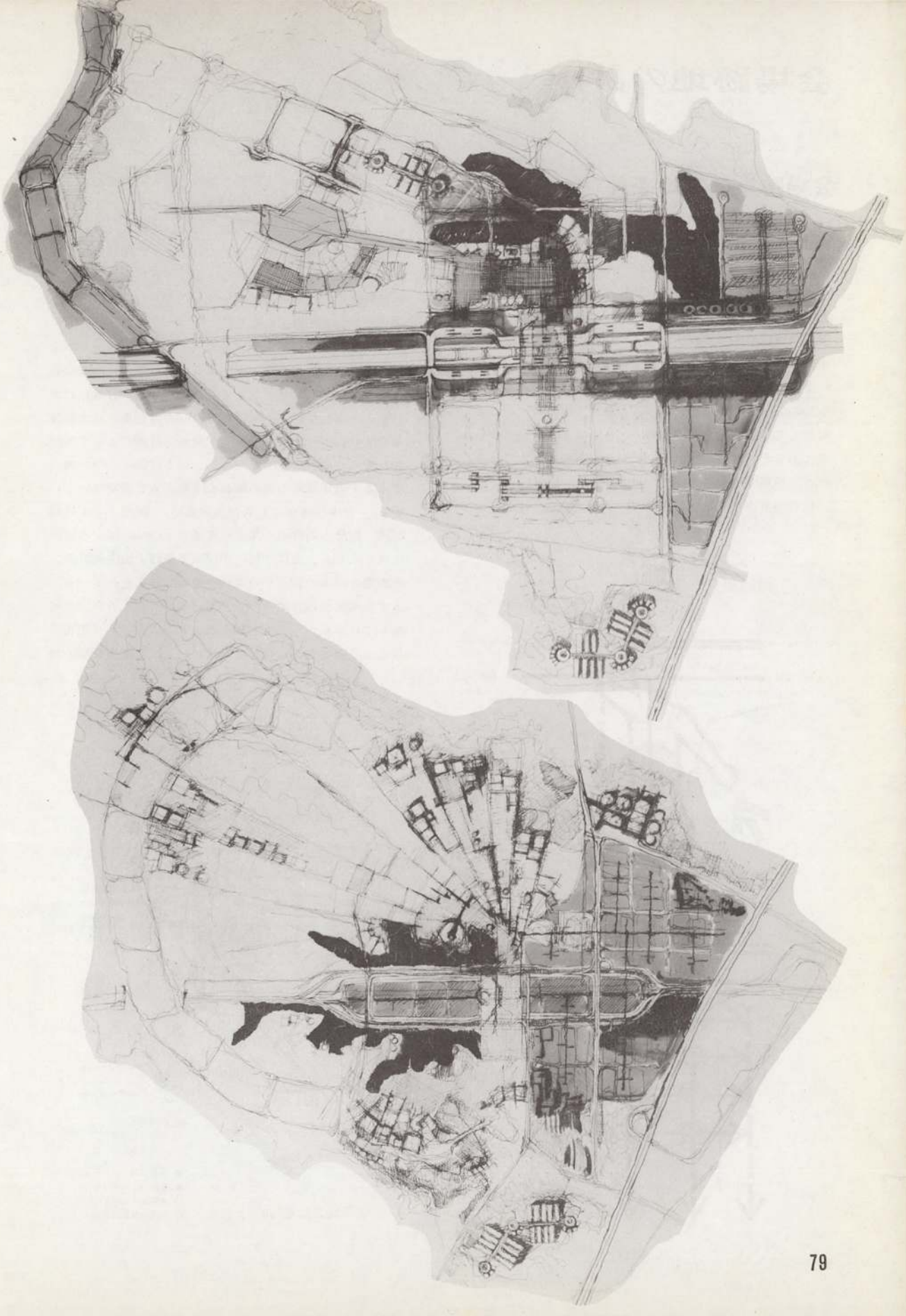
ゾーン名		施設名	敷地面積	百分比	備考
シンボルゾーン		お祭りひろば	11.0		
		メインゲート	7.0		
		人工頭脳管理施設	6.0		
		動水面	9.0		
		計	33.0	9.5	
一般展示ゾーン	A地区	パビリオン＊	9.0		＊法面処理を含む
		サブひろば	2.0		
		緑地＊	1.01		
		遊歩道	1.0		
		池	3.0		
		その他	1.0		
		小計	7.0	4.9	
	B地区	パビリオン	19.0		＊法面処理を含む
		サブひろば	3.0		
		緑地＊	3.5		
		遊歩道	4.5		
		池	3.0		
		その他	1.5		
		小計	34.5	10.0	
	C地区	パビリオン	20.0		＊法面処理も含む
		サブひろば	3.5		
		緑地＊	6.0		
		遊歩道	4.0		
		池	1.0		
		その他	0.5		
		小計	35.0	10.0	
	D地区	パビリオン	8.0		
		サブひろば	1.5		
		緑地	3.5		
		遊歩道	1.0		
		池	0.5		
		その他	1.0		
		小計	15.5	4.5	
	E地区	パビリオン	5.0		
		サブひろば	0.5		
		緑地	3.0		
		遊歩道	0.5		
		池	−		
		その他	2.0		
		小計	11.0	3.2	
		計	113.0	32.6	
レクリエーションゾーン		子供の国			
		世界のふるさと			
		竹の園			
		農業公園			
		計			
従業員宿舎			9.5		
		計	9.5	2.7	
駐車ゾーン	東地区	駐車場	38.5		
	西地区	駐車場	22.0		
		計	60.5	17.4	
その他		幹線道路	64.0		展示ゾーンの交通ひろばを含む
		環境プラント	2.0		
		変電所	4.0		
		保税倉庫	3.0		
		緑地帯・保存緑地帯	23.5		
		敷地内でインターチェンジの占める部分	3.0		
		計	99.5	28.6	
計			347.5	100.0	

敷地面積の単位：ヘクタール

シンボル空間構成施設の種類および規模

シンボル空間	施設名	規模	備考
メインゲート	コンコースおよびひろば	70,000m²	うちコンコース 15,000m²
	路線バスおよびタクシーターミナル	20,000m²	
	鉄道駅	18,000m²	
	綜合駅舎	5,000m²	
	小計	113,000m²	
お祭りひろば	観覧席および演技場	60,000m²	うち観覧席 30,000m²
	綜合展示館	15,000m²	
	会議場	30,000m²	
	劇場	10,000m²	
	国際美術館	10,000m²	
	科学技術館	10,000m²	
	小計	135,000m²	
人工頭脳	情報核	20,000m²	
	コンピューター・センター		
	サテライト・スタジオ		
	放送局		
	通信局		
	無人郵便局		
	浮遊道標		
	管理センター	15,000m²	
	本部ビル		
	協会事務局		
	報道		
	商談室		
	銀行		
	日本政府館	27,000m²	
	地方自治体および公共団体館	36,000m²	
	小計	98,000m²	
人工環境	循環湖	80万m³	
	冷噴水	4,000m³/hr	巾200m 高70m 5℃
	床	20,000m²	
	環境プラント		
	酸素気流	10,000～30,000m³/hr	
	電子氷柱		
	人工太陽	クセノンランプ 9,000KVA	

「会場計画委員会第2次案」による



会場跡地の計画

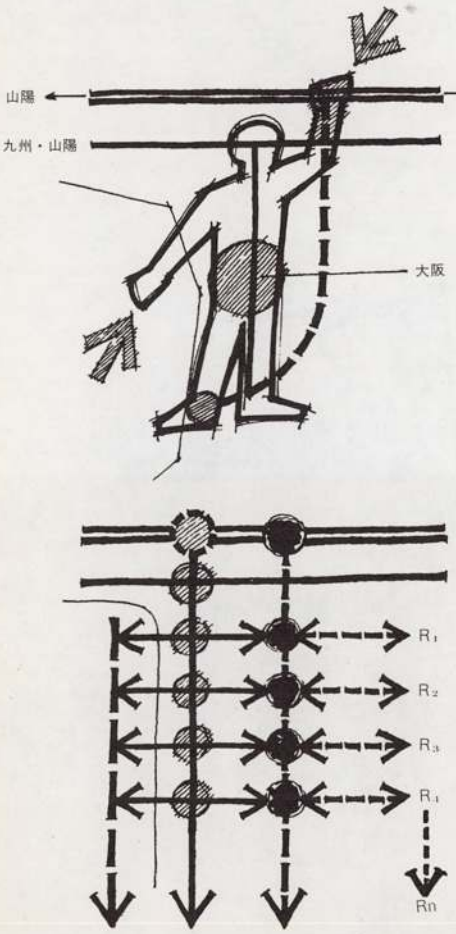
会場跡地の立地条件

万国博は１９７０年３月に始まり９月に終る。会期６ケ月のために関連事業も含めてとはいえ、７０００億のお金が注ぎこまれることになると、６ケ月が終ったあとをどうするのかということが当然問題になってくる。地域計画、都市計画の立場からすれば、万国博とは、いわば大規模建設のテコであり、むしろ計画としても跡地の利用方法の方が重要とさえ考えられよう。

１日の最大の入場者が４～５０万とみこまれる万国博覧会の会場跡であるから、無論、鉄道・道路などが跡地に対して整備された状態で残ると考えてさしつかえない訳であるが、また一方、別の観点からみても極めて恵まれた立地条件をもつといえるのである。

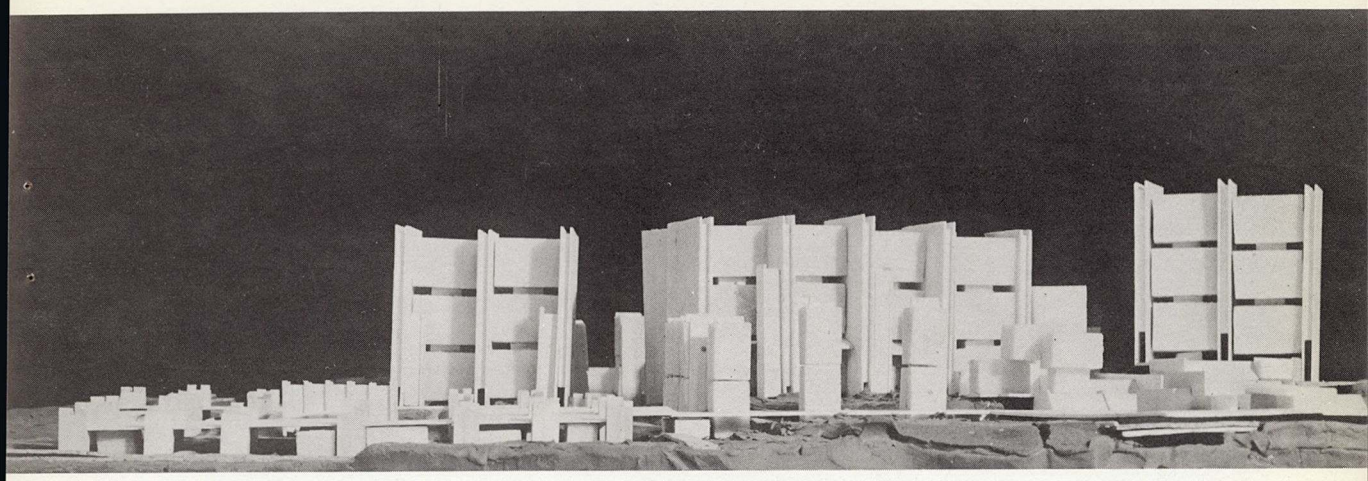
現在の都市の問題といわれている交通・水・住宅・公害などの多くは、その原因を都市といった範囲でなく、もっと広く地域、あるいは国土といったところに見なければならぬ場合が多い。無論、都市段階で打たれねばならぬ対策が、現在十分に進められぬままに問題が起ってきていることは云うまでもないが、それ以上に、今後の問題解決にあたっては国土計画といった観点が、重要な決め手となると考えられる。

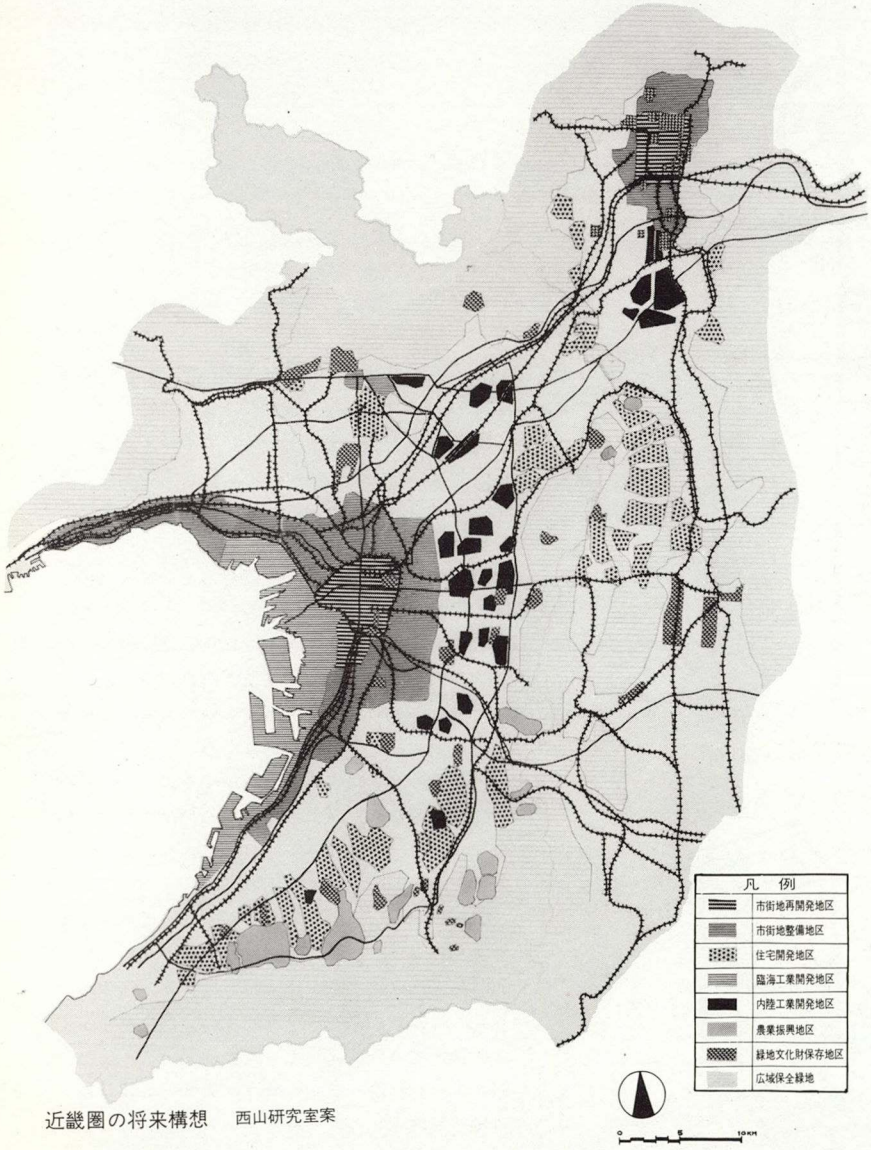
国土との関連で都市地域を構成してゆく立場からみる場合、今日の都市が都市計画によって改造されねばならない方向は必らずしも現在とられている都市計画のパターンと一致しない。万国博跡地計画の計画条件は大阪地方全域の都市計画原則である大阪地方計画によって規制される点が最も大きくなかでも、地方計画の一つの重点である中央環状線沿線の副都心と考える立場が強いといえる。会場は現在でも名神高速道路、国道１７１号線国鉄、阪急、新幹線が集まって通る、いわば、国土の幹線に接しており、更に今後、中国縦貫道路、山陽新幹線、その他２～３の新らしい道路の建設も予定されている。まず会場跡地の立地条件としては、この国土幹線地帯に接している点がもっとも重要であり、大阪と云う現在人口６００万の大都市は国土全域に対して万国博会場の地





大阪地方計画'64—大阪府





近畿圏の将来構想　西山研究室案

点でガッチリと結びつかねばならない。それは国鉄新幹線大阪駅を通って大阪を南北に貫く御堂筋とならんで、大阪の都市構造の新らしい産業幹線となる中央環状道路の国土への玄関であり大阪の手となる部分と理解されねばなるまい。

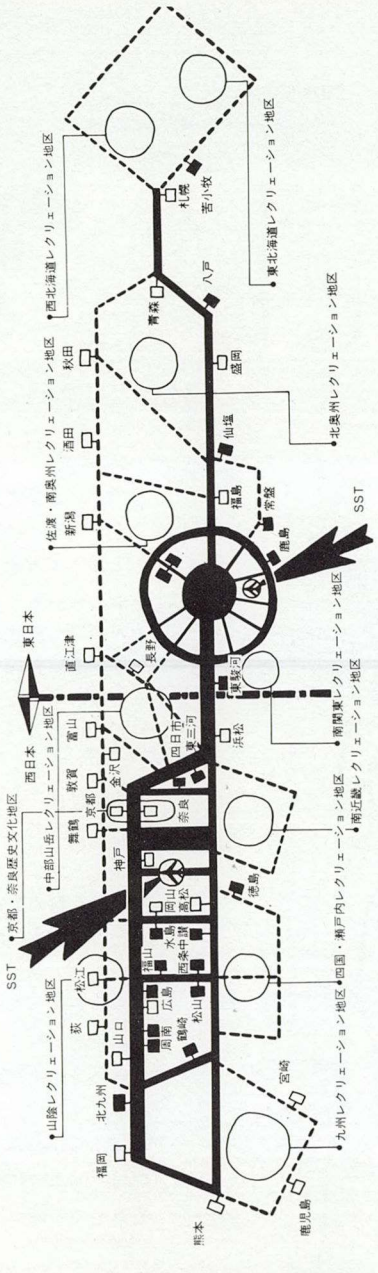
つまり跡地利用として建設される施設は、科学技術のめざましい進歩を、旧い秩序を乱すことなく、グルーピングされねばならぬ性格のもの、更に大阪にとどまらず全国的にみて今後の国土発展のなかで必要となる全国民のためのもの、フィジカルには東海道ベルトといった都市地域の骨格を形成するようなものでありたい。

こうした新らしい都市、都市地域、国土の秩序・構造を形成するための施設群をファンクショナル・コネクターと呼ぶならば、会場の敷地はこのファンクショナル・コネクターの立地すべき条件を備えているといえよう。

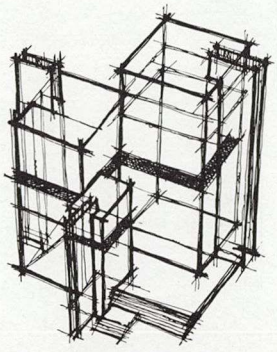
跡地計画の条件

都市のファンクショナル・コネクターとしての立地条件のなかで、計画されるものは、現在いくつかの型で考えられよう。たとえば流通センター、学園都市、情報センター……。

2 核構造の国土像



都市デザインのモデル



それらはすべて、都市を新らしい秩序に再構成するよう、また国民が、全国的なスケールで移動しつつ生活しうる条件を背景としてより高度の国民施設を造り出そうとするものと考えてよい。だがしかし多くの国土像の提案にもみられるように、国土がはっきりと空間的骨格を持つ必然性がある発展方向にあるなかで、更に重要なことは、国際的にみても十分比肩し得るような文化の発展、産業の発展を促す全国的で且つ基本的な組織・空間としての施設を新たにつくり出すことである。

そうした性格の施設は現在多くの社会的要請のなかで、いくつか考えられるのだが、都市の空間的新秩序の創造の役を負うファンクショナル・コネクターとしての立地条件を考えると、情報科学都市といった性格の空間が、必要であろう。

それは情報そのものを得るということが極めて重要な意味をもつ現代の社会において情報を一括して収集・伝達し、同時に文化向上に必要な情報交換がスムーズに行なわれるような施設は空間的に積極的に集めて新らしい都市を作り出そうと云うもので、いわば科学情報コンビナートとでもいえよう。

跡地をいかに合理的に利用するかと云うこととあわせて、従来例をみないこうした新らしいコネクター、情報都市といったものをいかなる方法で構成すればよいかということが、この計画での課題となる。

第1に地域計画・都市計画を考える場合の課題として、よりハイオーダーの条件、国土計画を見通すことが、交通、通信の発展、産業の大規模合化理化のなかで、問題となる。

将来の国土像は、そのアプローチの立場によって色々な形が描けようが、国民生活の向上、国土の保全という立場から将来の方向が決められねばならないことはいうまでもない。その具体例としては国土を三層に把握し東西に2分した構造をもつ、我々の研究室で分析した国土像がある。この計画にあって考えられたことは、現存の都市は国土幹線に対してクラスター状に結ばれ幹線そのものが新らしい都市となると同時に、既存都市はその性格を国民のひろばとしてより明確なものに変革してゆかねばならぬということであった。すなわち、このような国土幹線の予測のもとに都市を再編成するとすれば、何をどのように新らしく建設すればよいのか、また国土幹線との結びつきは技術的にいかに計画されねばならないか、と云うのが第1の問題といえる。

第2に国民のひろばとしての都市を構成してゆくために都市内既存のどんな施設群を分離すればよいか、国民生活の発展という立場からどんな施設群が新らしく建設されねばならないか、この点に関しては、単に当面する断片的な問題処理という立場からではなく、文化の向上、文明の開発といった高い次元の観点が必要である。

日本の文化は外国文化の移入に基礎をおき現在新らしい

科学技術で世界にオリジナリティを誇るものは極めて少ない。今後、日本の課題として、科学技術・文化、全面においてより基礎的開発の姿勢がとられねばなるまい。この立場から関連する産業、研究の各分野は結合して情報交換をはかり大きなコンビナートとなる必要があろう。

第3に、そうしたハイオーダーの立場による建設をいかにして実現するかという、いわば政策上の問題としての建設のシステムが大きな問題としてある。

もう一つ、このような新らしい大規模な建設を行なう場合の建築設計上の課題がある。従来建物は原則的には個々独立の形態であり、土地との関係も1対1で対応する。が、しかし今後の建設はこうした建物の基本概念を変更するときに初めて可能となる。立体化、共同化・人工の環境……、それらのもつ課題は大きいが、まず実験としてこの跡地の建設において具体化されねばなるまい。

跡地利用の計画
——情報科学都市の提案

構　成

跡地の「利用」として考えるならば、まずこの計画には、多くの要素を記憶し、多くのタイプの分析・プログラムをなし得る電子頭脳の利用が考えられねばならない。大学、研究所が既に会期後に建設されると決っているという条件もあって、現在のところ情報科学都市を構成する要素は次の如きものである。

- ライブラリー地区——綜合自動図書館、各種専門図書館
- サービスセンター地区——医療情報、気象・地震情報、交通情報、科学技術情報、農作物価格および作付情報、プレスサービス、住宅・宅地情報、等サービスセンター。
- 研究所地区——情報科学研究所、地域計画研究所、
- 大学地区——
- 官公庁一般業務地区——企業情報管理部局、企業統計処理部局、官公庁統計処理部局、　etc　。

これらの施設は、全国的に情報の交換が合理的生産、経済の安定、生活における行動決定等のために、綜合的情報の分析が必要であると同時に、それらすべての情報が1ヶ所に集められ管理され交換されることによって、更に新らしい科学、学問、文化の発展を促がすこととなろう。すなわち大別すると情報科学都市とは厖大な情報、資料を集収したうえ管理するライブラリー部門、この集まった情報を国民一般に対して、直接提供するサービス部門、相互に最新の情報を交換しつつ新らしい科学の開発を行なう研究所部門、その別形態としての大学部門、企業部門、より構成され、常に必要な最新の情報を得ること、与えることによって、全国土にサービスし都市のコネクターとなるものである。

会場跡地の土地利用面積の想定

地区名	施設名	敷地面積	備考
業務情報地区	官庁関連施設 民間本社機能営業施設 情報サービス施設	ha 42.5	コンピューターセンター等を含む
研究学園地区	各種専門研究所	64.5	情報科学研究所、地域計画研究所、経済機構研究所等約10施設
	大　学	71.0	大阪大学、その他国際研究施設
	文化公園	51.5	美術館、科学技術館おまつり広場、水面等
高密居住地区	高密居住装置	35.0	実験住宅
その他	中央環状路線 地区内幹線 緑地等	83.0	

計画基準

現存する個々バラバラの施設のもつ条件を体系だて整理し、新たにコンビナートとしてのメカニズムをつくらねばならない。従来計画され、ある程度現実の建設が進んだものとしては、学園都市、官公庁情報サービスセンター等があるが、ほとんど基準として明確なものはない。とはいえ、明らかに一つの計画条件として検討されねばならない点は、建物の容量、内容、その系統が、将来ある固定した形態に止まるのではなく、極めてダイナミックに、時と社会の変化と共に変化するであろうということである。したがって、固定的な、形態ではなく一つのシステム、あるいは、原則を明確に導入することによって、この変化、発展に対応すると同時に、新らしい人工

情報(サービス)センター計画試案

施設局	(人) 人数	m²/人	(ha) 計画面積	備考
行政綜合情報サービスセンター	200	30	0.6	パンフレット配布等
法　律　〃	50	30	0.15	法律相談所含む
科学数育　〃	100	50	0.5	
図　書　〃	80	50	0.4	全国蔵書情報
医　療　〃	100	20	0.2	血液在庫、薬剤等
食　糧　〃	50	20	0.1	
貿　易　〃	50	20	0.1	
交　通　〃	200	20	0.4	都市内交通状態把握
海　運　〃	20	20	0.04	
地震気象　〃	160	20	0.2	予報サービス
防　災　〃	50	20	0.1	
電波管理　〃	20	20	0.04	
国鉄案内　〃	20	30	0.06	新聞、報道関係の連絡
プレス業　〃	100	30	0.3	
住宅・宅地　〃	100	20	0.2	電話加入等
電話・電報　〃	20	30	0.06	
プレイガイド	20	20	0.04	
保健衛生情報センター	30	30	0.09	衛生試験所も含む
農　林　〃	30	20	0.06	
資　材　〃	50	30	0.15	
中小企業　〃	100	50	0.50	
商　業　〃	50	50	0.25	
生産管理　〃	100	30	0.30	
金　融　〃	100	20	0.20	
デザインセンター	100	30	0.30	
JIS　〃	30	20	0.06	
観光案内所	100	30	0.30	
都市供給施設センター	50	30	0.15	
計	(人) 2,020		(ha) 5.55	

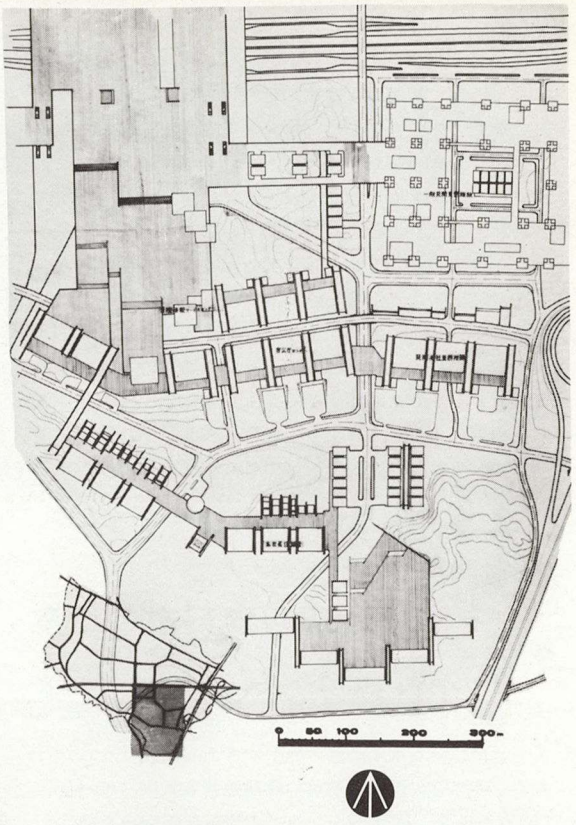
研究学園都市面積構成

産業安全研 175(人) 6(ha)

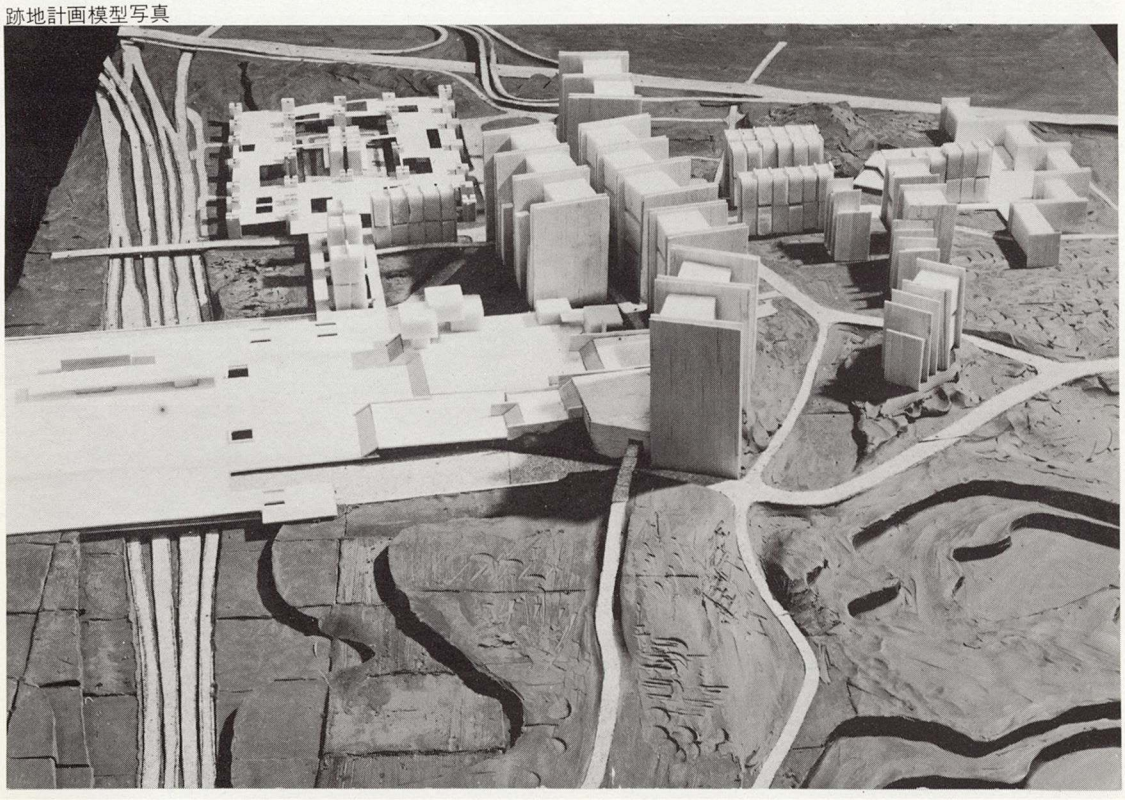
通産省 10機関 3.716(人) 214(ha)	気象大 93(241) 9	労働省	建設省	建築研 474(人) 13(ha)
	運輸省 高層気象台 57(人) 44(ha) / 気象研 247(人) 30(ha)		土木研 590(人) 93(ha)	国土地理院 1.371(人) 20(ha)
	厚生省 5機関 2.343(人) 66(ha)		科学技術省 金属材料研 450(人) 38(ha)	
		防災センター 128(人) 33(ha)	共同利用施設 1.241(人) 37(ha)	非金属キソ研 818(人) 5(ha)
農林省	国場 366(ha)	文部省		民間研 3.500(戸) 83(ha)
農林センター 3.291(人) 165(ha)		素粒子研 280(人) / 日本語教育センター 120(人) / 科学博物館 214(人) 132(ha) / 国語研 90(人) / 統計数理研 12(ha) 112(人)		
国立大 3.698(11.550)(人) 246(ha)	私立大 2.140(21.400)(人) 300(ha)	中心市街地 55.000(人) 307(ha)		

計 113.439(人) 2.219(ha)

業務情報地区



跡地計画模型写真



の環境、都市空間を、人間的なものとして定着させてゆくような具体的空間構成の方法が必要である。

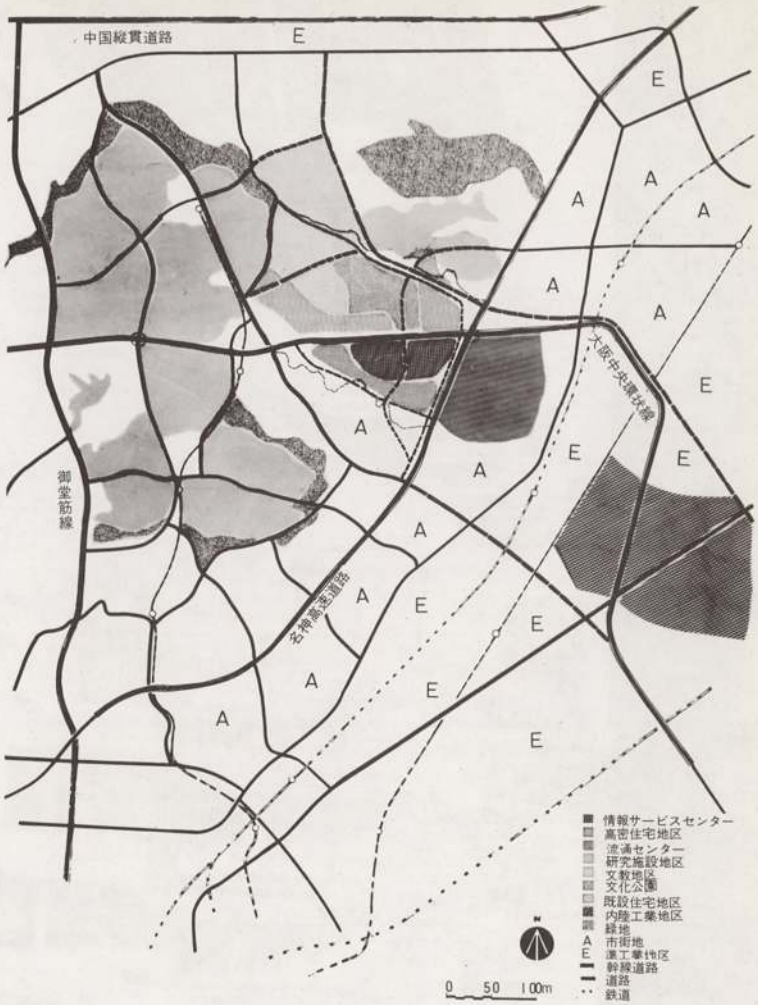
古来、人間の生活の最も基礎的基準であった大地は、都市と云う極めて人工的な、厖大な意志の集積のかげにまさに埋れようとしているのであるが、これを建物の配置、高さによってあくまで開放しょうとすることは人間が都市を構成しょうとするあくなき集中の意図に反し、無意味な方策といえようが、これに代って人間の生活の基準となる新たな大地、人工の土地が必要となる。それは〈パブリック・レベル〉と呼ばれる空中に設定されたある高さごとの面を示し、いかなる建物が建設されようとこの高さの面はパブリックな大地となる。そういった原則が必要であると考える。

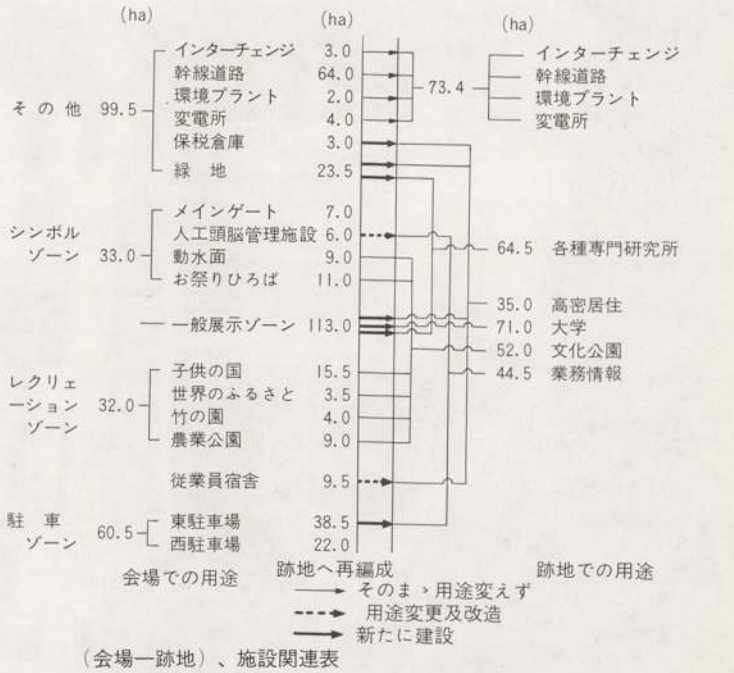
また、集積し立体化する都市の高密空間を本当の意味で立体とするためには、横方向ばかりでなく垂直方向に通る道路、誰でも通ることのできる道路が必要である。

これを〈レベル・タワー〉と呼ぶならば、パブリックレベルと、レベルタワーは都市建築群構成のもっとも、基本的な原則といえよう。そしてまた変化に対応するシステムとは極めて固定的な人間の主空間と常に変化を受けいれる従空間の結合であって、〈オープンフロア〉〈人工緑空間〉といった概念とならんで、この計画を構成する原則となろう。

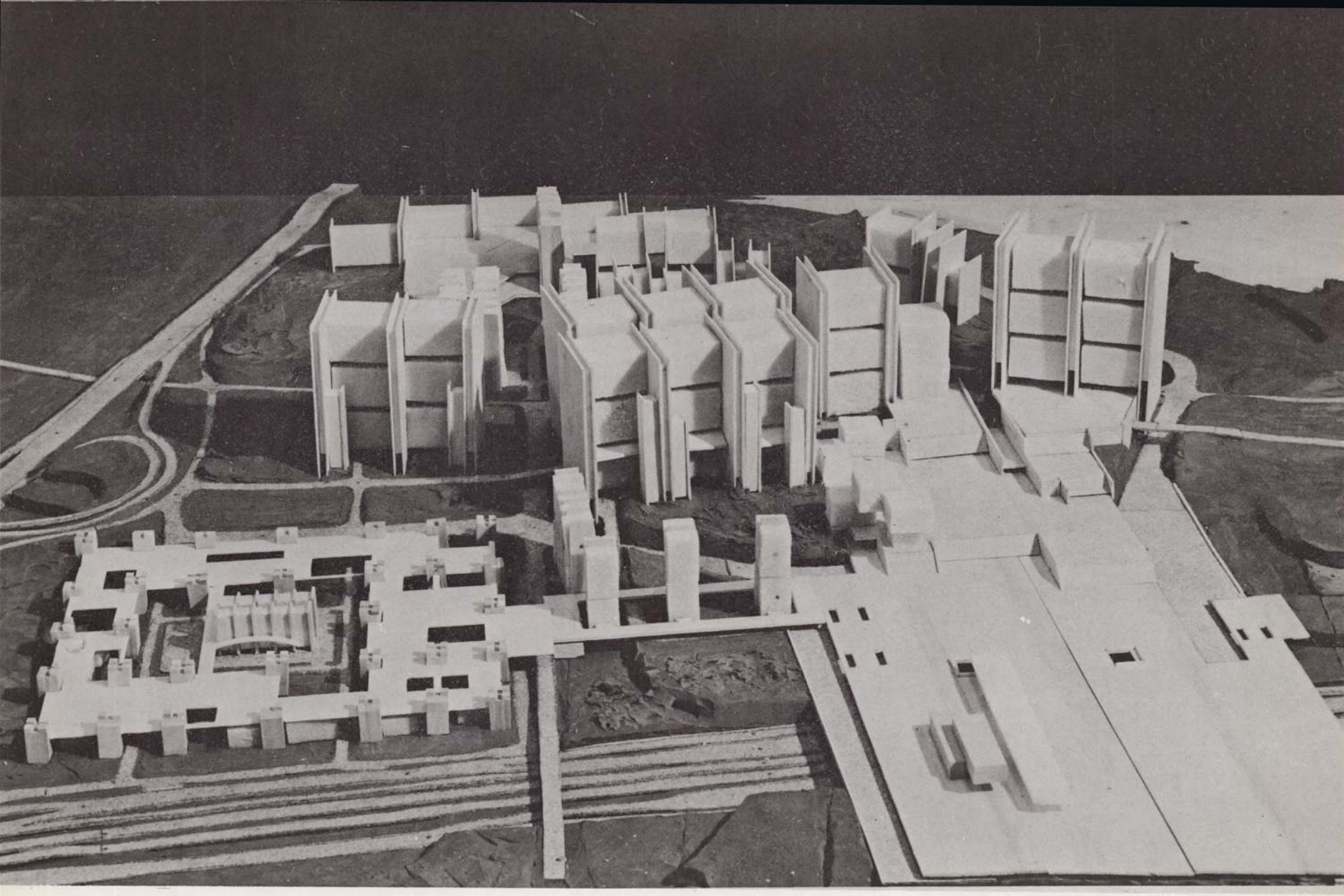
いずれにせよ跡地の建設はまず、建設の目標、条件が明確にされたうえで独自の積極的原則のもとに、単に跡地の便宜的利用でなく行なわれねばならないと考える。

跡地周辺想定計画





（会場―跡地）、施設関連表



万国博には
〝ミューザック〟を！

music by Muzak®

世界で最も親しまれ、唯一の機能的環境音楽として権威をもった〈ミューザック〉は、世界各国から訪れる観客には、この上ない歓迎の意味となり、無意識のうちに相互の親愛感を深めることができます。

N.Y博では写真のように魅惑的な雰囲気をもったGMの会場をはじめ、多数の超一流企業の会場で〈ミューザック〉をご利用いただきました。



展示場、レストラン、通路、駐車場など〈ミューザック〉は、どこでも、この設備はそのまま連絡、呼び出しなどにもお使いになれます。

世界20カ国で最大のシェアをもち、アメリカ市場の80%は〈ミューザック〉が占めています。

そして日本での実績や効果は？
それには大日本図書刊行の「環境音楽」に、歴史から技術まで、“環境音楽のすべて”が掲載されています。

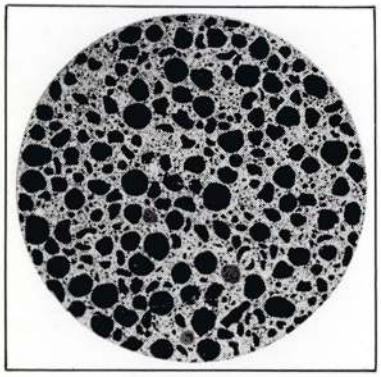
毎日ミュージックシステム

東京本社・東京都千代田区有楽町／毎日新聞新館5階／㊡〈212〉1341～2
大阪本社・大阪市北区堂島浜通／新大ビル2階／㊡〈363〉1821～4



＊人工バラスの決定版

ライオナイト

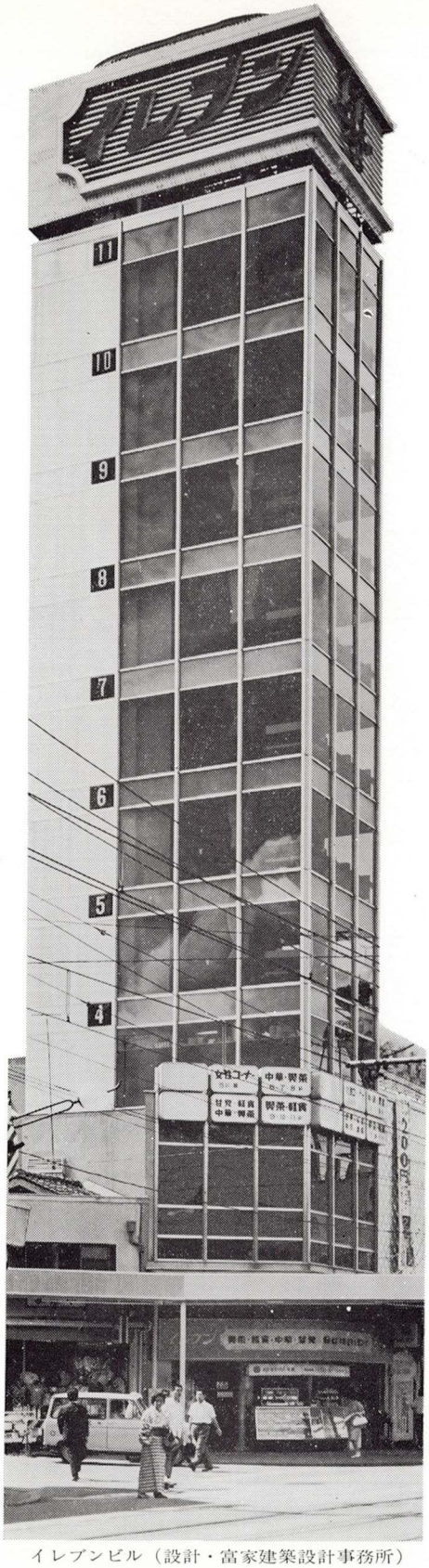


●これはコンクリートに打込んだ時の〈ライオナイト〉の状態です。

ライオン・マークの大阪セメントから、バラスにかわる新骨材〈**ライオナイト**〉発売！　軽くて、強く、吸水性が少ないので、高層ビルの建築に最適。さらに、完成後は熱伝導率が大幅に低下するので、室内はいつも快適な温度が保てます。セメントの技術を生かして造った、人工バラス〈**ライオナイト**〉。大阪セメントの生コンと、ぜひ、ごいっしょにお使い下さい。

大阪セメント

本社　大阪市北区堂島浜通1の57
支店　大阪・東京・名古屋
工場　大阪・伊吹・高知・横浜



イレブンビル（設計・富家建築設計事務所）

Gコラムなら こんな芸当も 可能です

目抜きの土地を最高限に利用する…京都・河原町に誕生した「イレブン」ビルは、その名の通り11階建を、わずか4本のGコラムで支えています。〈細く〉〈強い〉Gコラムを、万博のプランに、ぜひご考慮ください。

主な納入実績

近鉄トラック・ターミナル	(株)大阪建築事務所
福岡交通センタービル	日建設計工務(株)
岐阜県庁舎	日建設計工務(株)
東洋陶器(株)茅ケ崎工場	三菱地所(株)
名鉄バスターミナル	日建設計工務(株)
長堀ビル	住友建設(株)
神田東海ビル	日建設計工務(株)
ホテルエコーオオサカ	(株)田中・小西建築事務所
東京コルト自動車ビル	上田設計(株)
尼崎中央卸売市場	日建設計工務(株)
大阪地下鉄3号線ホーム支柱	大阪市交通局
新大阪駅支柱	日本国有鉄道
東京地下鉄5号線ホーム支柱	帝都高速度交通営団
東京赤坂見付高速道路支柱	首都高速道路公団

Gコラム

クボタ

国つくりから米つくりまで

㊇久保田鉄工

お問い合せは
鋳鋼営業部へ
大阪・電631-1121
東京・電272-1111
福岡・電 74-6731
札幌・電 22-8271
名古屋・電563-1511
広島・電 21-0901
仙台・電 25-8151
室蘭・電 4-3585

CANVAS

考え方のワクを破る



テントは、これまで「一時的なもの、間に合わせ的なもの、小規模なもの」と一般に考えられてきましたが、太陽工業はこの考え方のワクを破りました。
私達は、キヤンバスの適切大胆な活用によって、博覧会場、野外演劇場、アイス・ホッケー場などの建築物を、経済的に、しかも美しいデザインで建設することができます。
資料の御要求を載れば直に御届け致します。下記東京の（社長室）宛御通知下さい

太陽工業株式会社

東京都目黒区上目黒７－1001　ＴＥＬ　東京（711)2111(代)
大阪市大正区泉尾竹之町１－36　ＴＥＬ　大阪（551)6161(代)
名古屋市外　西枇杷島町泉町78　ＴＥＬ名古屋（531)2541(代)
福岡出張所　電（75）3604．7902／仙台出張所　電（25）4095

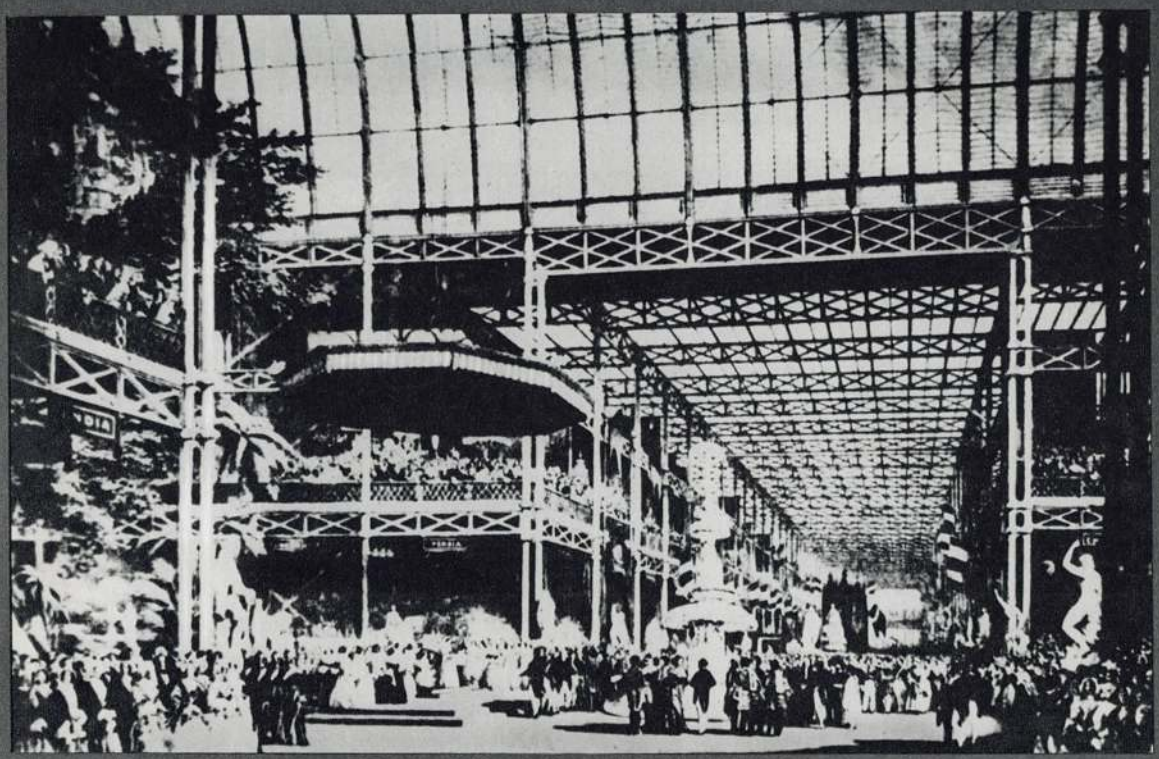
万国博アルバム



1851年　ロンドン万国博覧会
1853年　ニューヨーク万国博覧会
1855年　パリ万国博覧会
1862年　ロンドン万国博覧会
1867年　パリ万国博覧会
1873年　オーストリア・ウイーン万国博覧会
1876年　フィラデルフィア万国博覧会
1878年　パリ万国博覧会
1885年　アントワープ万国博覧会
1889年　パリ万国博覧会
1893年　シカゴ・コロンビア万国博覧会
1894年　アントワープ万国博覧会
1900年　パリ万国博覧会
1904年　セント・ルイス万国博覧会
1915年　パナマ・パシフィック万国博覧会
1926年　フィラデルフィア万国博覧会
1933年　シカゴ万国博覧会
1935年　ブラッセル万国博覧会
1937年　パリ万国博覧会
1939年　ニューヨーク万国博覧会
1939年　サンフランシスコ万国博覧会
1940年　日本万国博覧会（中止）
1942年　ローマ万国博覧会
1958年　ブラッセル万国博覧会
1967年　カナダ・モントリオール万国博覧会（予定）
1970年　日本万国博覧会（予定）

日本万国博に期待する

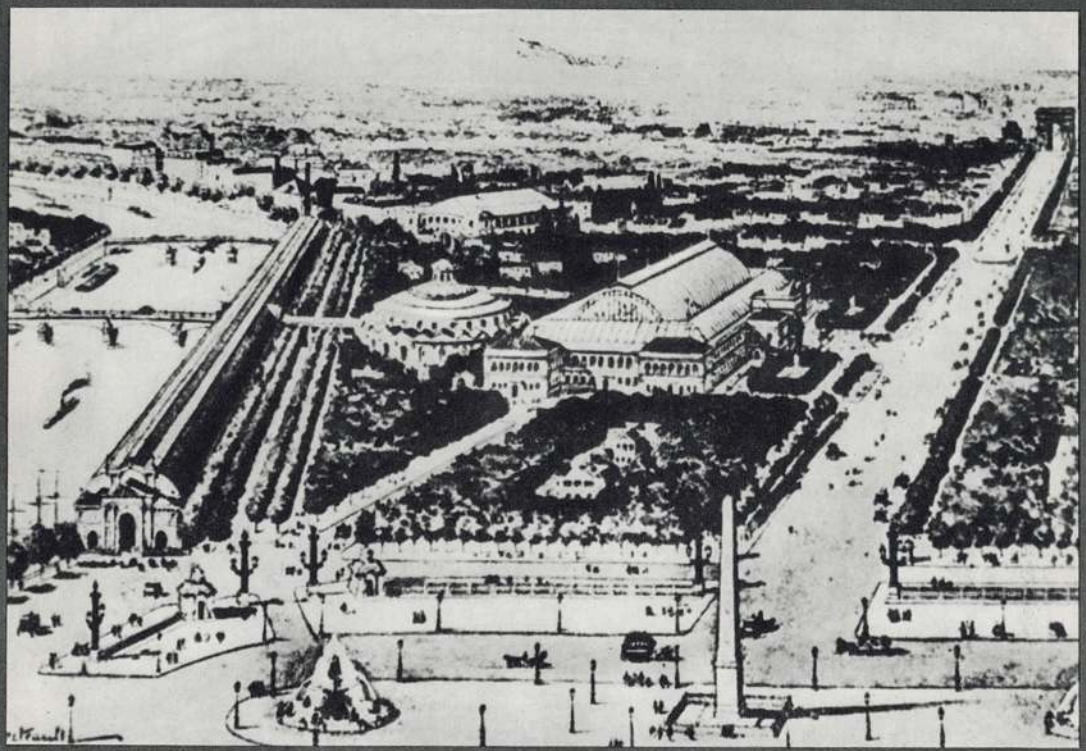
"建築と社会"の印刷を担当する
研　文　社



1851年　ロンドン万国博

浅沼組

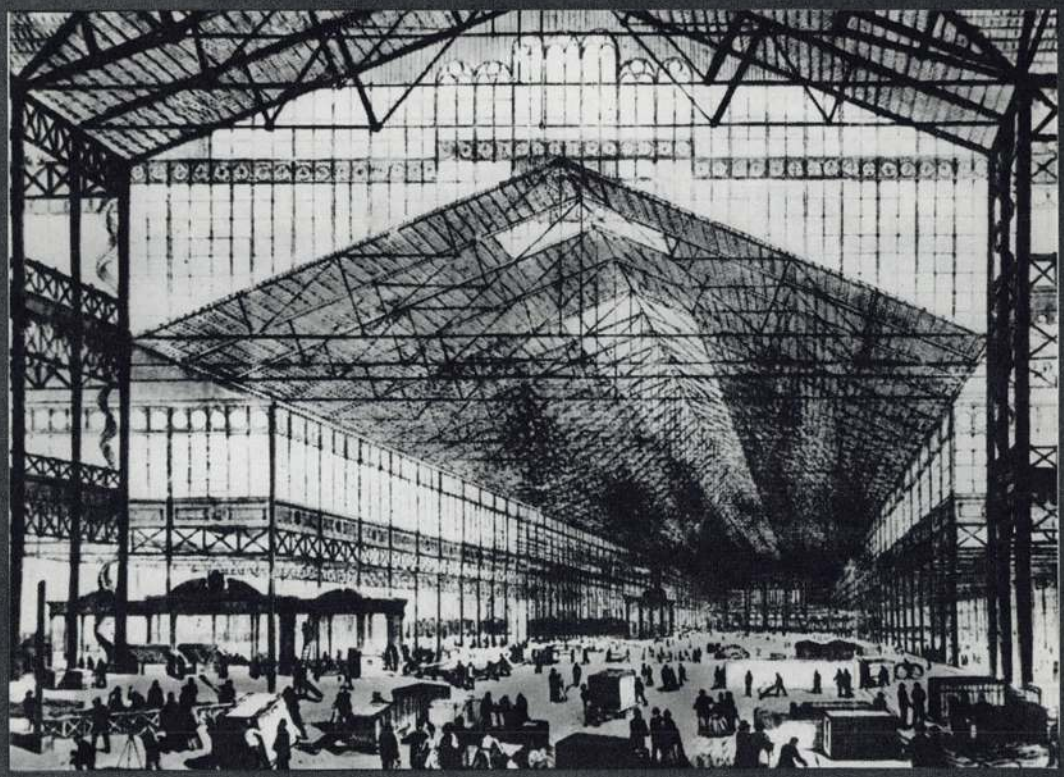
日本万国博に期待する



1855年　パリ万国博

日本万国博に期待する

大林組

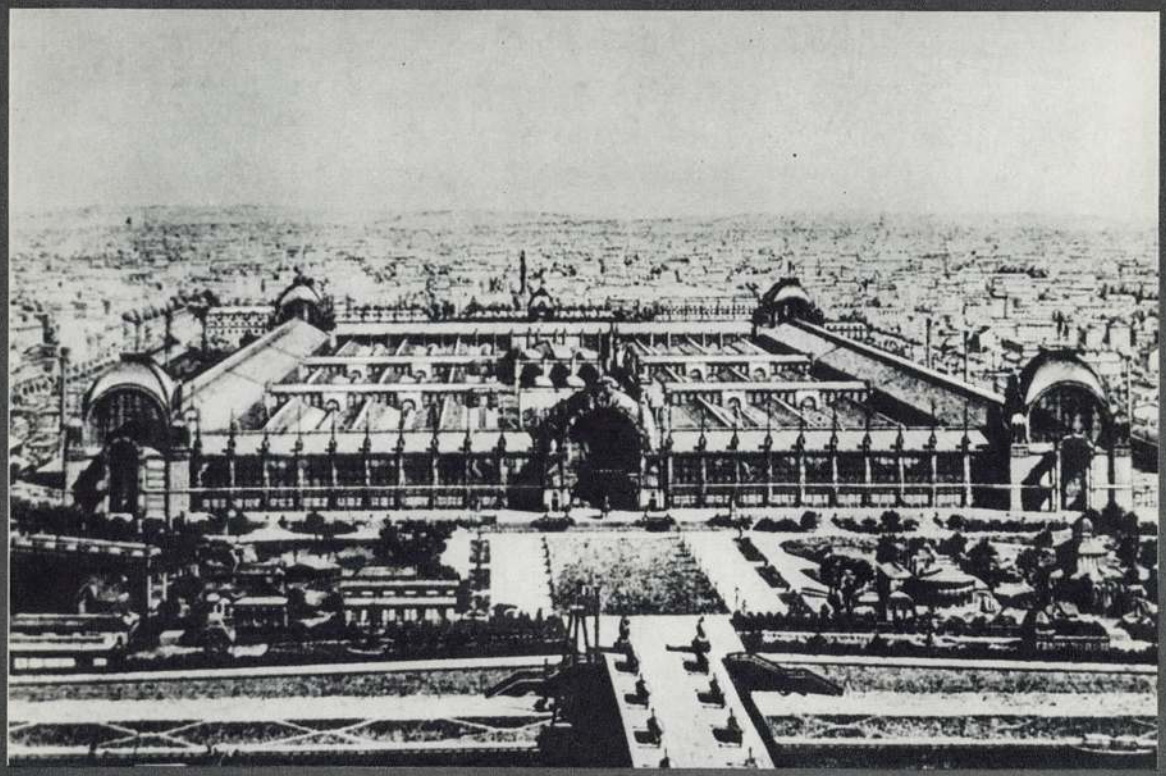


1876年　フィラデルフィア万国博

（アメリカ独立100年記念）

奥村組

日本万国博に期待する

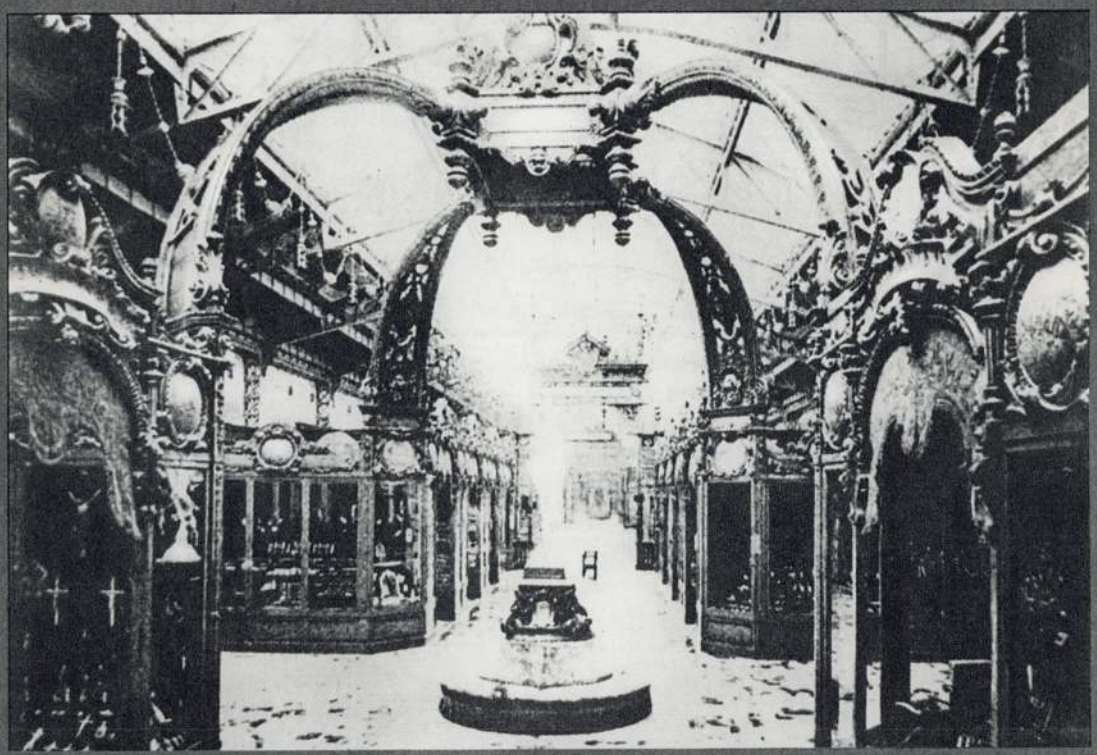


1878年　パリ万国博

（テーマ「平和」）

日本万国博に期待する

鹿島建設

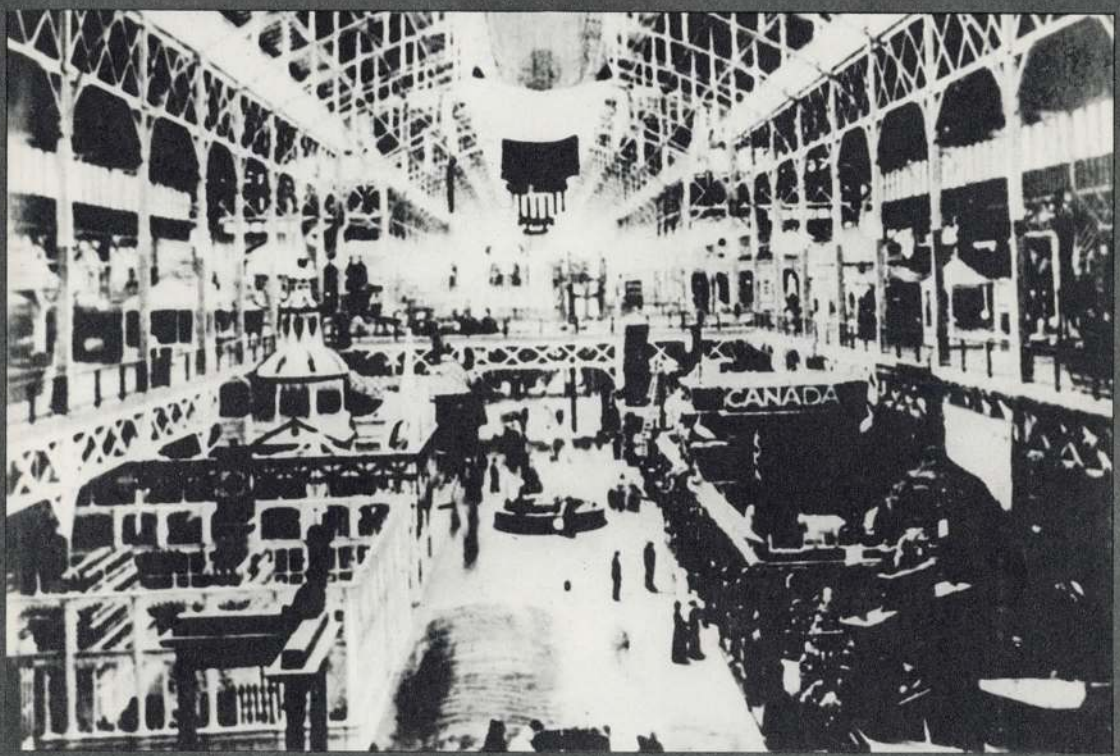


1889年　パリ万国博覧会

（フランス革命100年祭）

鴻池組

日本万国博に期待する



1893年　シカゴ・コロンビア万国博覧会

日本万国博に期待する

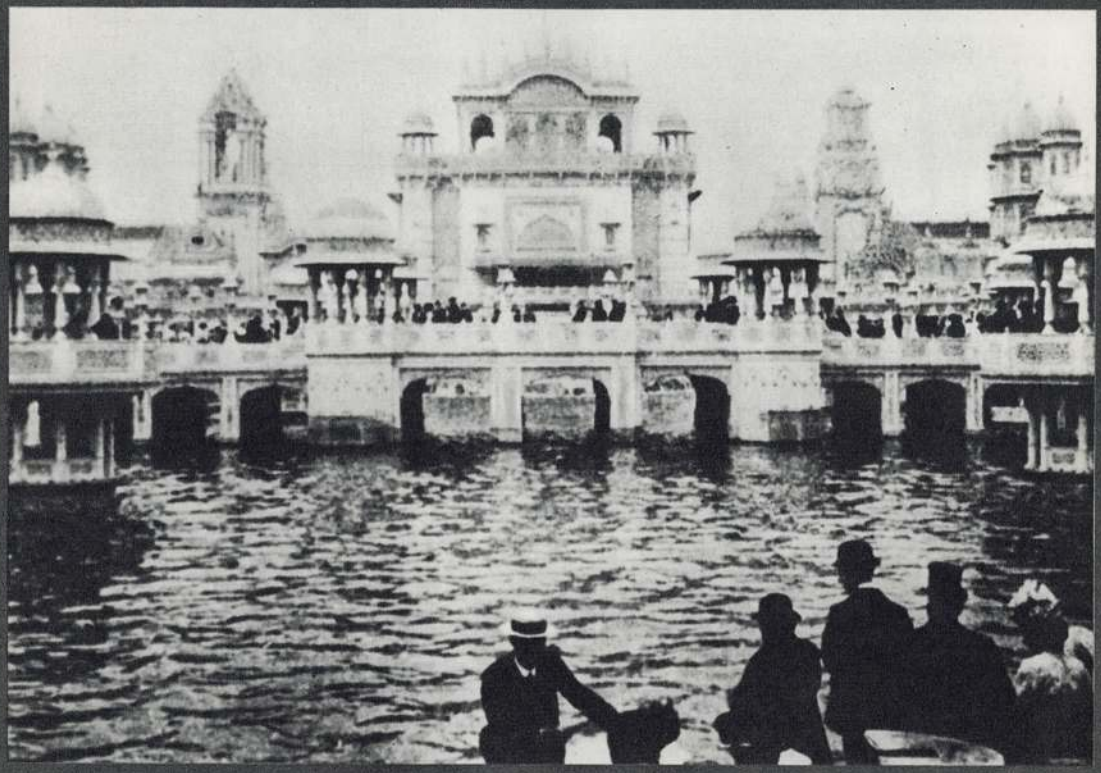
清水建設



1904年　セント・ルイス万国博

錢高組

日本万国博に期待する



1915年　パナマ・パシフィック万国博

日本万国博に期待する

竹中工務店

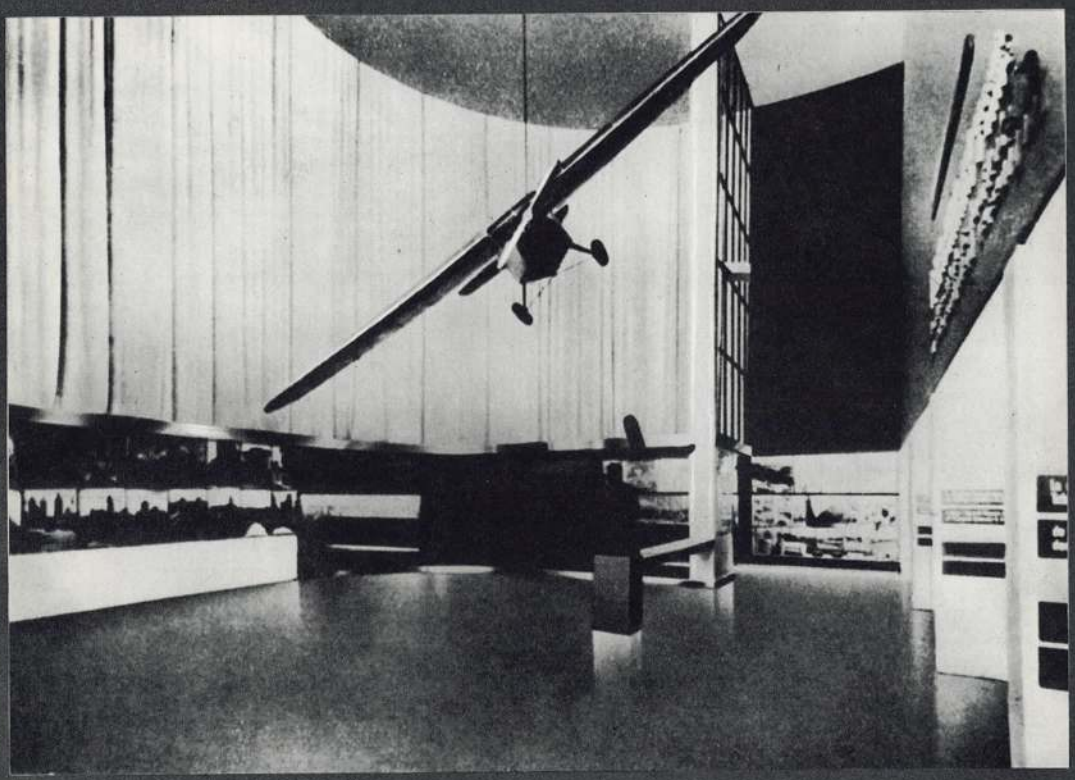


1933年　シカゴ万国博

（シカゴ創建100年記念）
（テーマ　「進歩の一世紀」）

戸田建設

日本万国博に期待する

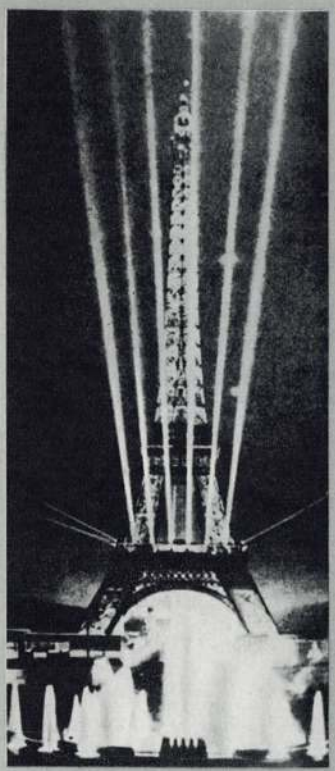


1935年　ブラッセル万国博

（コンゴ独立国建国50年記念）
（テーマ「民族を通じての平和と一致」）

日本万国博に期待する

西松建設

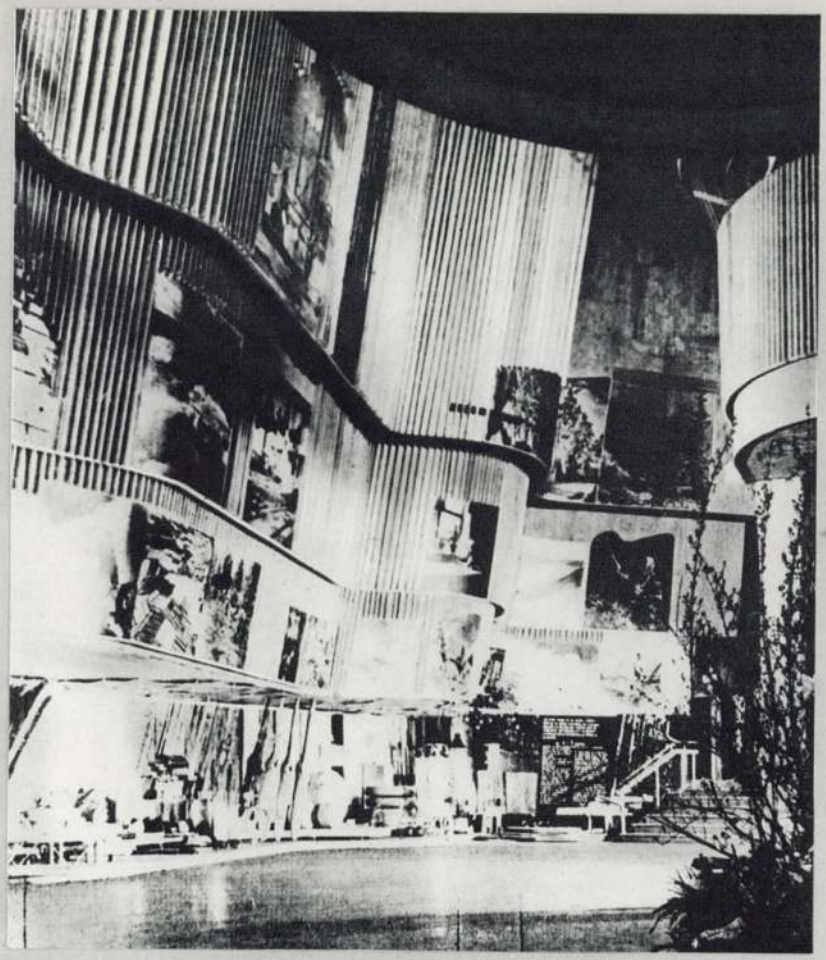




ゲルニカ：ピカソ

1937年　パリ万国博

（テーマ「近代生活における芸術と技術」）



1939年　ニューヨーク万国博覧会

（ジョージ・ワシントン初代大統領選挙150年記念）
（テーマ「明日の世界を建設する」）

日本万国博に期待する

藤木工務店



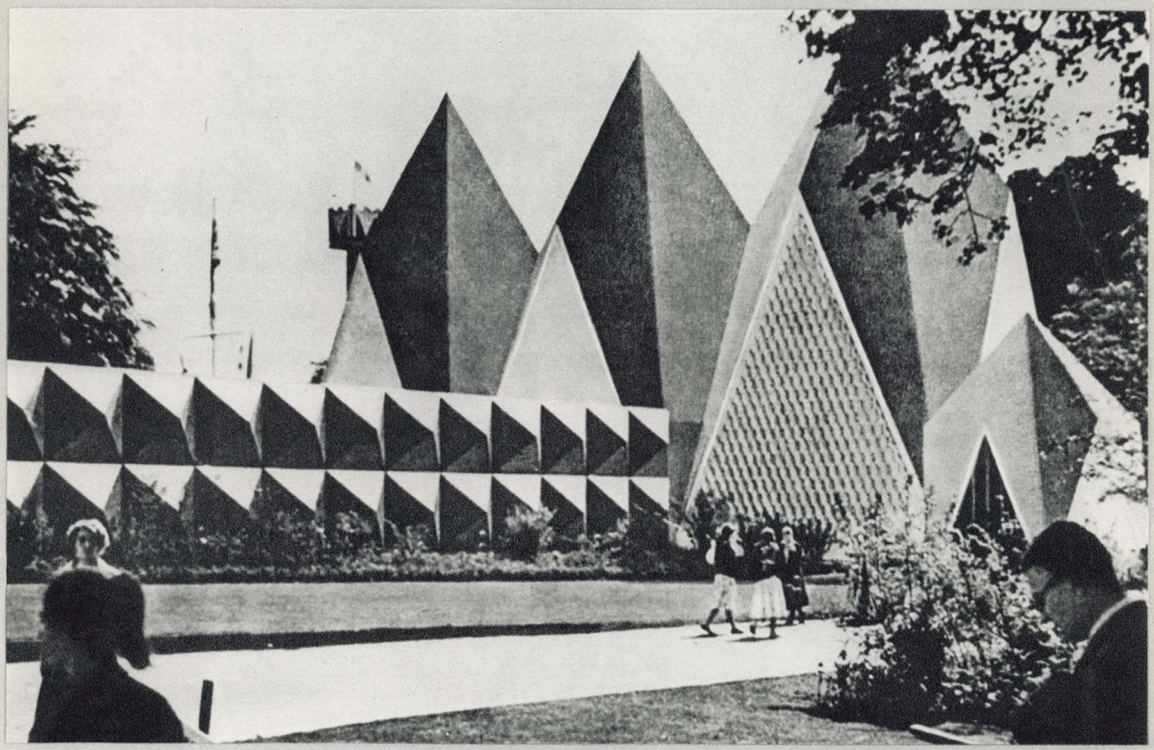
1939年　サンフランシスコ万国博

（ゴールデンゲイト完成記念）
（テーマ「デモクラシーの栄光」）

未来をひらく

藤　田　組

日本万国博に期待する



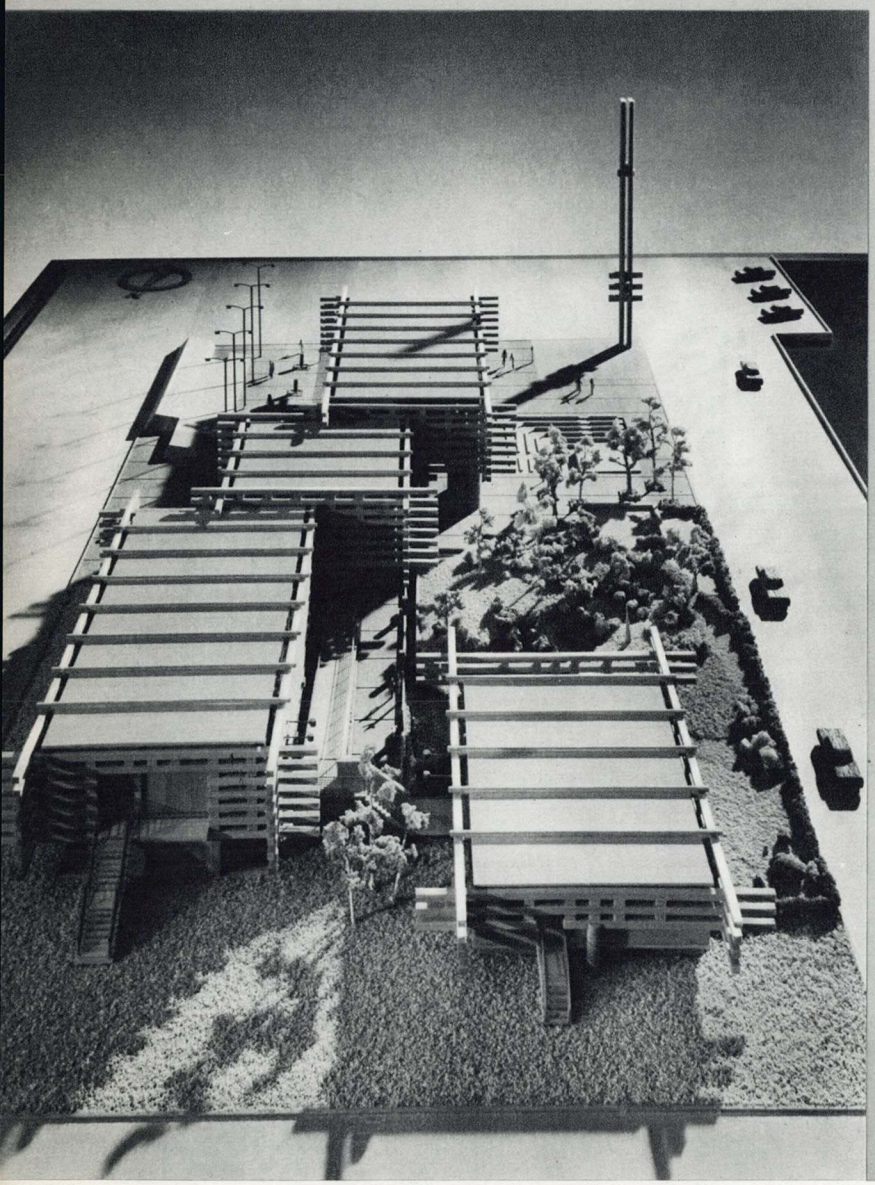
ブリタニカ館

1958年　ブラッセル万国博

（テーマ　「科学文明とヒューマニズム」）

日本万国博に期待する

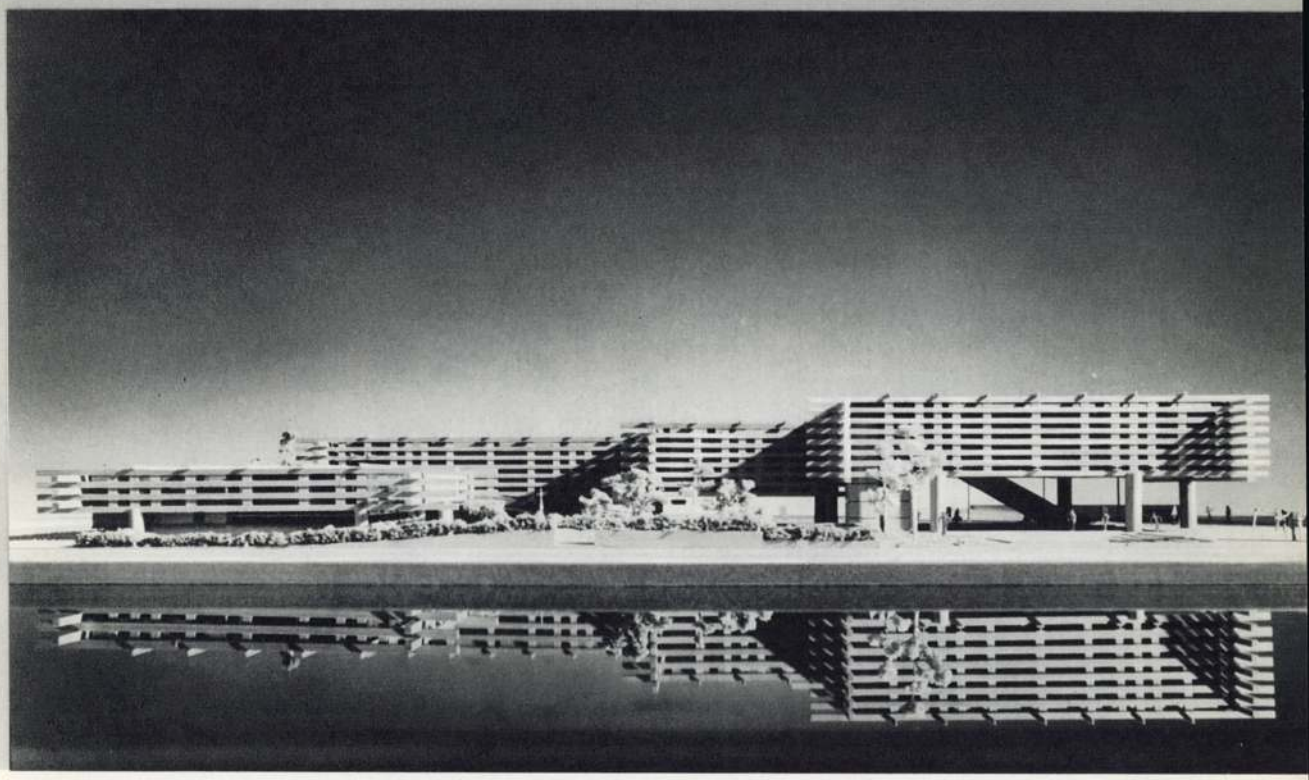
松村組



工事場所	Lot No. 3100　Ile Verte, Montreal, Canada
設計・監理	声原義信建築設計研究所
施　　工	大成建設株式会社 Janin Construction Ltd., Canada
建物概要	P.S コンクリート，鉄骨鉄筋コンクリート造 展示棟　2階建　　1棟 レストラン棟　平家建　1棟
敷地面積	58,650ft² (5,448m²)
建築延面積	27,007ft² (2,509m²)
工　　期	昭和41年2月1日～昭和42年4月28日

カナダ・モントリオール万国博覧会日本館

THE JAPANESE PAVILION FOR THE 1967 WORLD EXHIBITION IN MONTREAL



日本万国博に期待する

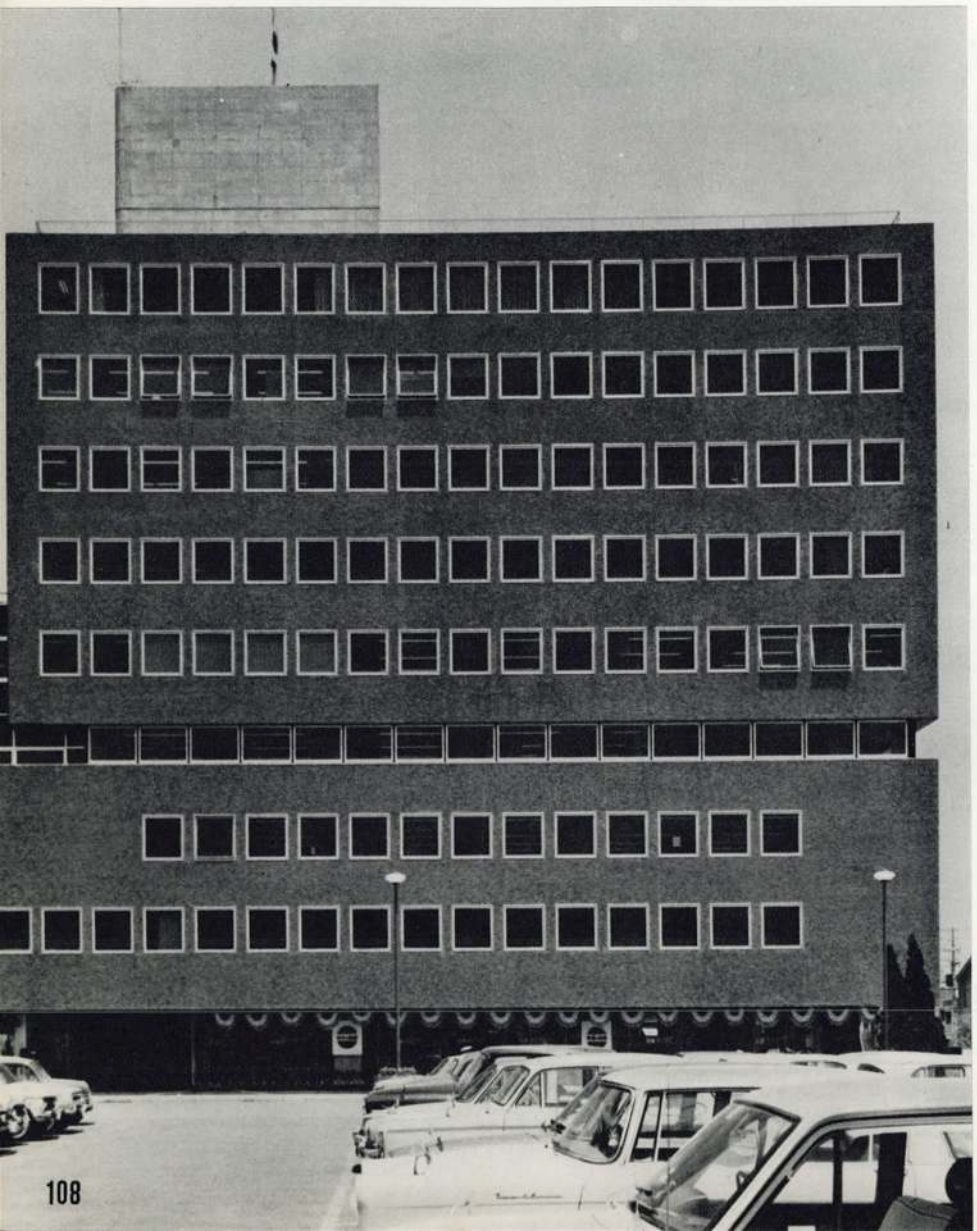
大成建設

朝日放送本社

特殊小口平

製造 有田タイル株式会社

施工 藤本タイル株式会社



朝日放送本社

天井　岩綿不燃吸音板

三星ロックスター使用（事務棟全館）

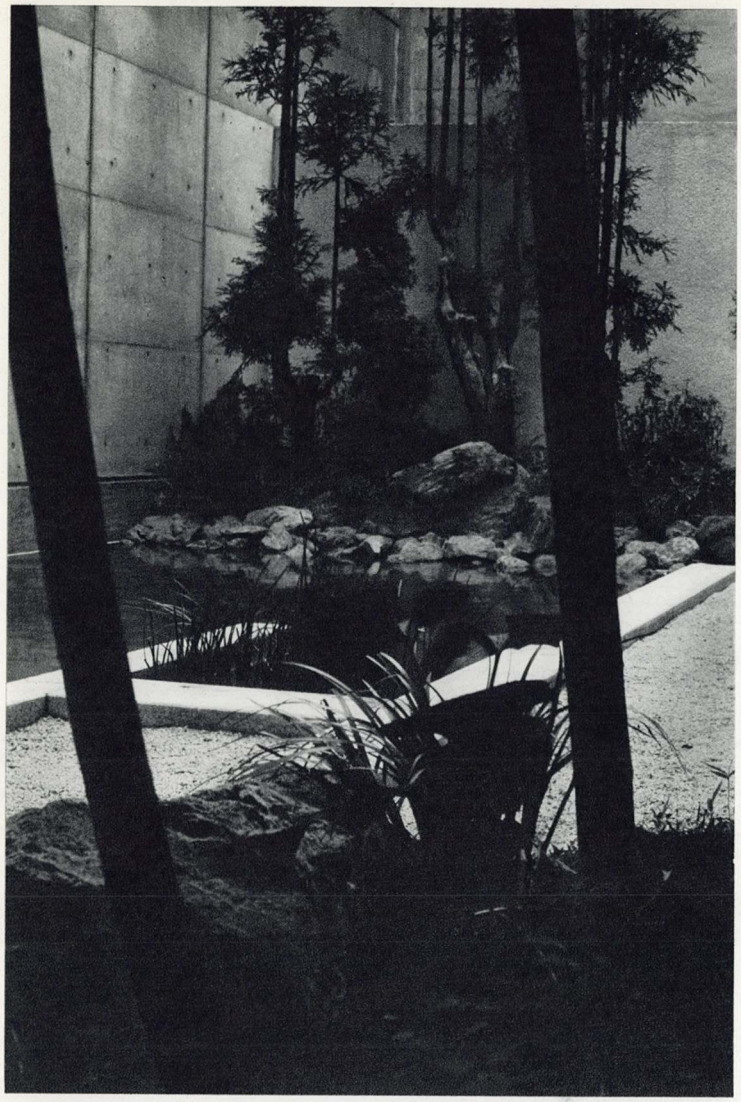
寸法　303㎜×606㎜



田島応用化工株式会社

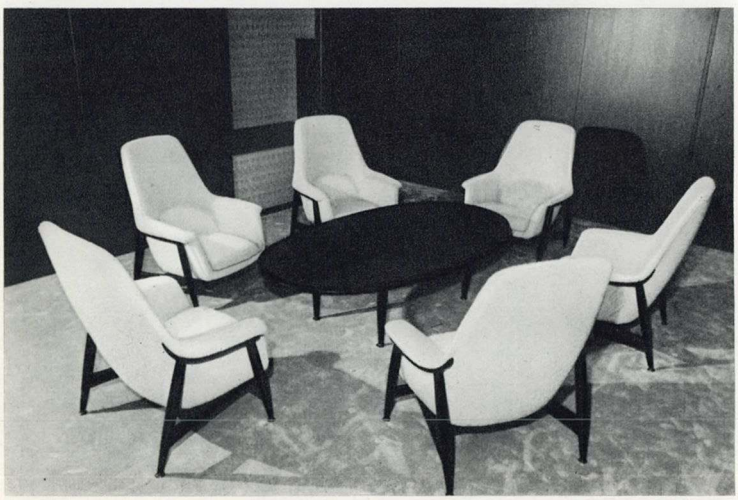
大阪/大阪市西区京町堀１の74　電話（441）5951代

朝日放送本社



造園工事

株式会社 三 芳 園



家　具

株式会社 高 島 屋

第10回「アンコール・ワットの内部空間と外部空間」

日　時　昭和40年9月29日　　会　場　日本建築協会集会室
ゲスト　坂倉準三建築研究所大阪支所　支所長　**西沢文隆**

「若い会員の集い」の今回は，西沢文隆氏をゲストとしてお迎えした。氏は，現在関西にあって，最も活発に仕事をしておられる建築家の一人であると同時に，「コート・ハウス論」以来，建築の内部空間と，外部空間について，特に両者の相互関係について，ユニークな論文を発表しておられる。今回は，氏が最近アンコール・ワットへ旅行されたさいのスライドを，拝見しつつ「アンコール・ワットの内部空間と，外部空間について」というテーマで，いろいろとお話しをうかがうことにした。

何はさておき，アンコール・ワットの建築群が，私達に，かたりかけてくるのは，第一に，あの凝結されたような，強烈なエネルギーである。同じ石造でも，ここにはピラミッドや，マヤの神殿に，見られるような安定感はない。それは，今にもくずれてきそうな，トップ・ヘビィの造形である。そうして，その背景には，マルロオの「王道」の世界がある。にもかかわらず，建築史が私たちに教えてくれるのは，たいくつで，無味乾燥な，石の様式についてでしかありえない。氏のお話は，生き生きとしていた。そこには，アンコールを造った時代の人々の生活があった。そうして，アンコールを，孤独な建物としてではなく，当時の都市のインフラ・ストラクチュアーの一環として私達にかたりかけられた。

空から眺めたカンボジヤの，山や河のスライドや，アンコール・ワット，アンコール・トムの図版のスライドなどもまじえて，100枚以上のスライドで，ていねいに話しを進められたが，中ば頃から，司会者がひそかに期待していたように，質問が，説明の間にだんだんとふえてきて，いかにもフリー・トーキングらしい会の進行になった。おかげで，スライドが終る頃には，話題は，アンコールの，建築群を造った社会的な，民族的なエネルギーの問題，つまり，アンコール・ワットの建築以前の問題についてと，アンコール・ワットの空間性についてとのふたつに集約された。

前者については，紙面の都合上，ここで，その詳細にふれることはできないが，何しろ若い建築家の集いのこととて，迷論，珍説続出で，非常に愉快な，ディスカッションが展開された。あまり，建築々々といわずに，若い会員の集いなどでは，もう少しこの種のティーチ・インが，活発におこなわれてもよいのではないか，と思ったしだいである。

アンコール・ワットの空間性については，外部空間のダイナミックな美くしさと，建物と塔の間に構成される準内部空間ともいうべき空間や，回廊と，塔との関連で組み立てられている内部空間が，実に，ヒューマンなスケールを，基本として，造られていること，だからこそあの外観のダイナミックな空間が，よりいっそうひきたって見えることなどについて，実例を上げつつ，説明がおこなわれた。私達にとって，やや，意外だったのは一見戦艦の司令塔を思わせるような，アンコールの建築群に，実は，平面的な空間の広がりのあること，テラス（基段），各種の池といったものが，この建築群の中で，重要なファクターとなっていることだった。意外さのせいでか，後半話しは，もっぱらこの点に，集中され，マヤの神殿や，中国の宮殿，神殿にみられる基段との比較，さらには，ウッツオン氏のシドニーのオペラハウスを始めとする一連のプラットフォームの建築や，アメリカで，アーバン・リハビリテーションの一環として，チエーズ・マンハッタン・バンクや，シーグラム・ビル等々で，積極的に取り入れられている基段（プラツッア）など，現在の建築の方法への影響といった風に，基段をめぐって，話しは，次々に展開していった。

あえて，アンコール・ワットとはいわない。ボロブドールでもよい，これら一連の東南アジアの建築群は，私達に，力強く，何かを，かたりかけている。そうして私達も，そこから確実に何かを，感じ取っているのだが，いまのところ，この方面に対する私達の知識は，まったく貧しいかぎりであり，ばらばらである。既せいの言葉を使っていえば，西洋建築史とは，違った意味で，私達は，もう少し東洋建築史を大切にしなければいけないのではなかろうか。

最後に「何といっても，民族的なバイタリティですね。本当に，デテイル等は，ふっとんでしまうという言葉がぴったりですね。これにくらべると，ゴシックなんかはひょろひょろですし，ロマンも今一つ力強さにかけますね。」といわれた氏の言葉で，このルポルタージュの締めくくりとさせていただきたい。

（文責　太田隆信）

技術の頁 48 目録

本号の技術の頁は，「プラスチックを主とした床材」（日本建築協会建材委員会担当）を収録する予定でしたが，都合で来月号に回すことにしましたので，本号は，今までの技術の頁の総目録を示して，皆さまの参考に供することにしました。

技術の頁一覧表（昭和38年1月号～41年7月号）

	号	部門	テーマ	執筆者
	昭和38年			
1	1月号	施工	物を吊り上げる機械	篠田駿二
2	1月号	構造	超高層建築について	金多潔
3	2月号	設備	設備機械室の広さについて	高橋誠義
4	2月号	施工	「くい」について	近藤幸雄
5	3月号	設備	事務所建築における空調設備の方式	三村胖
6	4月号	施工	切梁材のない地下工法	金田宏
7	4月号	構造	大型鋼管を用いた高層建築の柱	山田稔
8	5月号	構造	▽形トラスの数例について	大野勝三郎
9	6月号	施工	放射線と遮蔽	吉田繁
10	7月号	原論	壁面展示室の採光	伊藤克三
11	8月号	材料	アルミニウム建材の採色	園倉栄
12	8月号	原論	遮蔽係数（Shade Factor）について	松浦邦男
13	9月号	材料	防火塗料	南誠佑
14	10月号	原論	大気汚染防止のためのガス排出の制御	（技術の頁小委）
15	11月号	構造	最近の軽量鉄骨建築	椋代仁朗
16	12月号	材料	人工軽量骨材コンクリート	奥島正一
	昭和39年			
17	1月号	構造	「ジョイントの近代化」のために	鷲尾健三
18	2月号	原論	大気汚染防止のための粉塵排出の制御	（技術の頁小委）
19	3月号	構造	土質と基礎の形式―基礎の設計の考え方―	小泉昇
20	4月号	原論	ホテルの騒音制御	前川純一
21	5月号	積算	見積りの合理化・能率化への諸問題	天池嘉平治
22	6月号	施工	全熔接工法	山下虎太郎
23	7月号	原論	日当りの早見図表	伊藤克三
24	8月号	原論	ガスのカロリーアップによせて	大貫啓嗣
25	9月号	原論	共同住宅の採光規準	松浦邦男
26	10月号	原論	熱伝導率の現場測定	金谷英一
27	11月号	構造	異形鉄筋のガス圧接について	鈴木豊明
28	12月号	原論	輻射測定とストーブの性能	上林博雄
	昭和40年			
29	1月号	施工	雨仕舞について	笠原正幸
30	2月号	原論	地下鉄の温湿度測定について	赤松義夫
31	3月号	原論	蓄熱式熱回収ヒートポンプサイクルについて	中原信生
32	4月号	施工材料	コンクリートのワーカビリチー	福島正人
33	5月号	設備	空気―水ヒートポンプの一実例	中山春樹
34	6月号	原論	熱環境とオリエンテーション	金谷英一
35	7月号	構造	鉄骨のジョイントの形式	山田稔
36	8月号	施工	最近の施工用機械の紹介	依田潔
37	9月号	材料	最近の左官材料・モルタル混和材について	山田幸一
38	10月号	環境	環境音楽（Planned Music）	秋田正克
39	11月号	材料	ポリサルファイド（チオコール）コーキング	建材委員会
40	12月号	設備	空調用冷凍機の温度調節装置について	荏原製作所技術課
	昭和41年			
41	1月号	材料	コンクリートの亀裂と硬化乾燥収縮	下鳥正孝
42	2月号	材料	耐摩耗のモルタル床について	樋口倶一
43	3月号	設備	ビル建築のモジュール化と螢光灯照明器具	富本恭弘
44	4月号	材料	BORED LOCK（ボアドロック）の構造	鈴木直
45	5月号	設備	ガス器具の排気について	後藤宏造
46	6月号	構造	高力ボルト	脇山広三
47	7月号	環境工学	吸熱ガラスの透過光の演色性	中根芳一

日本建築協会月間の動き(6月分)

通常総会

28日　3時半～4時半　於会館集会室
出席者　東畑，塚本正副会長ほか11名
議事 (1) 昭和40年度事業報告承認の件
(2) 昭和40年度収支決算承認の件
(3) 昭和41年度収支予算承認の件

定時評議員会

28日　3時～3時半　於会館集会室
出席者　評議員　森川副議長ほか8名
委任状64名　計73名
理事　東畑，塚本正副会長ほか2理事
議事 (1) 昭和40年度事業報告承認の件
(2) 昭和40年度収支決算承認の件
(3) 理事1名補選の件

評議員懇談会(技術部門)

21日　5時半—7時　於会館集会室
出席者　森川評議員会副議長ほか5評議員
技術部門選出理事1名（補選）候補者推せんに関して懇談

理事会

9日　4時～6時半　於会館集会室
出席者　東畑，鷲尾正副会長ほか9理事　海上監事
議事 (1) 定時評議員会開催の件
(2) 通常総会開催の件
(3) 理事1名選任の件（補選）
(4) 昭和40年度事業報告承認の件
(5) 第3回よろづ相談住宅展開催の件
(6) 創立50周年記念事業特別委員会設置の件
(7) 事務局職員上期賞与支給の件
(8) 図書編集助手採用の件
(9) 後援名義使用承認の件
(10) 市大に保管中の協会所有図書の件
(11) 会勢委員会設置の件
(12) 入会金免除の件
(13) 入退会者承認の件
(14) 報告事項

主計理事会
9日　6時半～7時　於会館集会室
出席者　田中，伴，田中（政）主計理事
事務局職員上期賞与査定

編集委員会

青年建築家特集選衡委員会
第2回作品作風小委員会
1日　5時—10時　於会館集会室
出席者　長谷川委員長，田中主査ほか5名
1. すいせんされた14名の青年建築家の資料原稿を検討し，掲載方法を決めた。（7月号の第13回青年建築家特集に収録）
2. 7月号・8月号の作品作風について協議した。

表紙デザイン小委員会
3日　正午—2時　於会館集会室
出席者　好川，深谷，菅谷ほか2名
6月号および今後の表紙のデザインについて協議した。

第3回作品作風小委員会
6日　正午—2時　於会館集会室
出席者　田中主査ほか7名
7月号の作品作風のレイアウトおよび8月号の作品選定。

「現代の作風」特集幹事会
8日　3時—7時　於会館会議室
出席者　長谷川委員長，猪沢幹事ほか5名
現代の作風特集企画（テーマ執筆者選定）について協議

委員会
10日　4時—7時半　於会館集会室
出席者　長谷川委員長ほか7名


●特許吹付タイル・内装外装用化粧材 セラスキン
●建造物の外壁面に〃陶器の壁紙 セラクロス
●建造物の内外部に〃陶器の塗料 セラコート
山本窯業化工株式会社
大阪市東淀川区西淡路町3－176　TEL (322) 4851～4
東京出張所・東京都港区西新橋2－21－6　TEL (431) 7106～7
瀬戸工場・愛知県瀬戸市大字山口字南山138　TEL (82) 8847

議事　1. 経過報告
第13回青年建築家特集，造園特集，地下工法特集
2. 青年建築家特集選衡委員会・作品作風小委員会の報告
3. 広告改善の件
4. 日本万国博会場計画特集の件
（これを8月号にとりあげる）
5. 現代の作風特集の幹事会案審議
6. 50周年記念号（昭和42年3月号）の件
7. その他（ニュース欄，合本ファイル）

万博会場計画特集幹事会
13日　4時―8時　於会館集会室
出席者　上田特別幹事ほか2名
急拠8月号にとりあげることになった「万博会場計画」特集の内容について協議した。

レタリング小委員会
16日　正午―2時　於会館会議室
出席者　松田委員ほか3名
レタリングのとりあげ方について協議

最近の地下工法座談会
17日　2時―5時　於会館集会室
出席者　丹羽氏ほか6名
司会　上田委員，安井委員
10月号の「地下工法特集」号用の企画のひとつとして，新進施工技術者によるメンバーで，最近の地下工法の苦心談，改良すべき目標，現場から設計への注文，20年後の夢などについて語ってもらった。

第4回作品作風小委員会
21日　正午―2時　於会館会議室
出席者　田中主査ほか6名
レイアウトについて協議

出版委員会

意匠計画部会
2日　5時―8時　於会館集会室
出席者　長沢部会長ほか4委員
議事　(1) 建築選書の企画検討
(2) 新しい図書企画検討

新鉄骨構造計算と実例原稿調整会
3日　正午―5時　於会館集会室
出席者　木田・宮川幹事，森田委員
木田・宮川幹事，森田委員作成原稿の調整

新鉄骨構造計算と実例編集委員会
3日　5時半―8時30分　於会館集会室
出席者　鷲尾委員長，木田・宮川幹事，ほか7委員
・図書名を『鉄骨のデザイン―実例と考え方』に改称
・出版経費・工程など審議

新鉄骨構造計算と実例原稿調整会
10日　正午―5時30分
於会館集会室・竹中工務店本社
出席者　木田・宮川幹事，若林・倉石委員
若林・倉石委員作成原稿の調整

基礎工法と実例編集委員会
22日　6時―11時　於会館集会室
出席者　山肩委員長，ほか6委員
(1) 原稿検討作業要項の検討
(2) 谷口氏執筆原稿の検討
(3) その他

構造部会
23日　5時半―8時　於会館会議室
出席者　石崎部会長ほか6委員
(1) 特殊構造実例集の企画は再検討
(2) 建築選書の企画検討
(3) 新しい構造関係図書の企画検討

新鉄骨構造計算と実例特別資料打合会
23日　3時―5時　於はま忠
出席者　鷲尾委員長，木田・宮川幹事，鉄構会社8委員
特別資料原稿検討

設備原論部会
24日　5時半―8時　於会館集会室
出席者　田中委員長，清水部会長代理ほか2委員代理
(1) 建築選書の企画検討
(2) 建物と設備の保全改訂企画検討

事業委員会

各種説明会打合会
2日　正午―2時　於会館集会室
出席者　藤沢副委員長，松村幹事ほか4委員
(1) 建設資材データシート検討
(2) 第1回～第3回説明会企画検討

各種説明会分科会
7日　正午―2時　於会館集会室
出席者　松村幹事ほか3委員
・「防水工法と実例」を第2回に引続き企画および

✳特許
小俣式
防火シャッター全般
●設計
●製作
●施工
小俣シヤッター工業株式会社
大阪支店
大阪市北区若松町30　電話（364）9004．9016．4825
本社　東京都北区田端町　事務所及本工場　埼玉県与野市

第3回説明会テーマ「新しい外装材と工法」の企画について協議

建設資料データシート打合会

11日　正午―3時　於会館集会室・新工務所
出席者　藤沢副委員長，松村幹事
企画内容とこんごの進め方を協議した後増井事業委員長に企画内容の報告をした

委員会

14日　5時―8時　於太閤園
出席者　増井・岡本・政岡・窪田・藤沢・尾亀正副委員長金子・松村・星野・村島幹事ほか12委員
議事　(1) 夏の会員懇親会の企画について
(2) (仮称) 建設資材データシートの編集企画について
(3) 各種説明会の企画について
(4) 若い会員の集いの企画について
(5) 7月―9月の事業企画について
(6) その他

講演映画小委員会

15日　正午―2時　於会館集会室
出席者　村島幹事ほか4委員
・建築法規の研究と討論会の企画内容を討議

見学会小委員会

16日　5時半―8時　於会館集会室
出席者　中出副委員長，金子幹事ほか4委員
・他の建築団体との共催見学会は従来通りとする
・本会独自な見学会を活発に実施する。など決定

若い会員の集い小委員会

20日　6時―8時　於会館集会室
出席者　窪田副委員長，能勢幹事ほか5委員
議事　(1) 第2回事業企画の「大阪府青少年野外活動センターを見る会」
(2) 第3回以降の事業企画について

各種説明会小委員会

21日　正午―2時　於会館集会室
出席者　藤沢副委員長，松村幹事ほか5委員
議事　(1) 各種説明会の企画について
(2) 建設資材データシート出版企画について

建築法規研究と討論会打合会

29日　正午―2時半　於会館集会室
出席者　竹口市係長，吉仲府係長，政岡副委員長，松村幹事ほか4委員
・企画内容についての協議

防水工法と実例第2回説明会打合会

30日　正午―2時　於会館集会室
出席者　松村幹事，ほか3委員，説明会社2社
「新しい防水工法と実例説明会」の企画について打合

教育委員会

現場教育小委会

7日　5時半―7時半　於会館集会室
出席者　谷口幹事ほか3委員
議事　(1) 現場実務講習会について
(2) 中堅技術者講習会企画検討
(3) 主任技術者講習会企画検討

工高教育小委員会

8日　3時―5時　於会館役員室
出席者　篠原幹事，ほか4委員
議事　(1) 第12回工高生デザインコンクール募集規定（設計課題）について
(2) 現場実習指導要項について

工高生デザインコンクール募集規定作成委員会

16日　正午―2時半　於会館集会室
出席者　薬袋審査員ほか6審査員
篠原幹事，ほか4委員
デザインコンクール募集規定作成について協議

住宅委員会

住宅展小委員会

10日　5時半―9時半　於会館会議室
出席者　岡橋・黒谷正副委員長ほか7委員
住宅展の会場設計その他について協議

委員会

15日　5時半―9時　於会館集会室
出席者　黒谷・野々村両副委員長ほか20委員
住宅展について協議

住宅展小委員会

25日　1時―3時　於会館集会室
出席者　黒谷副委員長ほか4委員
住宅展の諸準備について打合

住宅展出展業者打合会

28日　2時―4時半　於阪神百貨店7階
出席者（協会側）岡橋・黒谷正副委員長ほか4委員
（出展者）48社（阪神5名）

法規委員会

委員会



22日　3時—5時　於会館集会室
出席者　佐野委員長ほか12委員
議事　1. 建築法規の研究と討論の会の件
1. 建築行政の問題点
（基準法改正問題，違反建築問題等々）
1. その他

建材委員会

委員会

24日　3時—5時　於会館集会室
出席者　政岡委員長ほか12委員　エバレヂン　2名
鐘淵実業2名
（化学防水の検討）第1回

創立50周年記念事業打合会

7日　10時—正午　於会館集会室
出席者　塚本，竹中（代理神谷）両副会長
特別委員会の構成，記念事業，予算案等について打合

会勢委員会

23日　5時半—8時　於会館集会室
出席者　鷲尾・岩崎正副委員長ほか10委員
会勢拡張について意見交換を行ない，毎月第1，第3土曜日に委員会を開催することに決定

見学会

甲南大学体育館見学会
設計　株式会社　東畑建築事務所
施工　株式会社　竹中工務店
25日　2時—4時半
参加者　25名

講習会

現場実務講習会
第14回　6月13日—18日　6日間
第15回　6月20日—25日　6日間
各日　午前9時—午後5時
会場　大阪科学技術センター4階
聴講者　第14回　127名
第15回　176名

13日	20日	建築工事の着工から竣工までの業務総論	大阪府営繕課　真宮　透氏
13日	20日	材料の検収とその管理	鴻池組　小室秀夫氏
13日	20日	地下工法	竹中工務店　木村住雄氏
13日 20日	14日 21日	土工事，基礎工事，排水工事	間組　渡辺　勇氏
14日	21日	労務管理と安全管理	鹿島建設支店　岸田成計氏
14日 21日	15日 22日	鉄骨工事，鉄筋工事，型わく工事，コンクリート工事	清水建設支店　安井　猛氏
15日	22日	仮設物と仮設材料	松村組　井上司郎氏
15日 22日	16日 23日	積算，木工事，屋根工事，サッシュ工事	鹿島建設支店　高橋　裕氏
16日	23日	施工計画	大成建設支店　森口徹弥氏
16日 23日	17日 24日	石工事，タイル工事，コンクリートブロック工事	藤木工務店　矢野豊作氏
17日	24日	工事機械と工器具類	大林組　依田　潔氏
17日 24日	18日 25日	防水工事，左官工事，塗装工事	銭高組　武藤蔦吉氏
18日	25日	現場に関する諸法規とその手続	大成建設支店　種村恒夫氏
18日	25日	現場製図	大林組　窪田　祐氏
18日	25日	設備工事	竹中工務店　玉田　健氏

建築6団体事務局長会議

22日　正午—2時　於日本建築学会近畿支部
出席者　建築協会岩崎参与ほか5名
共催事業その他について打合

大阪不燃都市促進協議会幹事会

2日　2時—5時　於大阪商工会議所
昭和40年度収支決算，事業報告，昭和41年度予算案の審議を行った。建築協会より福中事務局長出席



●たいへん塗りやすい。
●仕上りが美しい
●いつまでも美しい色を保ちます。
日本ペイント
〈SB系エマルション壁塗料〉
ビニレックス 7000

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話 大阪364 代表 0206～9

屋根浪板
谷樋には **大島化学のひふくてっぱんを**

固定式通風器 連続式換気装置にも

耐酸スタンダードメタル

カラースタンダードメタル

PATENT Standard

大島応用化学工業株式会社

本社 河内市新庄114番地　電話 大阪(782) 4171～3・6734～8
支店 新居浜・東京・名古屋・四日市・広島・富山

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地　電話大阪(371)1333番

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工
高砂熱学
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地
大阪支店　大阪市北区梅田8番地（新阪急ビル8階）
電話　大阪（312）4521（代表）

Carrier
空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工
東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店
大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
電話　大阪(344) 1512(大代)
本社　東京都中央区日本橋本石町4－2(三井第二別館)
支店　東京・名古屋　出張所　九州
工場　埼玉県北足立郡・東京都足立区

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工
株式会社 **大阪城口研究所**
取締役社長　城口庸平
大阪市北区高垣町一・電話大阪371局7151(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル電話京都56局4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸34局　5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工
大阪電気暖房株式会社
取締役社長　菅谷三郎
本店　大阪市西区江戸堀1－60　電話(441)8231 大代
支店　東京・名古屋・福岡
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本
札幌・仙台・新潟・富山・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
（旧斎藤久孝事務所）
斎久工業株式会社大阪支店
大阪市北区常安町11番地
電話　大阪（443）5041～5番
東京本社　東京都千代田区大手町2の8番地（日本ビル）
電話 東京（270）7411番（代表）
札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌㉒5756
金沢営業所　金沢市高岡町2番16号　電話 金沢㉑2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話 福井②2436
高松出張所　高松市二番丁九　電話 高松②5195
岡山出張所　岡山市大供松ノ本三八〇ノ一　電話 岡山㉔5486

創業　大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生
株式会社 **斎藤省三商店**
東京店　東京駅前丸ビル6階676区
電話 東京(201) 3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通　大同ビル616号
電話 大阪(443) 3361～6
札幌店　札幌市北十条西18丁目36番地
電話 札幌(61) 4371～3
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目　千代田ビル522号
電話 中局(261) 0641～3

冷暖房
給排水、衛生水道
電気
厨房
6Sサッシ
環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械
三機工業株式会社大阪支店
取締役社長　大前玉男
取締役支店長　樋口勝栄
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話大阪(202) 代表3071
本店　東京都千代田区有楽町1丁目10番地
支店　出張所　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台
富山、金沢、静岡、高松、
工場　鶴見、相模、六郷、高浜、中山、古賀

須賀工業株式会社
空気調和　衛生設備
大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話 441－5171
支店 ― 東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所 ― 広島

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備
株式会社 **西原衛生工業所大阪店**
大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪㊽3531番

空気調和装置・塗装設備
設計施工
株式会社 **建材社**
大阪支店
大阪市北区中ノ島二丁目　（新朝日ビル5階）
電話　大阪㉓3721(代)
本社及東京支店　東京都中央区銀座西6丁目3
（朝日ビル8階）
営業所　名古屋市中区菅原町2丁目
（センタービル）
連絡所　広島・北陸・札幌

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話　(443)代表　8161～9
出張所　東京都北区上十条1丁目10　電話　(911)　3　9　4　1
名古屋市中村区牧野町1の6　電話　(54)　0　9　6　6
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話　(34)　1778・4386
広島市袋町6番4号　電話　(21)　7575・7588

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 **三晃商会**

本社　大阪市北区富田町16　電話(364)代表7031
支店　東京都千代田区神田小川町2丁目1　電話(292)代表7751
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話(21)代表4535
福岡市大名1丁目8番12号　電話(76)代表3795
出張所　名古屋市中区新栄町2丁目1　電話(941)5966
富山市堀川小泉町286　電話(31)2274
金沢市下新町8　電話(34)4089
福井市西宝永町2丁目113　電話(22)1596
松江市東本町4丁目147　電話(2)5098

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 **栄興商会**

取締役社長　中山敏正

本社　大阪市福島区上福島北2－1
電話　(451)　3391　(代表)
支店　東京・仙台
出張所　神戸・広島・高知・千葉・八戸

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工

株式会社 **朝日工業社**

大阪市東淀川区加島町357　電話(302)2271～9(代)
東京支社　東京都港区芝浜松町2—7 電(434)6171(大代表)
支店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話大阪(341)　(代表)0977 / 0978～9・0970
本社　東京都千代田区丸ノ内3—2(新東京ビル)
電話　(211)8511・8561(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話　7332
名古屋出張所　名古屋市東区東門前町3—6
電話　⑨　2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役　市川繁雄

本社　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(68)5101～5・夜間専用(69)1045
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1-37(天満橋北詰)
電話(352) **3501～3**
四日市営業所　四日市市浜田西末広町電話(53)7431～3
津営業所　津市栄町2—111電話(8)3610

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工

日本熱学工業株式会社

社長　牛田正郎

本社　大阪市北区万才町50
大阪事業本部　電話　大代表(312)8671
東京事業本部　東京都新宿区三栄町18
電話　大代表(353)9151
名古屋事業本部　名古屋市中村区下広井町3－15
(中京電気ビル)電話(581)9376～8
各事業部　京滋、下関、新潟、金沢

給水　衛生　空気調和設備
設計施工

平山工業株式会社

取締役社長　平山京平

大阪市西区江戸堀2丁目2番地
電話　大阪(441)代1994　(443)代0331

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区天満橋筋4—71
電話(351)　2808・2809・2800・2134
本社　東京都文京区元町2丁目17番地
電話　(811)　(代表)　6294
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

温湿度調整装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪支店　大阪市東区高麗橋5－45(興銀ビル別館)
電　大阪代(202)7745番
本社・工場　東京都北区神谷3の10の3
電　東京代(901)3191番
本社・分室　東京都港区麻布笄町155(第5興和ビル)
電　東京代(409)0151番
支店　名古屋・仙台　連絡所　福岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

取締役社長 西村庄市

大阪市北区野崎町六九
電話・大阪(313)代表3456
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島 北九州

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄

本社 大阪市北区老松町1丁目22
電話 大阪(362)8701
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)8621～4・3573
営業所 名古屋・札幌・旭川・福岡

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル7階)
電話 大阪(313)1101(大代)
支社 東京・名古屋
出張所 舞鶴・広島・八幡・福岡・富山

電気工事設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰

本社 大阪市北区梅ヶ枝町五六番地
電話 大阪代表(341)8131～7
支店 東京・名古屋・四日市・神戸・和歌
営業所 山・松山・京都・草津

選択制御監視装置
MU型動力制御盤
グラフィック盤
高低圧受配電盤

空調衛生設備監視盤
各種動力自動制御盤
分電盤・各種警報盤
設計・製作

森井電業株式会社

取締役社長 森井定勝
専務取締役 佐野春吉

本社 東京都港区芝三田網町一番地
電話 東京(451)代表9611
東京支店 東京都品川区北品川町三丁目277
電話 東京(491)1887・3482・4027・3345
大阪支店 大阪市北区常安町16番地
電話大阪(443)代表8381 夜間(441)0502
出張所 名古屋・広島・福岡・仙台
工場 東京・大阪・福岡・名古屋

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本永造

本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京営業所 東京都港区新橋5－34－6 相馬ビル5階
電話 東京(434)3848・(431)8435
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 **嘉納伝三**

本社 大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話(312)1471(代)
支店 東京都中央区明石町15(辻孝ビル)
電話(542)5641
営業所 名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(99)5131～3
出張所 小松市・堺市・高槻市・姫路市

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山本博三

本社 大阪市北区中之島3の3朝日ビルディング
TEL 代表 (448) 1361
営業所 大阪市西区土佐堀通り4の8
TEL 代表 (448) 1361
営業所 京都市中京区西ノ京中合町20の11
TEL 代表 (81) 9296

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長 姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地
電話 大阪(202)0325～9番
本社 東京都千代田区西神田1丁目8番地
支社 札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所 旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 **中本正明**

本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 大阪(931)代表 **7341～5**
資材倉庫 大阪市城東区野江東之町三丁目一一 電話大阪(931)7004

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）
八千代電設工業株式会社
取締役社長 梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町
電話大阪 ㊾ 6531（代）～8
支店 名古屋
営業所 東京
出張所 岡山・北九州

電気工事設計施工
株式会社 三興社
代表取締役 林 敏夫
本社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話 ㊻ 3 6 7 1（代）
支店 東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話 ㊼ 1 4 7 8（代）
出張所 川崎・相模原・堺・福山

電気工事設計施工
富士電業株式会社
取締役社長 田中 実
本社 大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564～7・7148～9
営業所 東京・名古屋・広島・福岡

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作
日本エレベータ工業株式会社
代表取締役 長尾正大
本社 大阪市大淀区天神橋筋六（天六阪急ビル）(351)4927代
大阪営業所 (351)4927代 サービス事業所 (328)0336代
東京営業所 (822)0995代 工場 (328)0336代

株式会社 矢橋大理石商店
大阪出張所
大阪市東区高麗橋二丁目九 野村ビル五階
電話 大阪 ㉑ 4257—8番

青写真とマイクロフイルム
株式会社 内外写真
製図・トレース・複写写真
大阪市北区堂島北町16 TEL ㊻ 9055（代表）

General Electric（G.E）社製
冷暖房機「ゾンナル」その他各種冷暖房機
温水ボイラー「ハイテンプ」
（西独WEBSTO社技術提携）
西日本総販売元
岩佐物産株式会社
本社 大阪市北区老松町3—56(西天満ビル) 電話 (364)2238(代表)
東京 東京都中央区霊岸島1—10 電話 (551)1079・1617
四国 八幡浜市大黒町3 電話 八幡浜 514・1914

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
耐風雨緩勾配用瓦……大和瓦
美術建築内外装用タイル……大仏タイル
株式会社 大佛
本社 京都市東山区今熊野大仏池田町9の9 (56)3555 3725
大阪営業所 大阪市北区空心町1丁目28 (351)0703
名古屋営業所 名古屋市瑞穂区堀田通1丁目30 (88)2703
東京営業所 東京都渋谷区上原1丁目29の4 (467)1641

営業品目
●樹脂防水ゴーレヂン
●樹脂防水ゴーレックス
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
合同特許建材工業株式会社
本社・営業所・大阪市東住吉区駒川町3—54 電(791)代7814～6
代理店・東京都品川区東大崎3の239 電東京（491）9698



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール
株式会社
三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話 大阪(358) 4031

鈴木式防火シヤタア

株式会社 **鈴木シヤタア商会**

大阪市北区茶屋町33　電話 (371) 4151～6
北陸営業所　金沢市長田町119　電話 ㉑ 2287

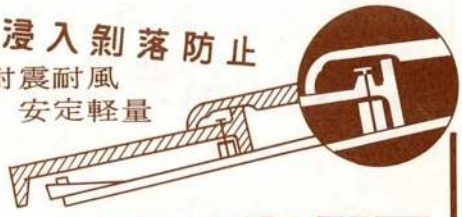
木毛セメント板



東邦商会
本　社　大阪市東住吉区桑津町3丁目59
電話大阪(718) 1292～6
出張所　和歌山市新堀6丁目13
電話和歌山(2)0298・9435

大阪市浪速区元町二丁目西電話(641)㊇㊇

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量

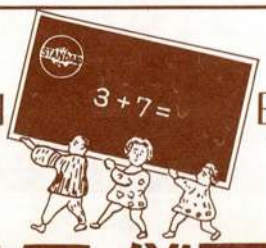


ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾配最適軽量水止付(空葺)瓦

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店



株式会社 **吉田芳雄商店**
大阪市北区南森町交叉点
電話 大阪(361)3450・(364)2345



Standard　Board&Slate

フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地 電話大阪(717)4561~2

奉仕感謝の店

タイル 衛生陶器

㊊ 株式会社 **川岸窯業商店**
大阪市西区靱本町2丁目98　靱本町電停前
電話大阪・(532)0461～4番

ノトク の新建材

プリント合板 ビニオン
プリント合板 リズムウッド
ビニール合板 ビニライト
ポリエステル化粧板 ポリプライ
立体加工合板 ノトクランマー
工芸合板 アジロ合板
合成接着剤 フルーダイン
その他 新建材一式

㊎ **浪速合板株式会社**
大阪市浪速区幸町通3の20　TEL (561) 2201 (代
東京出張所　東京都江東区深川平久町1の13　TEL (644) 8432

タイル

衛生陶器

エスロンタイル

サンウェーブ

流し台・調理台

株式会社 平田タイル

大阪市西区阿波座中通1

電話 (532) 1234代表

泉

石綿セメントの
最高水準を行く!!

アスベストバリヤ

Asbesto. Barriev

(硬質石綿板)

建物内外壁、間仕切、天井扉、電気室
発電所、配電室、製鋼、ガラス工場
の壁、製糖、製油製薬工場の床スカ
ート壁などに最適

泉石綿工業株式会社

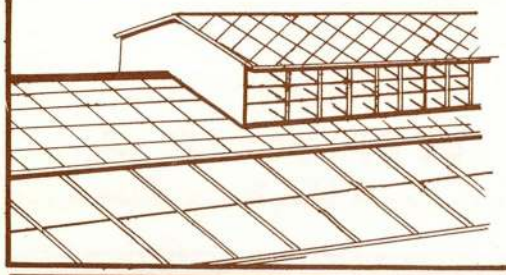
大阪市北区同心町1の11

電話 ㊙3442・4078

(呈カタログ)

岩元式

スカイライト 並 固定筒型 コンチニアス ベンチレーター



サッシュ、ドアー、シャッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

カタログ進呈

岩元工業株式会社

本社 大阪市東成区東今里町4の40

電話(981)0616～0618



防水には

プルーフテックス
プルーフコートの併用を

何れも合成ゴム、合成樹脂系のエマルジョンで簡単に施工が出来完全防水の目的が果せます。

詳細説明書送呈

耐酸化学工業株式会社 大阪市北区高垣町80 電(361)0178

T
K K

カーテンウォール
サッシ・ドア
アッセンブルフロアー
グリルウォール
ワイヤーモールド
天井パネル
軽量間仕切
防潮扉
エヤームーバー
その他

東京カーテンオール工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区西尾久4丁目12－12
電話（893）0111大代
大阪支店　大阪市北区富田町18番地（島根ビル）
電話（364）9154代
名古屋支店　名古屋市東区武平町4～16～5（住商ビル）
電話（941）2577代
営業所　東京都中央区八重洲5－7（八重洲三井ビル）
電話（272）0401代
出張所　福岡・札幌・新潟・仙台

内外

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C.式

米国パブコ・コンパウンドアスファルト
米国バイヤライト・コンパウンドアスファルト
販売

内外工業株式会社

本社　大阪市阿陪野区旭町一ノ五一　電話(641)3434～6 夜間(631)0810
工場　大阪市東住吉区桑津町三ノ一六



田中のガス風呂

ミリオンポリバス浴槽

清

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂・温水鑵

大阪ガス会社指定

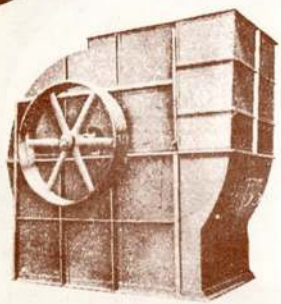
田中風呂鑵作所

大阪市浪速区元町1丁目747　(641)5313・8128

KANDAN

煖冷房温湿度調整

設計　施工



各種送排風機

設計　製作

関西煖房工業株式会社

本社　大阪市住吉区万代東6ノ3　電話 大阪(672)1281(大代表)
堺工場　堺市浜寺石津町中2ノ200　電話 堺（3）7301(代表)
和泉工場　和泉市観音寺町220　電話 和泉(41)4151(代表)
出張所　名古屋・広島・福岡・徳島

網入光り波型ガラス（スレート小波／スレート大波）長サ965㍉　1,818㍉

ダイニチ・アーモライト　波板・平板

（硝子繊維強化ポリエステル板）各種波、寸法（長尺物有）

製造販売　**大日本硝子工業株式会社**

大阪支店　大阪市北区玉江町２ノ４（三菱倉庫ビル）　電話㈱1389・3389・3281
本　社　神奈川県相模原市小山字久保２２４　電㈹3101～4

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

特許　内外式
電動ベンチレーター

屋上強制換気装置のパイオニヤ
ご信頼におこたえできる
行届いた設計施工

内外建材株式会社

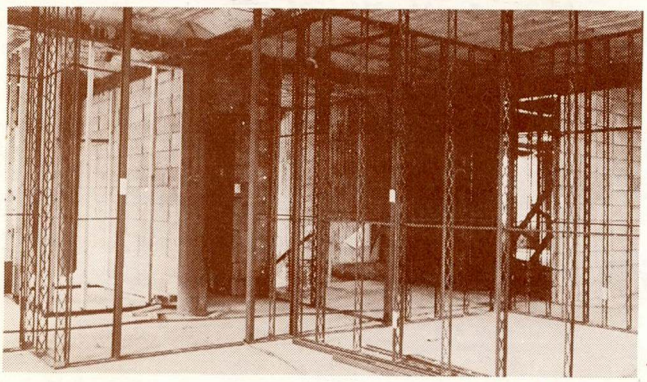
大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）ＴＥＬ(441)3983・4396
工場　大阪市城東区天王田町１の141　ＴＥＬ（962)1149

内外式スカイライト
工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適

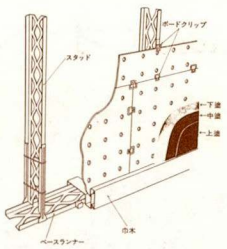
内外式 連続採光換気装置
コンチニアスベンチレーター
筒型各種ベンチレーター
設計　施工

マンテン㊞の新製品　軽い・燃えない・安い・亀裂が生じない
専売特許ほか実用新案および意匠登録　２０数件出願中

KMS式
軽量耐火間仕切　**エコニー®スタッド**



エコニースタッド施工例



その他マンテンの金属建材
ＳＫ式軽量金属下地ネールロック
落し込み式天井吊金具モノーレイング
可動間仕切ムービーパネル
簡易組立材シャープアングル

発売元
住友商事株式会社
大阪建築部　大阪市東区北浜５丁目１５番地　電話大阪（203）１２２１(代)
東京建設建材部　東京都千代田区神田美土町１番　電話東京(294)　４１１１(代)

設計・責任施工・製造元
株式会社　**満点製作所**
本　社　大阪市南区日本橋筋３丁目２番地　電話大阪（632）１１５１(代)
東京営業所　東京都江東区亀戸町２－６１　電話　東京(682)3241（681）7169
名古屋出張所　名古屋市中区宮前町４－16(東海塗料ビル)　電話名古屋(261)　3529
福岡駐在所　福岡市天神町58(天神ビル)住友商事㈱福岡支店内　電話福岡(75)6031

東洋シヤッター

甲種、乙種防火シャッター製造施工

●品　種　　キングゴールド（特殊チタメート処理）・亜鉛メッキ樹脂塗料焼付仕上

■スプリングシヤッター　■重量スプリングシヤッター　■手動式電動式シヤッター　■特許自動シヤッター

建築業者登録番号（ヌ）第５８０７号　甲種・乙種防火戸

東洋シヤッター株式会社

本社・工場　大阪市西淀川区佃町４丁目３３番地　電話（代表）４７１－８３３１

忠岡工場　大阪府泉北郡忠岡町字北出　電話　泉大津（２）５９４１

大阪営業所(352)-4571東京(771)-1117・名古屋(331)-6171・京都(35)-6591・神戸(22)-1489・福岡(29)-4103・滋賀(大津)(２)-8409其の他全国主要都市

スチール
アルミ
ステンレス

サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター

三高式オペレーター・ドアーハンガー



TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所

本社工場　尼ケ崎市神崎五反田280　電話 大阪（401）6158・6159
9463・7939（491）3200

内　装　資　材
専　門　店

建　材　の　室谷

室谷商事株式会社

本　社　神戸市生田区北長狭通４－１（英和ビル）
直通電話　神戸（33）0881～３
支　店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル５階　502号室)
直通電話　大阪（364）2031～４
倉　庫　神戸市葺合区八幡通１－５（電話㉒2923）

全国で好評の……
新興の繊維壁！

〈新発売〉
和室・洋室にピッタリの　美しい調和です！
龍鳳・桃山壁・昭和壁



●清　流　●錦上壁Ｋ　●パビロン壁
●大和壁　●日本壁　●カセロンウォール
●新興壁　●新日本壁　●チエリーウォール
●ほたる　●蛍光壁　●スーパーウォール
●錦上壁　●いすゞかべ

●防錆剤エバコン　●耐湿剤オートン　●化学糊スーパーシンケン糊
（全国有名建材店にあります）

株式会社 新興建材工業所
大阪市西区四ツ橋　電話（541）5756～9



陸屋根防水には

特許 絶縁工法を

カッパー防水帯

コーパータイト

特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8の3　電話 (571)2703～4・2370・4064・0264
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話 (811)3660

●御申越次第カタログ進呈

新しい時代の
燃えない建築資材

切らずにそのまま張り上げられる豊富なサイズのへり折り石膏ボード：

ニュータイガーボード

キレツがでない――あくがでない――施工が早い――塗りよい石膏プラスター：

YNプラスター



吉野石膏株式会社 大阪支店

大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
TEL (341) 2556～9番
本　社　東京都千代田区丸ノ内3－2（新東京ビル）
TEL (216) 0951（大代表）
支店 福岡　営業所 札幌・仙台・名古屋・広島
関係会社 菱化吉野石膏・チッソ吉野石膏
宇部吉野石膏・住鉱吉野石膏

（カタログ進呈）

広告目次（業種別）

建築と社会 昭和41年 Vol. 47 No. 8

基礎 kk武智工務所 …… 8

鉄骨鉄筋 久保田鉄工kk …… 89

住友金属工業kk …… 表2

富国交易kk …… 12

大阪セメントkk …… 88

コンクリートブロック シポレックス販売kk …… 16

防水 大阪耐酸工業所 ……117

奥山化工業kk ……128

柏原瀝青kk …… 3

kk久保商店 ……117

合同特許建材工業kk ……121

耐酸化学工業kk ……123

内外工業kk ……124

kk日本セメント
防水剤製造所 …… 表3

kk油脂化工社 …… 表3

タイル衛陶 有田タイルkk ……108

kk川岸窯業商店 ……122

東洋陶器kk …… 11

kk平田タイル ……123

kk吉田芳雄商店 ……122

屋根葺壁張 オリエンタルメタル
製造kk …… 4

大島応用化学工業kk ……117

kk大仏 ……121

ナニワ瓦kk ……122

金属 岩元工業kk ……123

kk三幸商会 ……121

田辺工業kk …… 9

内外建材kk ……125

左官 kk新興建材工業所 ……127

山本窯業化工kk ……113

吉野石膏kk ……128

岩住サッシkk ……130

建具 小俣シャッター工業kk …114

近畿工業kk …… 22

kk鈴木シャタア商会 ……122

ダイケンサッシkk ……130

東京カーテンウォール
工業kk …124

東洋シャッターkk ……126

kk日本シャッター
製作所 …… 表3

日本エルミンサッシkk … 6

kk三高製作所 ……126

建具金物 永和工業kk …… 14

kkゴール …… 20

三栄建材工業kk …… 11

敷島金物kk …… 2

kkニッカナ …… 2

日本ドアーチェック
製造kk …… 4

硝子 旭硝子kk …… 5

大日本硝子工業kk ……125

塗装 関西ペイントkk …… 22

日本ペイントkk ……116

水谷ペイントkk ……115

内装壁・天井 泉石綿工業kk ……123

kk奥村重兵商店 …… 8

東邦商会 ……122

浪速合板kk ……122

室谷商事kk ……127

内装床 関西三星タイル会 …… 24

田島応用化工kk … 109・表4

東洋リノリュームkk …… 1

家具装飾 kk高島屋 ……110

保全 美素工業kk …… 24

設備機器 岩佐物産kk ……121

関西煖房工業kk ……124

kk日立製作所 ……表4

松下電器産業kk …… 18

エレベータ 日本エレベータ工業kk …121

空調・衛生設備 kk朝日工業社 ……119

kk栄興商会 ……119

kk大阪城口研究所 ……118

大阪電気暖房kk ……118

kk建材社 ……118

斎久工業kk ……118

kk斎藤省三商店 ……118

三機工業kk ……118

kk三晃商会 ……119

須賀工業kk ……118

第一企業kk ……119

第一工業kk ……119

高砂熱学工業kk ……118

東洋キャリア工業kk ……118

日本管工業kk ……119

日本熱学工業kk ……119

kk西原衛生工業所 ……118

平山工業kk ……119

山田工業kk ……119

理研鋼機kk ……119

電気設備 浅海電気kk ……120

工藤電気kk ……120

栗原工業kk ……120

kk三興社 ……121

三宝電機kk ……120

中央電気工業kk ……120

朝陽電気kk ……120

東光電気工事kk ……120

中本電気kk ……120

富士電業kk ……121

森井電業kk ……120

kkヤマト電気商会 ……120

八千代電設工業kk ……121

建設 kk浅沼組 …… 92

kk大林組 …… 93

kk奥村組 …… 94

鹿島建設kk …… 95

kk鴻池組 …… 96

清水建設kk …… 97

kk銭高組 …… 98

大成建設kk ……106

kk竹中工務店 …… 99

戸田建設kk ……100

西松建設kk ……101

kk間組 ……102

kk藤木工務店 ……103

kk藤田組 ……104

kk松村組 ……105

雑 kk研文社 …… 91

kk三芳園 ……110

田中風呂製作所 ……124

太陽工業kk …… 90

kk毎日ミュージック
システム…… 87

フタバ黒板 ……122

kk内外写真 ……121

kk山本建材社 …… 3

Iwazumi

岩住のサッシ・ドア
カーテンウォール
スパンドレル

アルミ
ステンレス
スチール

スチール工場　尼崎市守部字下河原拾五　電話代表(401)6751
岩住サッシ株式会社

アルミ工場　大阪市西淀川区千舟東二丁目三一　電話代表(471)5123
岩住アルミサッシ株式会社


京都産業会館

モダンな
都市美を
創る……

ダイケンの
カーテンウォール
▶米国バレーメタル社と技術提携◀

◆営業品目◆
アルミ
ステンレス
スチール
} サッシ／ドア
住宅用アルミサッシ エリート
アルミレディーメード サッシ／ドア

ダイケンサッシ株式会社

本社・工場	堺市松屋町1－6	TEL (38) 1141
営業部	大阪市西区靱本町1－109(富士ビル)	(532) 1141
風工場	堺市平岡町48	TEL (7) 1565～6
東京営業所	東京都千代田区平河町1－1	TEL (261) 6641
名古屋営業所	名古屋市東区東新町4(イースタンビル)	(94)3911
福岡営業所	福岡市舞鶴2丁目1の24	TEL (74) 5406
金沢営業所	金沢市下新町13	TEL (31) 3427～8
長野代理店	長野市吉田東町1251	TEL (3) 2729

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝塚（6）2153
大阪事務所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話（941）2626（直通）
出張所電話　東京（431）8648・名古屋（321）1331
ウォータイト式防水工事　仙台㈱0721・札幌㈱1111
代行店電話　大三工業高松㈱0016安藤工事　福岡㈱8207
豊水建材　広島㈱6371

モルタル・コンクリート用

マノール

●防水工事責任施工

製品

●セメント混和剤のトップ……

ご一報次第カタログ進呈します

防水剤
急結剤
A　号
接着剤
剥離剤

株式会社 油脂化工社

本　社　東京都港区芝大門1－15　電話(437)0095(代表)
大阪営業所　大阪市東区北浜2丁目4－40　電話(271)4765・0063

両期的アイデアに基づく構造
平行運動強制装置（特許）

横引シャッター

各種防火シャッター
パイプシャッター
伸縮扉

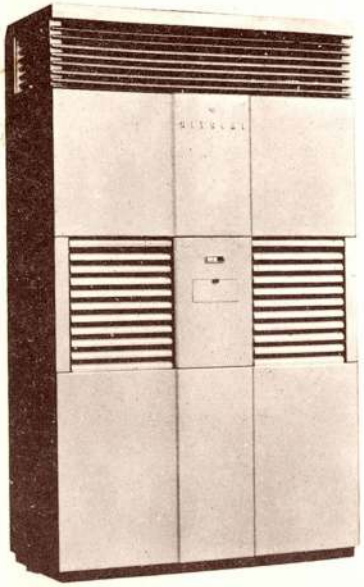
錆びない八幡製鉄
ボンデ帯鋼使用

■資料お送りします

株式会社 日本シャッター製作所

本社・工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地
TEL（301）代表 3656－9
営業所　東京・名古屋・金沢・神戸・和歌山・岡山
広島・高松・徳島・高知・福岡・北九州

昭和二十四年三月十九日　第三種郵便物認可　昭和四十一年八月二十日印刷　昭和四十一年八月廿五日発行（毎月廿五日発行）



日本の気候風土を研究しました

気象庁の長期予報では、この夏は酷暑…「日立エアーコンディショナー」が実力を発揮します。日立では日本の気象条件を徹底して調査研究し、そのすべてを製品に反映させました。

■主な用途
- ホテル・銀行・劇場などの涼しいサービスに。
- 一般事務所・病院などの能率向上に。
- 自動計算機室・精密計器室などの機器保全に。
- 製薬・製菓・製紙などの生産性と品質管理に。

日立エアーコンディショナー

日立製作所　大阪市北区(全日空ビル内)　電話・大阪(313)1401(代表)

■304.8㎜×304.8㎜　厚さ2㎜■一面坪￥3500→4000■カタログ進呈



美しい！はがれない！傷がつきにくい――Pタイルに関しての一致した意見です　玄人筋からは『柔軟性で木やコンクリートの床にも馴み易く仮敷もいらぬスピーディな施工性』といわれます。Pタイルはどんな場所でも明るい環境をつくる床材〔製法特許品〕です！

三星プラスタイルP

田島応用化工KK★

東　京／東京都千代田区岩本町3－11　TEL(866)代6101
大　阪／大阪市西区京町堀1ノ74　TEL(441)代5951
名古屋／名古屋市西区桜木町3丁目8番地　TEL(571)6361
広　島／広島市鉄砲町5番16号　TEL(21)2281
博　多／福岡市冷泉町5番7号　TEL(28)2807

ご入会のお申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人日本建築協会 大阪市東区北浜3－37　電話大阪(231)9648・9649・9640
振替口座大阪39975番

売価　一部　金二〇〇円（送料共）